令和5年度

主要施策成果説明書

唐 津 市

# 

I	ま	え	が	き	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
Π	決	算 0	)概	要	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
Ш	_	般	会	計	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
	1	議			会				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
	2	総			務				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
	3	民			生				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	25
	4	衛			生				費		•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	43
	5	労			働				費			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	57
	6	農	林	水	. 1	産	業		費			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	58
	7	商			工				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	79
	8	土			木				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	93
	9	消			防				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	107
	10	教			育				費			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	112
	11	災	害	ž	復		旧		費			•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	126
	12	公			債				費		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	127
	13	予備	費(市	民セ	ンタ、	一地	域振	興	分)		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	128
IV	特	別	会	計	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	129
	1	玉	民	健	. J	隶	保		険		•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	129
	2	後	期	高	齢	者	医	:	療			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	132
	3	介		護		保			険			•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	134
	4	観		光		施			設		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	136
	5	右	緿	テ	1/	۱-N	車	Ţ.	丵																						137

# I まぇがき

この説明書は、地方自治法第233条第3項の規定により令和5年度の決算を議会の認定に付するに当たり、 同条第5項の規定により令和5年度における主要な施策の成果を説明するものである。

# Ⅱ決算の概要

令和5年度の決算状況は、別表の「会計別決算の状況」に示すとおり、一般会計においては、歳入総額85,113,245 千円、歳出総額83,757,114千円で、歳入歳出差引額1,356,131千円の黒字決算となった。また、特別会計においては、各会計とも歳入歳出同額又は黒字決算となった。

令和5年度は、『進化する唐津』の展開の年と位置づけ、本市が有する6つの『からつ力』を躍動させ、あらゆる領域で変化と進化をもたらす取組みを押し進めていくための事業を展開した。

まず、「生産力」の事業として、コロナ禍で疲弊した地域産業の回復と成長を支援するため、中小企業者の経営力強化や創業支援、商工団体等の活動支援の3つの柱からなる新たな補助制度を創設した。ほかに市内の消費喚起や地域経済の回復を後押しするため、プレミアム付商品券を発行した。また、農業及び漁業の担い手に対する支援策を継続したほか、森林環境基金を活用し、林業の担い手確保・育成につながる取組みを促進した。

さらに、ふるさと寄附金では、3年連続で50億円以上を受け入れ、多くの唐津ファンを獲得し、さらなる市の産品のPR及び地域経済の活性化を図った。

次に「観光力」の事業として、新日本プロレスとのコラボ事業を引き続き実施し、メディアを通じた宣伝強化やスポーツ分野等におけるツーリズムコミッションにより、観光誘客を推進した。また、大手宿泊予約サイトにおいて電子クーポンを発行するとともに、旅行商品の造成に対する補助やスポーツ・文化合宿等への助成を拡充することで、宿泊需要を創出した。このほか、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)に向けてリハーサル大会を行うとともに、大会関連施設の環境整備を行った。

「教育力」の事業として、子どもたちの学習環境を整えるため、小中学校の特別教室へのエアコンの整備に着手した。また、浜崎小学校や鏡中学校の増築工事等に着手した。

「安心力」の事業として、地域防災の拠点である消防本部本署庁舎について、感染症対策及び業務環境改善のための改修工事に着手した。また、市民に寄り添うための施策としては、安全装置導入に対する助成について保育所等の送迎用バスだけでなく保育活動用バスについても独自で支援を行った。

このほか、成和公民館へのエレベーター設置、東唐津公民館の長寿命化及びエレベーター設置並びに老朽化した外町公民館の移転改築に着手した。

「発信力」の事業として、移動困難な方々のもとへ出向き、証明書発行などを行う移動型行政サービス「どこでも出張市役所」を導入した。また、公共施設予約システムや地図情報Web公開システム、各種証明書のオンライン請求システムを導入することで市民の利便性を向上させるなど、DXの推進を図った。そのほか、高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化へ向け、光ケーブル等の整備に対して補助金を交付した。

最後に「地域力」の事業として、地域交通の利便性向上のため、スマートフォンを活用したデマンドタクシーの予約方法の確立やタクシーの営業所がない地区においては、タクシーを常時配置する実証事業を行った。また、市民センター単位での地域イベントを支援する制度を創設し、地域づくりの担い手の育成や地域活動の活性化を図った。さらに、介護施設における人材確保のため、介護職員として就職・復職された方に支援金を交付したほか、2050年カーボンニュートラルの達成を目指し、脱炭素に資する市民の取組みへの補助制度を創設した。

このほか、7月の豪雨等により被災した農地・農業用施設、林業施設及び土木施設等の復旧事業を行い、早期 復旧に努めた。

会 計 別 決 算 の 状 況

(単位 千円)	実 質 収 支 ( C - G )	696, 352	439, 934	5, 595	162, 039		45, 611	653, 179	1, 349, 531
	き 財 源 し 計 類 (D+E+F)	659, 778							659, 778
	越 す ベ き 計事故繰越し 賃繰 越 額	1, 295							1, 295
	出     翌年度へ繰越すべる       額継続費通次     繰越明許費     事故繰越し       ) 繰越額     額繰越額     超額       D     E     F	651, 058							651,058
	翌 年 <b>D</b> 継続費 超次 繰 越 額 D	7, 425							7, 425
<del>-</del>	歳 入 歳 出 差 引 額 (A-B)	1, 356, 131	439, 934	5, 595	162, 039		45, 611	653, 179	2, 009, 309
	議 出 総 額 B	83, 757, 114	14, 915, 099	1, 856, 795	13, 480, 813	235, 679	669, 715	31, 158, 102	114, 915, 216
	歳入総額 A	85, 113, 245	15, 355, 033	1, 862, 390	13, 642, 853	235, 679	715, 326	31, 811, 280	116, 924, 525
	X X	#±	健康保険	高齢者医療	護保險	光施設	テレビ事業	111111111111111111111111111111111111111	14
	会 計 別	——	春 国 田	後期	所介	砂	有線	11111111	<b>⊲</b> □

(備考) 一般会計の実質収支額696,352千円のうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額400,000千円、剰余金296,352千円 端数整理のため一致しない部分がある。

令和5年度歲入歲出決算額構成比図表(一般会計)

地方交付税等 23,568,881 27.8% 13,204,079 15.5% 市税 。 85,113,245 国庫支出金 12,936,848 15.2% 8,958,256 その他 10.6% 7,665,712 市債 %0.6 県支出金一 6,862,903 8.1% 5,470,572 6,445,994 繰入金一 諸収入 6.4% 7.6%

24,174,481 民生費

2.9% 土木費 4,993,533

2,431,101\_

消防費

熊 出 83,757,114

9,745,875 教育費

11.6%

総務費 18,045,957 21.5%

公債費 8,231,386 9.8%

2,378,659

2.9%

その街

28.9%

0.8% 1.4% 0.2% 6.4% 1.8% 651,978 5,409,030 1,557,266 ,178,595 161,387 分担金及び負担金 使用料及び手数料 財産収入 その他の内訳 **寄** 森越金

(備考)端数整理のため一致しない部分がある。

0.1% 2.4% 2.9%

2,002,581

50,900 325,178

議会費 労働費 災害復旧費

その他の内訳

7,424,784 衛生費

5.0%

農林水産業費 4,179,878

2.6%

商工費 2,151,459

%0.9

8.9%

(単位 千円)

# 苮 似 Ħ

一般会計の款別決算額と予算額との比較は、次のとおりである。

表 嵙 玿 齠 輝 汦 洒 款

額 比 0.4 21.5 28.9 8.9 5.0 6.0 11.6 0.0 100.0 % 0. 2 7 9.  $^{\circ}$ 算成 手用 決構 97.0 9 単位 94. 99. 84. 84. 94. 0 98. 97. 94. 92. 92. 42. 99. 子 (D) (C)  $\Xi$ 衣 50,900 度額 325, 178 4, 179, 878 9, 745, 875 231, 386 757, 114 045,957 24, 174, 481 7, 424, 784 2, 151, 459 4,993,533 2, 431, 101 2,002,581 の薄色 83,  $\infty$ 朴 18, 令決 度額 525 312 , 227 537, 835 10, 331, 419 4, 692, 749 103, 435 7,650,726 931 515,349 5, 888, 049 237, 405 958,822 561,860 和 5 年 算 現 24, 871, 329, 50, 188, 19, ς, S, 90,  $\infty$ 令予 費賣 唐 唐 唐 費 曹 車 曹 曹 實 車 曹 継 Ш 裖 産 ďП 会務生生 工术防育 復 憤 備 款 长 丑 刪 ¥ 褫 13 子 11 災 12 公 畖 繼 慾 出 锤 汨 哑 +浜 数 10  $^{\circ}$  $^{\circ}$ 4 2 9 <u>~</u>  $\infty$ 6 0.0 0.0 0.3 3.3 0.8 9.0 額比 0.2 7.6 6.4 23.  $\infty$ 100. 0  $\ddot{\circ}$  $\ddot{0}$ 0  $\ddot{\circ}$ 6. 15.  $\ddot{\circ}$ 15. 算成 決構 100.6251.3 121.2 99.9 124.2 64.2 90.8 95.9 51.2 92.8 101.2 77.0 93.6 60.1 90.0 100.0 岦 114.1 5  $^{\circ}$ 149. 108. 103. 102. 98. 83. 対予算J (<u>B)</u> (A) 44, 478 219 度額 54,985 220, 369 783, 756 37,637 651, 978 712 245 13, 204, 079 883 211 759 17,662595 12, 936, 848 , 903 161, 387 5, 470, 572 112,637 671,2851, 557, 266 5, 409, 030 6, 445, 994 569, 1, 178, 7,665, 48, 85, 113, ら算倒 ζ, 19, 묲 令决 21,878 33,000 718, 376 004 626 785 798 , 500 度額 552, 912 662 13, 118, 992 785, 245 104, 292 252,070 1, 196, 564 6,948,576 1, 557, 266 15, 547, 006 7, 155, 599 315, 333 6,008,1855, 406, 153 958,822 5年 181, 35, 現 32, 952, 27, 中軍 ς, 6 19, 90, 令予 次付金 金 金 金 債 税 郑 金 金 金 金 金 金 金 稅 12 交通安全対策特別交付金 金 菜 金  $\prec$ 金  $\prec$ 金 交付  $^{\ddagger}$  $\updownarrow$ Þ t 型 羧 t  $\overline{z}$  $\stackrel{\leftarrow}{\mathbb{T}}$ 炎 中 ţ  $\pm$ X X 交 樲 # 副 鬆 稅 X 田一芸 稅  $\mathbb{X}$ 牵 H B 黈 斑 Щ 郦  $\sqrt{\Box}$ X 雫 瀊 币 例 赵 玉  $\prec$ 越収 平 款 牃 貀 及 實 及 渡 郦 郦 敃 鄵 椞 悝 赵 瀊 缸 ₩ 渜 金 菜 # 力 力 世  $\mathcal{V}$ 株式等 1 沠 力 犚 书 型 Щ 重  $\stackrel{\textstyle \sim}{\sim}$ 褫 13 分 11 地 22 市 浜 型 Π̈́ 凞 型 17 財 18 寄 19 繰 20 灕 21 諸 型 띮 闽 壍 Ш  $\overline{\mathbb{R}}$ H 10 14 15 16 2 9  $\infty$ 

端数整理のため一致しない部分がある。 (備考) 1

# 市税の前年度との比較

(単位 千円、%)

										(単位	十円 <i>、%)</i>
	区	分	令 5	和 4 年 /	度	令 :	和 5 年 /	度	収納率 の前年	調定額 の対前	収入額 の対前
1	4 1		調定額	収入額	収納率	調 定 額	収入額	収納率	との差	年度比	年度比
₹ E			A	В	B/A	С	D	D/C		C/A	D/B
市		現年	4, 787, 866	4, 740, 552	99. 01%	4, 896, 056	4, 843, 292	98. 92%	△ 0.09	102. 26	102. 17
民	個人市民税	滞納	97, 339	28, 180	28. 95%	108, 096	37, 797	34. 97%	6. 02	111. 05	134. 13
税		計	4, 885, 205	4, 768, 732	97. 62%	5, 004, 152	4, 881, 089	97. 54%	△ 0.08	102. 43	102. 36
		現年	706, 115	704, 224	99. 73%	646, 877	645, 738	99. 82%	0.09	91.61	91. 69
	法人市民税	滞納	5, 608	896	15. 98%	4, 475	934	20.87%	4. 89	79. 80	104. 24
		計	711, 723	705, 120	99. 07%	651, 352	646, 672	99. 28%	0. 21	91. 52	91. 71
		現年	5, 493, 981	5, 444, 776	99. 10%	5, 542, 933	5, 489, 030	99. 03%	△ 0.07	100.89	100. 81
		滞納	102, 947	29, 076	28. 24%	112, 571	38, 731	34. 41%	6. 17	109. 35	133. 21
		計	5, 596, 928	5, 473, 852	97. 80%	5, 655, 504	5, 527, 761	97. 74%	△ 0.06	101. 05	100. 98
固定		現年	6, 054, 630	6, 000, 172	99. 10%	6, 097, 579	6, 039, 672	99. 05%	△ 0.05	100. 71	100. 66
固定資産税	固定資産税	滞納	160, 320	27, 676	17. 26%	162, 780	28, 962	17. 79%	0. 53	101. 53	104. 65
税		計	6, 214, 950	6, 027, 848	96. 99%	6, 260, 359	6, 068, 634	96. 94%	△ 0.05	100. 73	100. 68
	交 付 金	現年	97, 226	97, 226	100.00%	94, 761	94, 761	100.00%	0.00	97. 46	97. 46
		現年	6, 151, 856	6, 097, 398	99. 11%	6, 192, 340	6, 134, 433	99. 06%	△ 0.05	100.66	100. 61
		滞納	160, 320	27, 676	17. 26%	162, 780	28, 962	17. 79%	0. 53	101. 53	104. 65
		計	6, 312, 176	6, 125, 074	97. 04%	6, 355, 120	6, 163, 395	96. 98%	△ 0.06	100.68	100. 63
軽自	種別割	現年	462, 307	453, 874	98. 18%	467, 847	460, 346	98. 40%	0. 22	101. 20	101. 43
動車	127711	滞納	21, 438	4, 722	22. 03%	22, 365	5, 996	26. 81%	4. 78	104. 32	126. 98
税	環境性能割	現年	21, 934	21, 934	100.00%	20, 163	20, 163	100.00%	0.00	91. 93	91. 93
		計	505, 679	480, 530	95. 03%	510, 375	486, 505	95. 32%	0. 29	100. 93	101. 24
市	たばこ税	現年	1, 003, 699	1, 003, 699	100.00%	1, 003, 487	1, 003, 487	100.00%	0.00	99. 98	99. 98
		現年	21, 914	21, 914	100.00%	22, 931	22, 931	100.00%	0.00	104. 64	104. 64
入	湯 税	滞納	0	0	-	0	0	-	-	-	-
		計	21, 914	21, 914	100.00%	22, 931	22, 931	100.00%	0.00	104. 64	104. 64
		現年	13, 155, 691	13, 043, 595	99. 15%	13, 249, 701	13, 130, 390	99. 10%	△ 0.05	100.71	100. 67
市	税合計	滞納	284, 705	61, 474	21. 59%	297, 716	73, 689	24. 75%	3. 16	104. 57	119. 87
		計	13, 440, 396	13, 105, 069	97. 51%	13, 547, 417	13, 204, 079	97. 47%	△ 0.04	100.80	100. 76
_											

一般会計及び特別会計の令和5年度の主要な施策は、次のとおりである。

# 1 議 会 費

議会事務費では、地方自治法第138条第2項の規定に基づく、唐津市議会事務局の設置に伴う所要経費の執行をはじめ、本会議、委員会会議録作成のほか、本会議録をインターネットにより広く市民に公開した。また、インターネットを活用して本会議、決算及び予算等特別委員会のライブ中継等を行い、市民に対してより身近で開かれた議会の実現、議会の活性化に取り組んだ。

唐津市議会だより発行費では、開かれた議会、市民にわかりやすい議会を目指し、市議会活動を市民に周知、報告するため、議員で構成する編集委員会による唐津市議会だより定例号を4回発行した。

また、議会だよりの点字版を発行することでより多くの市民に議会情報を提供した。

### (款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費

議会事務局

事業名	議会事務費						執行率(%	6)					
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	85. 3					
(円)	23, 002, 000	0	△ 2,300,000	0	20, 702, 000	19, 626, 898	対予算現額	94. 8					
目的	地方自治法第うもの。												
事業内容及び実績	インターネッ	トでの議会映作	录の作成 ンステムの賃貸 象のライブ配信		更新		9, 051, 042円 1, 492, 128円 1, 148, 400円 7, 935, 328円						
成果等 及び 達成度	ネットを活用 ことができた	したライブ中紀 。議会ICTに向	骨な議会運営を 迷等、市民に対 け、タブレッ よう試行を始め	してより身近、端末等使用基	で開かれた議会	の実現、議会の	の活性化を進	める					

### (款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費

議会事務局

事業名	唐津市議会だ	より発行費					執行率(%	6)					
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95. 9					
(円)	3, 697, 000	0	0	0	3, 697, 000	3, 547, 203	対予算現額	95. 9					
目的		開かれた議会、市民にわかりやすい議会を目指し、市議会活動を市民に周知・報告するため、議員で構成する編集委員会により、唐津市議会だより定例号及び点字版を発行するもの。											
事業内容 及び実績		`より定例号の{ `より点字版の{		54回 計198, 計44部			3, 273, 105円 274, 098円						
成果等 及び 達成度	とで、多くの	市民に対してす	市議会活動の周	への配布に加え、 ]知・報告を実加 ]事例等、迅速な	施することがで	きた。特集ペ	ージを設け、						

# 2 総 務 費

### (1) 総務管理費

一般管理費の人材育成費では、人的資源である職員の能力を引き出すために、人材育成基本方針に基づき、職員の基本能力の養成や能力開発、職員に広く共通する行政課題の解決、職能別の職務遂行、専門性を持った人材の育成など、職員の能力及び資質の向上に資する実践的研修を実施した。

契約管理事務費では、建設工事等について電子入札を行い、競争性及び公正性の確保を図った。

新庁舎整備事業費(継続費4年度分)では、旧庁舎解体工事を完了し、駐車場整備工事に着手した。

厳木市民センター等整備事業費では、建設予定地の敷地測量業務及び地質調査業務を行った。

相知市民センター改修整備費では、庁舎機能を移転する別館のアスベスト含有分析調査及び改修工事の実施設計を行った。

原子力発電広報・調査等交付金事業費では、視察や研修、講演会など市民向けの原子力発電に関する正しい情報を提供する機会を設けることで、原子力災害時の適切な行動など知識の習得に寄与することができた。原子力災害対策施設維持管理費では、離島などの放射線防護対策施設の維持管理や備蓄品等を整備し、原子力災害時の一時避難施設の機能を確保し、市民の安全安心に寄与することができた。

広報費では、障がいの有無に関わらず市民に市政への関心と理解を深めてもらうため、市報からつと点字 市報を発行した。

ホームページ管理費では、イベント情報や市民生活に密着した情報をはじめ、市政に関するさまざまな情報を発信するため、ホームページの管理・運営を行い、掲載情報の充実と最新化に努めた。また、令和6年度に実施予定のホームページリニューアルに向けて、事前準備作業を行った。

財政管理費では、統一的な基準により令和4年度財務書類を作成し、公表した。

会計管理費では、適正で迅速な会計業務を行うことに努め、行政運営の円滑化を図った。

財産管理費では、市有財産の適正な維持管理や処分及び庁用車の効率的かつ安全な運行を図った。

チャンネルからつ運営費では、市民生活に密着した行政情報を提供するため、わかりやすく親しみやすい 番組制作に努め、ニュース、各課からのお知らせ、お知らせ文字放送、特集番組やデータ放送のほか、唐津 市議会の中継放送と録画放送を行った。また、災害情報や火災情報などをテロップ等により発信することで、 インターネットが使用できる環境にない人への情報提供に努めた。

情報化基盤光ケーブル推進事業補助金では、高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化に向けて、QTnet・ぴーぷる共同事業体が行う光ケーブル等施設整備に対し補助金を交付した。

新唐津市民会館(仮称)整備 I 期事業費(継続費3年度分及び逓次繰越分)では、上水道配水管移設設計業務及び周辺道路や駐車場等の測量設計業務を行った。また、昨年度に引き続き、新市民会館の改築設計業務を行った。

新唐津市民会館(仮称)整備費では、新市民会館整備事業を進めるため、改築設計の精査等総合支援業務のほか、建設予定地の安全対策業務、先進施設の視察研修等を行った。また、新たな施設の管理運営の指針となる、新唐津市民会館(仮称)管理運営計画を策定した。

### (2) 徴税費

課税客体の適正な把握と公平な課税に努め、収納率向上対策においては、納税方法の拡充等により、収納率の向上に努めた。

また、国税とのデータ連携システムや e L T A X システムを活用し、申告書や給与支払報告書等収受について電子データ化を推進することにより、課税事務の効率化を図った。

固定資産業務においては、令和6基準年度固定資産評価替え(土地)に向けて、市内全域の道路状況を確認し、路線価の要因情報を取得するとともに、地目設定を行った。

### (3) 戸籍住民基本台帳費

出張所の廃止による窓口減少の影響を軽減する一環として、証明書をオンラインで請求できるサービスを 令和5年6月から開始し、郵便局窓口での証明書取り扱いを7局から10局に拡充した。

このほか、国による戸籍事務のオンライン化により令和6年3月から、本籍地以外の窓口でも戸籍証明書が取れるようになった。

マイナンバーカードについては、マイナポイント事業(令和5年2月末までの申請者が対象)終了による 影響があり、申請数は激減したが、商業施設や介護施設での申請受付のほか、個人宅訪問による申請受付を 実施することで、申請しやすい環境づくりに努めた。

### (4) 選挙費

佐賀県議会議員選挙(令和5年4月9日)を執行した。また、各種選挙制度の周知及び明るい選挙推進運動の浸透を図るため、啓発活動に努めた。

### (5) 企画費

からつ力向上推進費では、持続可能な地方創生の実現を目指して、企画アイデアコンテストを実施するとともに、幅広く市民の意見を施策に反映させるための唐津創生会議の実施や、企業版ふるさと納税の取組みを推進した。

また、高等教育機関と連携した取組みでは、唐津ブルーカーボンシンポジウムの開催や高校、大学、民間企業等との連携による科学イベントを実施した。

総合計画策定費では、令和7年度から10年間を計画期間とする、第3次唐津市総合計画の策定に向け、 唐津市総合基本計画審議会を設置し、基本構想骨子案を作成した。

新エネルギー導入推進費では、再エネコーディネーターとの再生可能エネルギーの導入推進等に関する協議を行い、専門的なアドバイスや先進事例等の共有を受けた。また、電気自動車急速充電器の運用を行った。 地域エネルギー創出事業費では、唐津スマートレジリエンス拠点構築事業において、さらなる再エネ導入 最大化のための詳細調査・設計検討等を行った。また、唐津市沖洋上風力発電事業の誘致実現に向けた事業 者の先進地視察等の実施及び唐津市再生可能エネルギー総合計画を改訂した。

移住定住促進事業費では、本市への移住を促進するため、移住コンシェルジュによる移住相談の受付を行うとともに、移住促進に向けた情報発信や、移住フェア等への参加を行った。また、将来のUターンと定住を促すため、若者(中高生等)への定住意識醸成の取組みとして講演会を3校で実施するとともに高校生の地元企業研究に対して支援を実施した。

出会い創出事業費では、結婚を希望する男女の出会い支援として、婚活イベントを開催し出会いの機会を 創出した。

女・男(ひと・ひと)輝き事業費では、男女共同参画社会の実現を目指して、各種意識啓発セミナーやパネル展を開催した。女性社員を対象としたキャリアアップセミナーやデジタルマーケティング講座を実施し、女性活躍の推進を図った。また、市民団体が主催するフォーラム事業に対し補助を行い、男女共同参画社会の推進に努めた。男女共同参画基本計画(第5次)策定に向け、基礎調査などを行った。

友好姉妹都市交流費では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、4年ぶりに現地開催となった第14回済州国際青少年フォーラムに市内高校生が参加し交流を行ったほか、熊本県苓北町で新たに開催された第1回苓北町長杯サッカー大会に市内小学生チームが参加し交流を行った。

ふるさと寄附金推進費では、寄附金の増加及び関連する業務の円滑化並びに地域経済の活性化を図るため、新たなポータルサイト「JREMALLふるさと納税」及び「まいふる(イオンふるさと納税)」の開設をはじめ、ホームページ上で寄附金活用事業の紹介を行ったほか、市内事業者から返礼品を調達したことにより地域経済の活性化にもつながった。

また、寄附者との継続的なつながりを構築するため、ポータルサイト主催のイベントに出展し、市の産品のPRや返礼品の魅力を発信した。

### (6) 地域振興費

地域交通の利便性向上のため、デマンドタクシー予約システムの導入費用に対する補助やタクシーの営業 所がない地区においては、タクシーを常時配置する実証運行事業を行った。

市民によるまちづくりを推進するため「がんばる地域応援補助金」や「コミュニティ事業助成金」を通して、まちづくり団体や自治会等が行う地域づくり活動に補助を行った。

ふるさと集落活性化事業費では、集落支援員6名と地域おこし協力隊2名を配置し、地域の課題解決に向けた事業展開のためのサポートを行った。

地域づくり人材活用事業補助金では、過疎地域等においてマルチワーカーの派遣を行う特定地域づくり事業協同組合に対して補助を行った。

地域総合整備資金貸付金により、民間事業者によるスーパーマーケット複合店舗建設事業を支援し、地域振興が図られた。

相知宿通り賑わいづくり支援事業費では、「相知くんち」の高さ10m山笠の巡行のため、巡行路内の電柱の嵩上げ及び横断電線の移設を実施し、相知宿通り一部区間の横断線を解消した。

また、離島振興に関しては、七つの島(高島、神集島、向島、加唐島、松島、馬渡島、小川島)の活性化のため、各島で行う島づくり事業に対する補助を行うとともに、島外の児童生徒11名を受け入れた離島留学事業を支援した。

### (7) 統計調査費

統計法に基づき、基幹統計である住宅・土地統計調査及び漁業センサスなどを実施した。

新庁舎建設室

事業名	新庁舎整備事	業費(継続費4	年度分)、同	(逓次繰越分)			執行率(%	6)
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 2
予算額	391, 719, 000	0	0	0	391, 719, 000	380, 629, 023	対予算現額	97. 2
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	16 6
	102, 458, 774	<u>—</u>	_	_	102, 458, 774	17, 021, 109		10. 0
目的				本庁舎を、来庁場及び広場の整			庁舎に建て替	える
事業内容及び実績	総事業費(継 令和5年度実施 旧庁舎解体 本庁舎駐車 本庁舎駐車 本庁舎西側	場整備建築工事 場整備電気設備	9,594,407千円 4年度分及び週 272,9 4 64,0 打事 16,2 16,0	日 近次繰越分) 963, 400円 975, 000円	西別館改修工事本庁舎敷地東係 本庁舎敷地東係 周辺家屋等事後 雨水濾過設備コ	则文化財調査 後調査業務	6, 646, 000F 5, 227, 109F 5, 148, 000F 9, 609, 423F	円 円
成果等 及び 達成度	備工事に伴う		まか、広場整備	了し、10月から 工事に向けた公				

# (款)総務費 (項)総務管理費 (目)一般管理費

総務課

事業名	厳木市民セン	ター等整備事業	<b></b>				執行率(%	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 3
(円)	8, 828, 000	0	0	0	8, 828, 000	8, 146, 600	対予算現額	92. 3
目的	, _	木市民センター			ティセンター、	老人憩いの家	、保健センタ	<b>ー</b> の
事業内容及び実績	厳木市民セン	ター庁舎建設核 ター庁舎建設に ター庁舎建設に	に伴う敷地測量	業務 4,78	77,000円 85,000円 84,600円			
成果等 及び 達成度	, , ,			,	令和5年度は、庁 成設計に向けて			地測

事業名	相知市民セン	ター改修整備費	Ţ				執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 5
(円)	7, 920, 000	0	0	0	7, 920, 000	7, 719, 830	対予算現額	97. 5
目的	相知市民セン	ターの庁舎機能	どを、耐震基準	を満たしている	別館へ移転する	らための改修整	備を行うもの	0.
事業内容及び実績	相知市民セン	ター別館アス〜 ター別館産業廃 ター別館移転改	<b>運物収集運搬</b>	• 処分業務		, 826, 000円 466, 430円 , 427, 400円		
成果等 及び 達成度		川館改修整備の9 6年度からの移			アスベスト含有	可分析調査や工	事実施設計な	どを

### (款)総務費 (項)総務管理費 (目)情報管理費

情報政策課

事業名	情報化基盤光	ケーブル推進事	¥業補助金、同	(繰越明許分)			執行率(%	6)					
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	88. 5					
予算額	839, 000, 000	0	△ 48, 305, 000	0	790, 695, 000	742, 912, 000	対予算現額	94. 0					
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0					
	627, 000, 000	_			627, 000, 000	627, 000, 000	刈 溁 越 丁 异 領	100.0					
目的			≅現と有線テレ 充実を図るも	ビ事業の民設民 の。	営化へ向け、B	<b></b> 吊間が行う光ケ	ーブル等整備	に補					
事業内容及び実績	電整備地区 市 事業主体 Q	電源供給装置、線路設備、分岐装置、基礎ソフトウェアの整備)											
成果等 及び 達成度	区において光 厳木、北波多 なお、事業主 債務負担行 執行済額 執行率	ケーブル施設の 、肥前、七山均 体において、国 為限度額 6,4 2,8	D整備が開始さ 也区の申込者宅 国庫補助事業を 00,000千円(令	の整備開始に続きれ、説明会及びの引込線の切替 一部活用するこ 合和3年度から令 合和4年度1,433, が呼子地区	移行申込受付か 工事についてに とにより、当該 和6年度まで)	ぶ実施された。 は、令和6年度か な市補助金の軽	いら実施される減に努めてい	5.					

# (款)総務費 (項)総務管理費 (目)市民会館建設費

			,			721.1							
事業名	新唐津市民会	館(仮称)整備	f I 期事業費(A	継続費3年度分	)、同(逓次絲	越分)	執行率(%	6)					
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	0.6					
予算額	216, 988, 000	0	0	0	216, 988, 000	1, 384, 679	対予算現額	0.6					
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00 F					
	105, 008, 519	_	_	_	105, 008, 519	92, 886, 200		00. 0					
目的	新市民会館及	f市民会館及び新曳山展示場の改築設計業務及び上水道の配水管移設に伴う設計業務を行うもの。 											
	事業年度 令和3年度から令和5年度まで(継続費設定)												
	総事業費(継	続費設定額)9-	46,529千円										
事業内容	令和5年度実施	<b>迪事業</b>											
及び実績	(継続費3年	度分) 上水道	包含性的	計業務			1, 384, 6	79円					
	(逓次繰越分	) 改築部	計業務(再検討	討業務・変更業	務分)		85, 800, 0	00円					
		周辺違	直路・外構・駐1	車場測量設計業	務		7, 086, 2	00円					
成果等 及び 達成度	るため、周辺 令和3年度から 設資材の高騰	道路等の測量認	計業務を実施 改築設計業務は ト内容の確認、	は、基本設計がデ 見直しが必要と	を了し実施設計	に着手したが、	昨今の著しい	/建					

# (款)総務費 (項)総務管理費 (目)市民会館建設費

新市民会館建設推進室

事業名	新唐津市民会	新唐津市民会館(仮称)整備費 執行率(%)											
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 1					
(円)	24, 693, 000	0	△ 1,575,000	0	23, 118, 000	22, 749, 888	対予算現額	98. 4					
目的	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,. ,		進めるため、改 安全対策等を実	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	5総合支援業務	のほか、新た	な施					
事業内容及び実績	改築設計精査等総合支援業務1,562,000円管理運営計画策定業務11,946,930円建設予定地安全対策業務5,432,900円管理運営計画策定支援業務1,529,000円建築基準法に係る申請手数料 先進地視察ほか740,000円先進地視察ほか1,539,058円												
成果等 及び 達成度	改築設計精査等総合支援業務では、施設の基本・実施設計の詳細な部分を精査するため、専門的な知見から支援を受けた。建設予定地安全対策業務では、解体後の敷地の安全管理とともに、周辺道路の整備を行うことにより安全対策に努めた。 また、管理運営計画策定業務では、管理運営計画検討委員会での議論を踏まえ、新唐津市民会館(仮称)管理運営計画を専門的知見から支援を受け策定した。												

事業名	戸籍住民基本	台帳事務費		執行率(9	%)				
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	64. 7	
(円)	173, 453, 000	17, 398, 000	△ 41, 461, 000	0	149, 390, 000	123, 385, 240	対予算現額	82.6	
目 的		戸籍、住民基本台帳に基づく証明発行や申請・届出の受付、マイナンバーカードの交付のほか 印鑑登録、 自動車臨時運行許可、在留カードに関する事務などを実施するもの。							
	届出の受付	届出の受付件数 証明発行件数の実績 (単位 件)							

### 届出の受付件数、証明発行件数の実績

(単位 件)

		本庁	市民センター	出張所	郵便局	コンビニ	オンライン	合計
戸籍届	R4	5, 286	1, 218	12				6, 516
ノ * 末百/田 	R5	5, 078	1, 146	3				6, 227
住 民	R4	10, 432	2, 944	27		_	_	13, 403
異動届	R5	10, 348	2, 620	8			394	13, 370
証明書	R4	99, 957	32, 023	3, 312	1, 344	13, 914	_	150, 550
1 証労音	R5	88, 902	29, 399	778	1, 472	26, 706	488	147, 745

### 事業内容 及び実績

### マイナンバーカードの申請数、交付数等

	申請数(件)	うち施設等	うち個人訪問	交付数 (枚)	うち郵送受取	交付率	保有枚数率	電子証明書 交付数 (件)
R4	44, 144	6, 450	_	35, 677	10, 240	71. 22%	_	40, 630
R5	5, 165	457	130	38, 157	2, 411	82. 19%	77. 05%	16, 994

※保有枚数率は、死亡や転出などを除いた実態に近い指標で令和5年5月から公表された

出張所の廃止による窓口減少の影響を軽減する一環として、証明書をオンラインで請求できるサービスを 令和5年6月から開始し、郵便局窓口での証明書取り扱いを7局から10局に拡充した。

転出届2,922件のうち394件がオンラインで手続きが行われ、全体の13.5%であった。

証明書では、コンビニでの取得が増え、前年度9.2%から18.4%に倍増したことによって、窓口での受付 は前年度から△12%、16,213件減少した。オンライン手続きは、市民にとって窓口に出向く手間が省ける メリットがあり、オンライン利用が増えることで相対的に窓口利用が減り、庁舎の混雑緩和にもつながる ため、引き続き、利便性を周知していきたい。そのほか、令和6年3月から国による戸籍事務のオンライン 化により本籍地以外の窓口では取れなかった戸籍証明書が取れるようになった。

### 成果等 及び 達成度

マイナンバーカードについては、マイナポイント事業(令和5年2月末までの申請者が対象)終了による影 響を受け、申請数は激減した。その中で、申請しやすい環境づくりに努め、商業施設や介護施設での申請 受付のほか、個人宅訪問による申請受付を実施した。この結果、延べ枚数による交付率は前年度から約11 %増加し、死亡や転出などを除いた保有枚数率では77%を超えた。

戸籍等の記載事項に氏名の振り仮名が追加されることに伴うシステム改修については、改修内容の確定に 不測の日数を要したため、15,505,600円を令和6年度に繰り越した。

事業名	からつ力向上	つ力向上推進費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	85. 9				
(円)	6, 059, 000	0	0	△ 22, 167	6, 036, 833	5, 202, 412	対予算現額	86. 2				
目的	Project (企画		テスト)を実施	iするとともに、	地方創生の実現 幅広く市民の 進するもの。							
事業内容及び実績												
成果等 及び 達成度	動では、市職の応募に対した。また、企高等教育機関か、高校、大	員からの新たな 14件の応募があ 業版ふるさと網 と連携した取組	た施策への提言であり、地域の課題では、シングは、シングをとの連携による	がなされた。企 題解決に市民が 支援では、新た ポジウムの開催	べき課題の把握 画アイデアコン 関心を持ち取り な市への寄附の によるブルーカ 向け科学イベン	テストの開催 組む機運醸成 需要を喚起す ーボンの認知	では、前年度 を図ることが ることができ 度向上を図っ	10件 でき た。 たほ				

(款)総	(款)総務費 (項)企画費 (目)企画費 市政戦略課										
事業名	総合計画策定	費					執行率(%	6)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	94. 5			
(円)	12, 925, 000	0	0	0	12, 925, 000	12, 213, 301	対予算現額	94. 5			
目的	令和7年度から10年間の総合的かつ計画的な行政運営を図るため、第3次唐津市総合計画を策定するもの。										
事業内容及び実績											
成果等 及び 達成度	また、総合計画の基礎調査である市民アンケート等を実施し、基本構想骨子案を作成したほか、論点デー										

事業名	行政評価制度	見直し事業費					執行率(9	%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0		
(円)	5, 127, 000	0	0	0	5, 127, 000	5, 125, 395	対予算現額	100.0		
目的	行政評価制度	行政評価制度における課題の抽出・整理を行い、より実効性の高い行政評価制度へ見直しを図るもの。								
事業内容及び実績	行政評価制度見直し (令和5年度及び6年度の2か年で実施) 事業内容 事務事業管理及び行政評価制度 (行政経営システム) 再構築 行政経営の効率化に向けた、現在の業務内容やフロー、組織の構造などの根本的な見直し 実績 行政評価制度見直し支援業務 5,125,395円 日報管理に基づく業務量調査、新たな行政評価マニュアル・評価シートの作成支援									
成果等 及び 達成度	財政計画、組		行財政改革等	と連動させる仕	を適切に運用し 組みについて、 直しを図る。					

新エネルギー産業課

事業名	新エネルギー	新エネルギー導入推進費 執行率(%)									
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	90. 4			
(円)	4,661,000	0	0	0	4,661,000	4, 211, 431	対予算現額	90. 4			
目的			方な導入やエネルスの脱炭素社会の			/、地域産業の	振興を図ると	とも			
事業内容及び実績	再エネコーディネーターとの再生可能エネルギーの導入推進等に関する協議を行い、専門的なアドバイス や先進事例等の共有を受けた。また、電気自動車急速充電器の運用を行った。 再エネコーディネーター等謝金 1,197,420円 電気自動車急速充電器の維持管理 938,388円 レンズ風車の維持管理 921,144円 事務費 1,154,479円										
成果等 及び 達成度	の検討を行っ	た。また、電気 事業の誘致に関	る専門的なア (自動車急速充電 関する地元説明会 レギー等の導入者	電器の運用によ 会の実施や、若	り電気自動車の 年層向けのイヘ	)普及啓発に寄 ベントを行うな	与した。さら	に、			

事業名	地域エネルギ	一創出事業費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 3
(円)	63, 000, 000	0	△ 1,070,000	0	61, 930, 000	61, 930, 000	対予算現額	100.0
目的	再生可能エネルギー総合計画を、時代や政策の変化を捉えた計画へ改訂するもの。また、市民等に向けた セミナーや視察等を実施し、洋上風力発電事業に対する理解促進を図るもの。							
事業内容及び実績	唐津スマートレジリエンス拠点構築事業において、さらなる再エネ導入最大化のための詳細調査・設計検 討等を行った。また、唐津市沖洋上風力発電事業の誘致実現に向けた事業者の先進地視察等の実施及び唐 津市再生可能エネルギー総合計画を改訂した。 唐津市再生可能エネルギー総合計画改訂事業 12,100,000円 唐津市沖洋上風力発電事業に関する理解促進事業 14,850,000円 唐津スマートレジリエンス拠点構築事業 34,980,000円							
成果等 及び 達成度	定が行えた。 のセミナー( ネルギー総合	また、唐津市泊 市民向け・事業	中洋上風力発電 美者向け各1回) 脱炭素化と地域	事業の誘致に向 を開催し、機i	レジリエンス技 け、市内事業者 重醸成に寄与し 同時に実現する	音の先進地視察 た。さらに、虐	や理解促進の	ため 能エ

### (款)総務費 (項)企画費 (目)企画費

当初予算額 増額補正額

減額補正額

DX推進事業費

事業名

予算額 (円) DX推進室

執行率(%)

対当初予算額 72.9

(円)	260, 522, 000	0	△ 70, 397, 000	0	190, 125, 000	189, 923, 757	対予算現額	99. 9
目 的		請を可能とする 推進するもの。	手続きを増や	すことにより市	民の利便性を向	可上させるほか	、庁内の業務	5効率 
事業内容 及び実績	地図情報Web2		導入 144, 4 9導入 14, 7	030, 100円 441, 000円 174, 197円 689, 700円 643, 200円		ットツールの導 ターの導入 業務	2, 604, 3 12, 232, 0	360円
成果等 及び 達成度	受付分の放課 利便性の向上 行政サービス により、庁内 務の効率化を	後児童クラブス につなげた。ま を提供する体制 の情報共有の強 図るための体制	所申請など、 た、移動型行  を整えた。さ  化と意思決定  を構築した。	公開システムの 8つの申請手続き 政サービス(ど らに、業務用チ の迅速化を図っ DX推進支援業務 ント研修等を実	きにおいて電子 こでも出張市名 ヤットツール、 たほか、電子を においては、D	申請システムを と所)の導入に 会議用モニタ 会裁システムの X推進の技術的	学導入し、市」 より地域へ出 一を導入する 整備により庁 支援を受けた	民のきった業はいい。

流充用額

予算現額

決算額

事業名	移住定住促進事	往定住促進事業費									
予算額	当初予算額 1	2月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	80. 9			
(円)	24, 787, 000	16, 100, 000	△ 1,790,000	0	39, 097, 000	33, 096, 560	対予算現額	84. 7			
目的	人口減少対策の	つ一環として、	移住・定住を位	促進するための	事業を展開する	らもの。					
	移住促進事業	,		(新規相談件数	, , , , ,		6, 032, 8				
				(移住フェア計		_,,	563, 8				
事業内容	唐津市地方創生移住支援事業補助金(東京圏在住者向け)3件							000円			
及び実績	唐津春らしスタート文援事業補助金(上記以外)23件 							000円			
	定住促進事業	若年層転出者	を対象とした	アンケート調査	(発送数1,000	人、回答数272	人) 293, 5	591円			
		若者(中高生	:等)を対象と	した定住意識醸	成(シビックフ	プライドの醸成	364, 3	814円			
	事務費ほか						241, 9	967円			
成果等 及び 達成度	に比べ増加して 市内在住時のシ	帯85人、R5 49 こいる(R3 1524 /ビックプライ	世帯95人)。新 牛、R4 236件、 ド醸成が重要	による相談対応 f規移住相談件数 R5 207件)。18 であるという結 :ともに高校生の	故は頭打ち傾向 〜29歳の若年層 果を得た。若≹	にあるがコロナ 骨転出者へアン 子(中高生等)	<sup>-</sup> 禍前(H30 67 ケートを実施 への定住意識	/件) iし、			

# (款)総務費 (項)企画費 (目)企画費

移住定住促進課

事業名	出会い創出事	業費					執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	45. 2		
(円)	2, 461, 000	0	△ 1, 348, 000	0	1, 113, 000	1, 111, 998	対予算現額	99. 9		
目的	人口減少対策	人口減少対策の一環として、結婚を希望する男女の出会いを支援するもの。								
事業内容及び実績	出会い応援男性向けセ	出会い応援イベント開催に要する経費 出会い応援「トーク交流会」 3回実施 延べ男性21人 女性19人参加 男性向けセミナー「出会いを交際へ繋げる成功法則」 男性12人参加 Coupling Party In 唐津 男性7人 女性3人参加 香津市民の結婚に関するアンケート調査 (発送数4,000人、回答数499人) 807,867円								
	唐津市民の結 事務費	婚に関するアン	ケート調査	(発送数4,000人	、回答数499人	)	807, 8 62, 6			
成果等 及び 達成度	婚活イベントを8回計画し、うち5回開催(男女向け4回、男性向けセミナー1回)、3回中止(女性申込み 定員に達せず)となった。出会いの機会の創出は一定回数行えたものの、参加者が集まらずに中止となっ たり、当日の急なキャンセルが発生したイベントがあり、参加者の確保に苦慮した。市内在住の25~39歳 の男女に対し、結婚に関するアンケートを実施。市の事業への認知度が低いこと、婚活事業に求めること などの結果を得ることができたため、イベントの周知方法や実施内容について検討し改善をすることで、 参加者増に努めている。									

事業名	女・男(ひと	・ひと) 輝き事	業費				執行率(%	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 1
(円)	4, 907, 000	0	0	0	4, 907, 000	4, 521, 111	対予算現額	92. 1
目的				援を行い、理解 、女性活躍推進			また、性別に	.関わ
	女性のため	のキャリアアッ		実施回数11回 女性のためのデ な発ポケットティ		ティング講座等	1, 012, 9	951円
事業内容及び実績	男女共同参画お出かけ講座	市民提案事業					171, 0 100, 0 72, 8 3, 164, 3	800円
成果等 及び 達成度	組んだ。公的 での目標値50 参画基本計画	審議会等への女 %に対して76.8 (第5次) 策定	性登用率は、 3%達成してい。 こ向けて市民ア	司参画社会の実 令和5年度38.49 る。DV防止では ンケート等を9 め、裾野を広げ	%(令和4年度3 、街頭活動をP 実施し、現状把	8.0%) と微増 再開し、啓発に 握に努めた。様	し、令和6年月 努めた。男女	度ま 共同

からつブランド・ふるさと寄附推進課

(水) 松	<b>労賃 (現)企画賃 (日)企</b>	四貝		74 -5	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2 Ø C C H1 I-111	正人二十八
事業名	ふるさと寄附金推進費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額 12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	90. 6
(円)	2, 641, 594, 000 448, 199, 000	0	C	予算規額 次昇額 予算額 90. 0 3,089,793,000 2,798,653,770 対予算現額 90. 3 さと寄附金の取組みを推進するもの。 2,648,462,200円 1,350,655,960円 403,428,912円 69,728,336円 63,566,299円 570,187,952円 190,894,741円 150,191,570円	90.6		
目的	市の産品のPRと地域経済の活	5性化を図ると	ともに、ふるさ	くと寄附金の取締	且みを推進する	もの。	
	寄附金の募集に要した費用				:	2, 648, 462, 20	00円
	返礼品の調達に要した費用	1			1,	350, 655, 960F	円
	返礼品の送付に要した費用	]				403, 428, 912F	円
	広報に要した費用					69, 728, 336F	<b>円</b>
事業内容	寄附金の決済に要した費用		63, 566, 299F	円			
及び実績	ポータルサイト運営等に	夏した費用				570, 187, 952F	円
	寄附者情報管理及びワンス	ペトップ特例申	請受付に要した	上費用(10月~3	月分)	190, 894, 741 F	円
	その他(制度改正前の対象を	卜経費)				150, 191, 57	70円
	寄附者情報管理及びワンス	ベトップ特例申	請受付に要した	上費用(4月~9月	月分)		
	令和5年度寄附件数 324,48	1件					
成果等 及び 達成度							
Æ PAIX	また、市内事業者から返礼品	よを調達したこ 	とにより地域経	怪済の活性化に~	つながった。		

事業名	生活路線バス	等運行対策事業	<b>生費</b>				執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 4
(円)	227, 491, 000	0	△ 3, 400, 000	0	224, 091, 000	223, 780, 268	対予算現額	99. 9
目的	地域公共交通	を確保し地域自	巨民の生活安定に	に資するため、	生活路線バス等	等の運行経費の	補助等を行う	もの。
事業内容及び実績	補助対象路 延べ輸送人 オンデマンド デマンドタ 登録者数79 地域の生活移 日中にバス 運行事業を 運行回数	員 804,728人 システム導入補 クシーの予約か 6人(対象地区 動支援実証運行 の本数が少なく 実施した。	(令和4年10月を 前助金 いら配車までの) 厳木地区、相 所事業 、タクシーので 回(夏季124回、	運行一連のシス 日知地区の一部、 営業所がない北	テム導入費用に 浜玉地区の一 波多と七山地区 七山地区15回	<ul><li>二対して補助を</li><li>部、七山地区)</li><li>区にタクシーを</li><li>(夏季のみ)</li></ul>	3, 481, 459円	実証
成果等 及び 達成度	路線バス等の加した。しかオンデマンドなり、受付時 実証運行では 今後も唐津地	利用者は減少個し、コロナ禍前システムの導入間も乗車する前、北波多地区で	傾向だったが、今前の令和元年度により、デマンガ日の17時までが一定のニーズが更増進実施計画に	令和5年度は804 は1,023,986人 ンドタクシーの から当日の60分 がある一方、七	生活安定に資す,728人と前年度であり、引き続予約が24時間イ前までに変更し山地区のニース、路線再編や道	Eの744, 758人と き利用者が少な ンターネット たことで、利 ばは少なかった	: 比べ59,970/ : い状況にある からできるよ 便性が向上し	5。 うに た。

# (款)総務費 (項)地域振興費 (目)地域振興費

交通政策課

事業名	タクシー事業	者キャッシュレ	/ス決済端末導	入支援補助金			執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	76. 3
(円)	10, 000, 000	0	0	0	10, 000, 000	7, 634, 000	対予算現額	76. 3
目的	タクシー利用者の利便性の向上を図るため、市内のタクシー事業者に対し、キャッシュレス決済端末導入 経費の一部を補助するもの。							
事業内容及び実績	実施内容 市内の事業所又は営業所に配置されているタクシー車両にキャッシュレス決済端末を導入するための費用の2分の1(車両1台当たりの限度額10万円)を補助 実績 導入したタクシーの台数 103台							入す
成果等 及び 達成度	を図った。事		た事業者への	央済端末の導入 意向調査では10 きた。				

離鳥振興室	_
	ς.

事業名	離島振興基金	事業費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	88. 7
(円)	26, 297, 000	0	0	0	26, 297, 000	23, 328, 837	対予算現額	88. 7
目的		画と創意工夫に 及び活力維持を						島の
事業内容及び実績	神集島地向島加唐島有松島馬渡島	害鳥獣対策事業 域交流事業、有 の宝発見事業、 害鳥獣対策事業 害鳥獣対策事業 境美化事業、有 域交流事業、磯	害鳥獸対策事業環境美化事業( 、国際交流及で 、特産品開発 等鳥獣対策事業	業ほか4事業 まか1事業 び地域交流事業 事業ほか2事業 業ほか2事業			10, 000, 0 1, 261, 000 1, 361, 000 529, 000 1, 946, 000 1, 188, 000 1, 702, 000 2, 013, 000 13, 328, 8	円円円円円円
成果等 及び 達成度	して実施する	への支援により ことで、島の活 島に2名の計11名	性化が図られた	た。島外の児童	生徒を離島留学			

# (款)総務費 (項)地域振興費 (目)地域振興費

地域づくり課

事業名	ふるさと集落	活性化事業費					執行率(%	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	86. 5
(円)	35, 045, 000	0	△ 1,585,000	0	33, 460, 000	30, 317, 058	対予算現額	90. 6
目的				援するため、集 ・強化を図るた				
		び地域おこし協					27, 317, 3	58円
	集落支援員	(厳木地区)	1名 :	地域づくり活動の	の伴走支援			
	集落支援員	(肥前地区)	1名 :	地域づくり活動の	の伴走支援			
事業内容	集落支援員	(呼子地区)	1名 「	乎子朝市の新規!	出店者支援、新	規イベントの倉	川出	
及び実績	集落支援員	(まちづくり支	接) 2名 5	地域まちづくり	会議等の活動サ	ポート		
	集落支援員	(離島支援)	1名	離島留学や島づ	くり事業の活動	サポート		
	地域おこし	協力隊(七山地	2区) 2名	七山新聞発行、	地域づくり拠点	の整備		
	地域おこし協	力隊採用に係る	業務				2, 999, 7	700円
	集落支援員及	び地域おこし協	3力隊を配置し	たことで、各地	1域の課題解決、	活性化につな	がった。七山	地区
成果等 及び	の地域おこし	協力隊2名は令	和5年度末に任	:期満了を迎えた	が、引き続きも	亡山地区に居住	しており、地	域外
達成度	人材の定住に	もつながった。	また、新たに	地域おこし協力	隊2名を募集、	令和6年度から	離島担当とし	て配
	置している。	今後も地域の意	見を聞き取り	ながら、継続的	]に地域づくり活	<b>舌動を支援して</b>	いく必要があ	る。

事業名	地域交流イベ	ント活動促進費	P				執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	88.8
予算額 (円) 目 的 事業び 本内 素 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	24, 000, 000	21, 300, 000	対予算現額	100.0				
目的		ごとに実施さ∤ 育成を図るも <i>0</i>		トに対し支援を	行うことにより	)、地域住民の	活動意欲を高	め、
4 7 TO 1 4 H	浜 厳 相 北 肥 鎮 呼 班 銀 水	玉町花火大会、 木町納涼花火力 知町地域振興へ 波多ふるさと夏 前いろは祭 西町夏まつり 光呼子港まつり	'ベント	玉 多ふれあいフェ まつり	スタ、唐津焼の	)里ウォーク	2, 450, 0 2, 000, 0 3, 000, 0 2, 200, 0 2, 650, 0 3, 000, 0 3, 000, 0	000円 000円 000円 000円
成果等 及び 達成度	域内外の住民	が交流するイ〜	ベントの実施を	支援することが	、本事業によりできた。目標と できた。目標と 地域の担い手育	こしていた全て	の市民センタ	. –

(款) 総	務費 (項)地	」域振興費 (目	)地域振興費					地域づ	くり課
事業名	がんばる地域応援補助金 執行率(%)								
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算	算現額	決算額	対当初予算額	52. 1
(円)	34, 107, 000	0	△ 13, 700, 000		0 20	, 407, 000	17, 779, 000	対予算現額	87. 1
目 的	多様な市民活動・地域活動を支援することで、市民活動の育成及び地域力の向上を目指し、将来にわたり持続可能な地域の形成を図るもの。							たり	
	がんばる地域応援事業補助金 地域の連帯感の醸成及び活性化を図るソフト事業 事業費400千円以下 補助率2/3 (限度額200千円) 事業費400千円超 補助率1/2 (限度額500千円)							*/	
	地域が所有	又は管理する旅	施設等の整備事			(限度額		、新設1,000=	

地域が所有又は管理する施設等の整備事業

がんばる地域応援事業補助金(地域力促進枠)

小さなチャレンジ事業(自治会、町内会等) 地域まちづくり事業 (地域まちづくり会議) 補助率9/10 (限度額100千円×地区数)

補助率 ソフト9/10、ハード1/3 (限度額500千円)

(単位 円)

区分	ソフト	施設等の整備	小さなチャレンジ	地域まちづくり	総計(団体数)
唐 津	2, 841, 000	1, 173, 000	2, 623, 000	4, 369, 000	11, 006, 000
店 年	(18団体 )	(6団体)	(45団体)	(11団体 )	(80団体)
※ 丁	200, 000	44,000	518, 000	500, 000	1, 262, 000
浜 玉	(1団体 )	(1団体)	(6団体 )	(1団体)	(9団体 )
厳木	0	0	100, 000	224, 000	324, 000
取 小	(0団体)	(0団体)	(1団体)	(1団体)	(2団体)
相知	184, 000	0	796, 000	351,000	1, 331, 000
7日 大山	(2団体)	(0団体)	(8団体)	(1団体)	(11団体 )
北波多	60,000	0	200, 000	212, 000	472,000
北仮多	(1団体 )	(0団体)	(2団体)	(1団体)	(4団体 )
肥前	600,000	284, 000	959, 000	312, 000	2, 155, 000
加口用印	(3団体)	(3団体)	(10団体 )	(1団体)	(17団体 )
鎮西	0	0	463, 000	500, 000	963, 000
典 四	(0団体)	(0団体)	(5団体)	(1団体)	(6団体 )
呼 子	46, 000	0	94, 000	126, 000	266,000
叶 丁	(1団体 )	(0団体)	(1団体 )	(1団体)	(3団体)
七山	0	0	0	0	0
Т. Ш	(0団体)	(0団体)	(0団体)	(0団体)	(0団体)
計	3, 931, 000	1,501,000	5, 753, 000	6, 594, 000	17, 779, 000
日日	(26団体 )	(10団体)	(78団体)	(18団体 )	(132団体 )

成果等 及び 達成度

事業内容 及び実績

> 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、ソフト事業及び施設等の整備事業の申請件数については回 復傾向がみられ、交付件数の目標59件に対して36件で達成度61.0%(令和4年度40.6%)で、地域づくり 活動団体を一定数支援することができたが、事業全体の当初予算額に対する交付実績は、52.1%(令和4 年度32.6%) に留まり、特に七山地区については、7月の災害後に機運醸成が十分に行えず、申請に結び つかなかった。申請機会を増やすため、令和6年度から初回申請時の審査会を偶数月開催から毎月開催へ 変更した。

事業名	地域づくり人	材活用事業補助	<b>力金</b>				執行率(%	<b>%</b> )
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	85. 7
(円)	9, 570, 000	0	0	0	9, 570, 000	8, 201, 000	対予算現額	85. 7
目的					らくり事業協同組 地域の人材確保		ことにより本	市に
事業内容及び実績	事業実施主体 補助対象事業 補助金額 雇用実績 派遣先		0円					
成果等 及び 達成度	令和5年度末に 用の輪を拡げ	には14事業体に	増加。目標であ	る組合員数16	組合員数も令和 事業体に対し87. 6名確保の目標に	5%達成、マバ	レチワーカーの	の利

# (款)総務費 (項)地域振興費 (目)地域振興費

地域づくり課

事業名	地域総合整備	資金貸付金(約	製越明許分)				執行率(9	%)		
予算額	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額		100.0		
(円)	800,000,000 — — 800,000,000 800,000,000 対繰越予算額 100.0									
目的	地域の振興に	也域の振興に寄与する設備投資を行う民間事業に対し無利子融資を行うもの。								
事業内容及び実績	融資額対象事業スま	式会社まいづる 800,000,000円 ーパーマーケッ いづるスリーナ 業開始日 令和 882,000,000円	・ト複合店舗建		達 約6,840㎡					
成果等 及び 達成度		に当たり85人の が受注したこと			「図られた。また 得られた。	<b>二、店舗整備事</b>	業を市内の設	<b>計業</b>		

事業名	相知宿通り賑わいづくり支援事業費	執行率(%	6)						
予算額 (円)	当初予算額 6月補正予算額 減額補正額 流充用額 予算現額 決算額	対6月補正後 予算額	89. 3						
(円)	0 24,696,000 0 24,696,000 22,064,143	対予算現額	89. 3						
目 的	地域の伝統文化を守り、育て、魅力ある地域づくりを推進するとともに、地域力の向上を図るため、相知 宿通りの賑わいづくりを支援するもの。								
事業内容 及び実績	「相知くんち」において、高さ10m山笠の巡行のため、巡行路内の電柱の嵩上げ及び横断線の移設を実施したもの。 施工延長 L=1,400m(令和5年度L=250m、令和6年度・7年度L=1,150m) 債務負担行為限度額 130,942千円(令和6年度~令和7年度) 令和5年度実施事業 移設工事に伴う事前調査 990,000円 市有線テレビケーブル移設工事 5,500,000円 電線等所有事業者への移転工事負担金 15,574,143円								
成果等 及び 達成度	相知市民センター前から東方の平山方面三叉路までの区間(第2工区 全長250m)の横脚したことにより、施工延長1,400mのうち17.9%が完了した。令和7年度までに全区間の								

# 3 民 生 費

### (1) 社会福祉費

福祉施策では、福祉のまちづくりを推進することを目的に、地域福祉活動事業の円滑かつ適正化を図るため、唐津市社会福祉協議会や唐津市民生・児童委員連絡協議会に対し補助を実施したほか、災害り災者に対する見舞金の支給等を実施した。また、令和5年7月の豪雨災害においては、唐津市社会福祉協議会との協定に基づき初めて災害ボランティアセンターを設置し、当該センターにボランティアによる障害物の撤去等の調整事務を委託することにより、被災者の生活再建支援に寄与した。

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し、困窮状態からの早期脱却を促し、経済的・社会的自立につなげることを目的に、唐津市生活自立支援センターにおいて自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給や家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施した。また、唐津市生活自立支援センターと連携し、生活困窮者の支援を行った団体に対し、その活動経費の助成を行った。

唐津市福祉・就労支援コーナーにおいて、市とハローワークによる生活保護受給者及び母子・父子家庭 等に対する一体的な就労支援を実施した。

エネルギー、食料品価格等が高騰する中、生活支援として住民税非課税世帯等に給付金を支給した。

障がい者福祉施策では、障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付、自立支援医療などの自立支援給付事業、市町村事業である地域生活支援事業などの諸事業及び就労支援事業を実施し、障がい者の自立と社会参加を促進したほか、第7期からつ自立支援プランを策定し、令和6年度から令和8年度までの障がい福祉サービスなどの確保に関する実施計画を定めた。

令和5年度から身体障害者(児)住宅改造補助金を新設し、身体障がい者(児)の在宅生活支援や介護者の負担軽減を目的に、今まで対象外であった住宅改造(改修)工事についても助成を実施した。

また、障がい者支援センターでは、障がい者の社会参加や地域生活の促進を図るための諸事業を実施した。障がい者週間に作品展と障害福祉施設による物品販売会を共催したことで相乗効果が得られ、例年の2倍の来場者があった。

高齢者福祉としては、社会の高齢化が進む中、高齢者が健康で生きがいを持ち、地域で安全・安心に暮らせる優しさと温もりのあるまちづくりを目指して施策を推進した。

高齢者の生きがいと健康づくり施策では、地区敬老会行事奨励事業、敬老祝金支給事業、老人クラブ団 体運営事業、シルバー人材センターへの助成事業及び市民活動支援センター事業を実施した。

高齢者の生活支援施策では、在宅の高齢者の安全・安心を図るため、介護サービスと連携した居宅サービスの充実に努め、高齢者日常生活支援事業、はり、きゅう等施術費助成事業、一人暮らし高齢者に対する緊急通報装置の設置事業等を実施した。また、高齢者の交通事故防止を図るため、運転免許証を自主返納した高齢者に対する運転免許証自主返納者支援事業を実施した。

介護人材不足への対策として、新規に介護サービス事業所等に就職する者又は復職する者に対し就職支援金を交付することで、新たな人材の確保と質の高い介護サービスの提供に努めた。

高齢者ふれあい会館等の各高齢者福祉施設を適切に管理運営し、利用者の利便性と安全性を確保した。 人権・同和対策として、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解消を図るために、同和問題講演 会及び人権フォーラムの開催や人権の花運動を実施し、市民に対して人権啓発の推進に努めた。

人権ふれあいセンターにおいては、地域住民の社会的、経済的、文化的改善向上を図り、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の近隣住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のため福祉・文化・教育等の事業活動を行った。

市民相談事業では、多様化する市民の諸問題を解決するため、弁護士による無料法律相談を行い、市民生活の安定に努めた。また、消費者行政施策として、消費者の安全、安心に関わる問題について被害の発生や拡大を防ぐため、消費生活センターの消費生活相談員が助言や情報の提供など必要な措置を行った。

### (2) 児童福祉費

児童が心身ともに健やかに育成されるように諸施策の推進を図った。

子育て支援を包括的に行う拠点として、唐津市子育て支援センター内で、子育てに関する情報の提供や相談業務、子育て緊急サポートセンター事業、病後児保育事業、地域子育て支援拠点事業及び子ども子育て交流フロアキッズルームの運用を引き続き行ったほか、新生児を対象に「からつっ子応援ギフト」を配付し、配付時には各種支援事業の周知を図ることにより、物心両面からの応援事業を実施した。

唐津市保健センターにおいては、妊娠・出産包括支援事業として母子保健コーディネーターを配置し、 妊娠期から乳幼児期における問題点を把握し、支援計画の作成を行い、関係機関との連携を図りながら切れ目のない支援を行った。

また、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援と、出産育児関連用品の購入費用などの負担軽減を図る経済的支援を一体的に行った。

児童虐待や不登校などの家庭児童相談及び要保護児童等の早期発見、適切な保護並びに支援に努めたほか、こどもに教育や体験活動の機会を提供する「学習と体験の居場所」モデル事業や、こどもの居場所等を支援するコーディネート事業を実施し、こどもたちが健やかに成長できる環境づくりに取り組んだ。

保育施策として、保護者の就労形態の多様化や核家族化の進行に伴い変化する保育ニーズに対応するため、延長保育事業、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業等の特別保育事業を実施したほか、市独自施策として多子世帯の保育料軽減を図った。

離島における保育事業の円滑化と適正化を図るため、運営に係る補助を行い離島の保育事業を維持した。 子育てのための施設等利用給付事業においても、3歳児から5歳児までの一時預かり等の各種サービス の利用料を無償化することにより、保護者の経済的負担軽減を図った。

加えて、待機児童を解消するため、就職(復職)準備金等を支給した保育所等に対して補助することにより保育士等の人材確保に努めた。

保育所等へバス安全装置の導入に要した費用を補助することにより、社会問題となっていた児童置き去りへの不安解消を図った。

使用済みおむつの保管用ゴミ箱を購入する保育所等に対し、購入に要する費用を補助することにより、 使用済みおむつの園処分を推進し、保護者と保育士の負担軽減を図った。

こどもを安心して育てることができる環境を整備するため、環境改善につながる改築工事及び防犯対策強化のための外構整備や防犯カメラ等の設置を行った保育所等に対し、整備費用の一部を補助した。

放課後児童クラブでは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者への子育て支援を行った。

こどもを持つ世帯の経済的負担を軽減するため、中学生までの児童を対象とする子どもの医療費助成を現物給付により行ったほか、ひとり親家庭等医療費助成では医療費の自己負担分に対する助成を行った。

次世代の社会を担うこども一人一人の成長を社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童生徒を対象に児童手当等を支給し、子育て家庭に対する生活安心の確保を図った。

また、ひとり親家庭等の生活安定と自立促進を図るため、高校修了までの児童生徒を養育するひとり親家庭等を対象に児童扶養手当を支給した。

さらに、物価高騰に直面し家計が悪化した子育て世帯を支援するため、令和5年度唐津市子育て世帯生活支援特別給付金を支給し、生活支援を行った。

物価高騰の影響を受ける保育所等の給食の食材費を補助するため、保育所等物価高騰対策緊急支援金を 支給し、子育て世代の負担軽減及び給食の質・量の維持を図った。

### (3) 生活保護費

生活に困っているすべての人に対し、健康で文化的な生活水準を維持し最低限度の生活を保障するため、 生活保護事業を実施した。生活保護の適正実施を図り、保護世帯の自立助長に努めた。

	工具 (农) 仁云悃仁貝 (日	, 1271212					<b>不受坏</b>					
事業名	生活困窮者自立支援事業費 執行率(%)											
予算額	当初予算額 6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	93. 9					
(円)	37, 099, 000 2, 500, 000	0	0	39, 599, 000	37, 182, 361	対予算現額	93. 9					
目 的	生活保護に至る前の段階にあからの早期脱却を促し、経済				*相談支援等を	実施し、困窮	状態					
	生活困窮者自立支援事業					32, 538, 066	;円					
	自立相談支援事業 相談	後内容に応じ包2	括的な体制で、	関係機関と連絡	ら調整し支援を							
	家計改善支援事業家計	トの問題点を把	屋し、滞納整理	などに対し必要	な助言等を実	施。						
	就労準備支援事業 一般	と就労に従事す.	る準備として基	礎能力の形成の	)支援を一貫し	て提供。						
	新規相談者数 333人											
事業内容	住居確保給付金事業	2, 143, 800	)円									
及び実績	離職等で困窮状態にある力	に対し給付金	を支給し、住居	の確保と自立を	図った。							
	住居確保給付金支給者数	女 8人										
	生活困窮者自立支援の機能強	<b>食化事業</b>				2, 495, 495	5円					
	コロナ禍における支援ニー	-ズの増大に対	芯した生活困窮	者支援団体の活	動に対し助成	を行った。						
	助成団体数 5団体											
	生活困窮者自立支援の機能強	能化事業の交付	額確定に伴う超	過額の返還金		5,000	)円					
	生活困窮者に対し、ハローワ	1 カレ油堆し	サツオ揺む字歩	トキェレボ 白	古古塔にへわ	がった						
成果等	住居確保給付金事業では、新						<b>3</b> Δη					
及び達成度	確保につなげた。生活困窮者											
<b>建</b> 씨汉	問題解決の糸口となった。											
		7 区14、夕秋1L	<b>デジー ハ(CM)</b>	//	飛行門でルス		0					

# (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費

福祉総務課

<b>丰</b> 业力	令和5年度住民	税非課税世帯に対	対する支援給付金	給付事業費(電力	]・ガス・食料品等	等価格高騰分)	執行率(%	6)		
事業名 		"		給付事務費(	IJ	)	対6月補正後 予算額	97. 2		
	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	97. 2		
予算額 (円)	0	450, 000, 000	0	0	450, 000, 000	437, 310, 000	対6月補正後 予算額	80. 4		
	0	32, 393, 000	0	0	32, 393, 000	26, 041, 293	対予算現額	80. 4		
目的		エネルギー、食料品価格等の物価高騰による影響が特に大きい住民税非課税世帯に対し、給付金を支給することにより、負担の軽減を図るもの。								
事業内容及び実績	給付対象世帯(支給額) 令和5年度住民税均等割が非課税である世帯(1世帯当たり3万円) 給付数 14,577世帯 給付事務費内訳 システム改修業務委託 1,841,400円 事務センター業務委託 13,066,537円 郵便料、振込手数料 6,397,788円 消耗品費ほか 4,735,568円									
成果等 及び 達成度				行うことにより 養を受けている						

事業名	令和5年度住民和	说非課税世帯に対す	つる支援給付金給付	寸事業費(電力・カ	ガス・食料品等価材	各高騰追加分)	執行率(%	%)
尹未行		JJ	給付	寸事務費(	JJ	)	対12月補正後 予算額	97. 1
	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	97. 1
予算額 (円)	0	980, 000, 000	0	0	980, 000, 000	951, 160, 000	対12月補正後 予算額	78. 2
	0	25, 207, 000	0	0	25, 207, 000	19, 715, 655	対予算現額	78. 2
目的	原油価格、物活支援を行う	価高騰による負 もの。	担増を踏まえ、	、影響が特に大	きい低所得者†	世帯に対し、給	付金を支給し	、生
事業内容及び実績	給付対象世帯 給付数 給付事務費内	13 訳 システム	3,588世帯	色均等割が非課程 2,046,000円 2,969,528円		一業務委託 1		
成果等 及び 達成度	住民税非課税	世帯に対し、給	が付金の追加支	給を行うことに	より、生活支払	爱を行うことが	できた。	

### (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費

福祉総務課

古光力	令和5年度住		執行率(%)							
事業名	27 給付事務費						対1月補正後 予算額	74. 9		
₹ \$\$ \$\$	当初予算額	1月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	74. 9		
予算額 (円)	0	520, 000, 000	0	0	520, 000, 000	389, 250, 000	対1月補正後 予算額	29. 7		
	0	17, 001, 000	0	0	17, 001, 000	5, 055, 809	対予算現額	29. 7		
目 的		価高騰による負 税世帯に対し、				人下の児童がい	る非課税世帯	及び		
ı	給付対象世帯(支給額) ①令和5年度住民税均等割のみ課税世帯(1世帯当たり10万円)									
	②18歳以下の児童がいる令和5年度住民税均等割が非課税である世帯及び住									
事業内容	民税均等割のみ課税世帯(児童1人当たり5万円)									
及び実績	給付数		①2,623世帯	②2,539人						
	給付事務費内	訳 システム	改修業務委託	3,524,400円	郵便料、振	込手数料ほか	1,531,409円	I		
	低所得者世帯に対し、給付金の支給を行い、子育て世帯に加算支給することにより、生活支援を行うこと									
成果等	ができた。な	お、給付金の申	請期限が令和6	年4月30日まで	(こども加算に	は令和6年8月31	日まで)のた	め、		
及び 達成度	給付事業費13	80,700,000円、新	給付事務費11,9	45,000円を令利	口6年度に繰り起	基した。				

# (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 障害者福祉費

事業名	重度心身障害	執行率(%)						
予算額	当初予算額	対当初予算額	93. 1					
(円)	204, 634, 000	04, 634, 000 $0$ $0$ $0$ $0$ $0$ $0$ $0$ $0$ $0$						94. 2
目的	障がい者の例	<b>呆健の向上と福</b> 祉	上の増進を図る	ため、重度心身	障がい者に対し	_医療費の一部	を助成するも	の。
事業内容及び実績	助成内容 B 実 績 助 支	目己負担(月額	質500					
成果等 及び 達成度	あった。対象	曽加(0.1%増 を受けられる						

### (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 障害者福祉費

障がい者支援課

事業名	心身障害者	執行率(%)								
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 2		
(円)	33, 231, 00	0 0	0	0	33, 231, 00	30, 643, 376	対予算現額	92. 2		
目的	在宅の障がい者や障がい児、難病患者等の日常生活がより円滑に行われるために、障が常生活用具を給付するもの。							て日		
事業内容及び実績	実施内容	て給付								
成果等 及び 達成度	在宅の心身障がい者(児)に対して日常生活用具を給付することにより、障がい者等の日常生活がより円滑に行われ、介助者の負担軽減にもつながった。前年度実績と比較すると、申請件数が58件、公費負担額が1,925,274円減少した。引き続きサービスが行き届くように、事業の周知を図っていきたい。									

# (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 障害者福祉費

	工具 (名) 工	工田川貝 (日	/ 学百石油油	₹			中//・/・日	人]反际			
事業名	障害者成年後見制度利用支援事業費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95. 3			
(円)	1, 842, 000	0	0	0	1, 842, 000	1, 755, 120	対予算現額	95. 3			
目 的	,,,,,,	成年後見制度の利用が有効と認められる知的障がい者又は精神障がい者に対し、成年後見制度の利用を支援することにより、障がい者の権利擁護を図るもの。									
事業内容 及び実績	唐津市成年後	見サポートセン /委託料 令:	/ターの運営	件数/報酬助反 /1,275,120円	令和4年	连度 4件/576,	000円				
成果等 及び 達成度	の充実を図っ	に関する中核機た。成年後見制	度の周知と利	市成年後見サポ 用促進を図るた 制度を必要とす	め、医療機関等	<b>をに出向いて成</b>	年後見制度に	つい			

# (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 障害者福祉費

障がい者支援課

(4)()	- 具 (- 字) L.公面世具 (- 日)										
事業名	手話言語等環	執行率(%	6)								
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	94.8			
(円)	7, 771, 000	対予算現額	94. 8								
目的	聴覚障がい者(児)の社会生活等におけるコミュニケーションが円滑に行えるよう支援										
	手話通訳設置	961, 276円									
	手話普及、啓	]	76,940円								
			※ろう講師と	手話通訳者を派	遣し講義を行う						
事業内容			要約筆記 67	校(11クラス)							
及び実績	手話通訳者派	遣事業	18回			]	12,800円				
	意思疎通支援	者派遣事業	手話14人(79	回)、要約筆記	1人 (2回)	2	270,000円				
	奉仕員養成事業 手話教室(47回)40名、要約筆記教室(19回)5名						776, 780円				
	事務費						71,496円				
成果等 及び 達成度	令和元年12月の唐津市手話言語の普及及び聴覚障害児・者のコミュニケーション手段の利用を仮例制定以降、企業及び学校を対象に手話講座を開催している。学校では、令和4年度の20クラスで 和5年度は24クラスで手話講座を行い、前年度比20%増の結果となった。また、企業に対して1社 着実に手話の普及、啓発活動に寄与している。こうした手話の普及、啓発活動の結果、手話の関り、手話教室の受講者数も令和4年度22名から令和5年度は40名と増加した。										

事業名	障害福祉サー	障害福祉サービス費							
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	99. 2	
(円)	3, 273, 396, 000	448, 029, 000	0	△ 1,624,393	3, 719, 800, 607	3, 690, 779, 231	対予算現額	99. 2	
目的		援法に基づき、 る給付を行い、				営むことができ	るよう障がい	福祉	
1	1							I	

### 障害福祉サービス事業別実績

事 業 名	R5人員	R5実績(円)	R4人員	R4実績(円)	前年度比実績(%)
居宅介護	129	81, 998, 872	127	83, 952, 106	97. 7
重度訪問介護	2	39, 579, 370	2	38, 484, 150	102.8
行動援護	2	537, 680	1	420, 530	127. 9
同行援護	15	4, 601, 118	14	4, 166, 388	110. 4
生活介護	332	792, 734, 471	338	798, 190, 899	99. 3
療養介護	48	170, 929, 560	47	164, 064, 790	104. 2
短期入所	48	55, 594, 877	31	46, 659, 345	119. 2
施設入所支援	201	319, 492, 268	210	326, 046, 209	98. 0
計画相談支援	243	50, 410, 838	223	46, 328, 671	108.8
共同生活援助	221	405, 439, 240	207	355, 229, 066	114. 1
宿泊型自立訓練	0	0	0	0	0.0
自立生活援助	0	0	0	0	0.0
自立訓練 (機能訓練)	0	180, 441	1	618, 471	29. 2
自立訓練 (生活訓練)	1	1, 722, 987	1	1, 481, 350	116. 3
就労移行支援	5	7, 654, 208	10	19, 497, 966	39. 3
就労継続支援(A型)	125	236, 435, 815	110	191, 672, 244	123. 4
就労継続支援(B型)	462	743, 132, 994	432	683, 924, 046	108. 7
就労定着支援	1	353, 626	2	548, 623	64. 5
地域移行支援	1	361, 680	0	40, 210	899. 5
高額障害福祉サービス費	12	1, 415, 675	9	783, 472	180. 7
障害児相談支援	124	30, 008, 660	86	25, 584, 630	117. 3
児童発達支援	205	220, 071, 875	147	192, 438, 456	114. 4
放課後等デイサービス	459	489, 105, 116	294	366, 420, 752	133. 5
保育所等訪問支援	7	1, 983, 906	4	1, 160, 169	171. 0
療養介護医療費	45	36, 742, 614	43	34, 600, 362	106. 2
やむを得ない措置費 (放課後等デイサービス)	0	291, 340	0	0	0.0
合 計	2, 688	3, 690, 779, 231	2, 339	3, 382, 312, 905	109. 1

成果等 及び 達成度

事業内容 及び実績

障がい者(児)の支援、更生や訓練等の障害福祉サービス費等を給付し、障がいの維持、軽減を図ることにより、自立した生活や社会参加の促進につながった。近年、障がい福祉サービスを利用するための環境整備が進んだことで利用者がニーズに応じてサービスを選択できる体制が整ってきており、前年度比9.1%の事業費増となった。また、第2次唐津市総合計画後期基本計画に掲げる、障がいのある人が就労支援事業所等から一般就労へ移行した数が、令和5年度目標値14人に対し実績15人となり、目標を達成した。

障がい者支援課

事業名	障害者就労支	執行率(%)									
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	33. 9			
(円)	3, 454, 000	0	0	△ 1,654,920	1, 799, 080	1, 169, 753	対予算現額	65. 0			
目的		障がい者を期限付きで会計年度任用職員(事務補助)として雇用することにより、障がい者本人が就労に 対する自信を持てるように経験を積み、将来の一般就労につながるよう実施するもの。									
事業内容及び実績	障がい者2名を会計年度任用職員(事務補助)として雇用 雇用期間 令和5年 4月1日から令和6年3月31日まで 1名 (6.0時間×4日/週) 令和5年12月1日から令和6年3月31日まで 1名 (4.0時間×5日/週)										
成果等 及び 達成度	就労経験や事務職経験が全くない障がい者に対して、一般就労に関する一定の知識と経験を付与し、就労に向けたステップアップの機会を提供した。2名の雇用者のうち1名を一般雇用につなげることができた。 今後もハローワークとの連携を図りながら事業を推進していきたい。 執行率が低かった理由としては、4月から11月まで1名雇用であったこと、また、雇用した2名については、本人の体調面に配慮した時短勤務の適用であったため、予算額に対し報酬等の支出額が少なくなった。										

### (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 障害者福祉費

事業名 身体障害者(児)住宅改造補助金

障がい者支援課

執行率(%)

予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	33. 5
	1, 000, 000	0	0	0	1, 000, 000	335, 000	対予算現額	33. 5
目的	在宅の心身障がい者(児)、難病患者等が、日常生活の不便を解消するための住環境改善(住宅改造)を 行う場合に、その費用を助成するもの。							
事業内容及び実績	事業内容 障がい者等の日常生活の不便を解消するために必要な住宅の改造に対して、補助金を交付 (世帯の課税状況により制限あり) 実績件数 2件(段差の解消、昇降機等動力を用いて移動する設備、手すりの取付け)							
成果等 及び 達成度	今まで日常生活用具の住宅改修では対象とできなかった工事についても、補助金を給付することが可能になり、対象者が抱える日常生活の不便に幅広く対応することができ、介助者の負担軽減にもつながった。 令和5年度から開始した事業であり、市報、行政放送等で広報を行ったが、市民への周知がまだ十分ではないと思われるため、今後も継続して事業周知の徹底を図っていきたい。							

# (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費

事業名	運転免許証自	重転免許証自主返納者支援事業費 執行率(%)											
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現物	額 決算額	対当初予算額	87. 1					
(円)	9, 817, 000	0	0	1, 023, 890	10, 840,	, 890 8, 550, 89	0 対予算現額	78. 9					
目的		高齢者の交通事故を防止するため、運転免許証の自主返納者に対し、返納後の日常生活を支援することで 運転免許証の自主的な返納を促すもの。											
	対象者 運転免許証を自主的に返納した65歳以上の高齢者												
	実施内容	タクシー利用券	柒(3割引)又は	交通系ICカー)	₹ (9,500円	円分)の交付							
		運転経歴証明書発行手数料(1,100円)の助成											
	実績			タクシ	一利用券	交通系ICカード							
		申請者数			979 人	191 人							
事業内容 及び実績		うち新規申請者	<b></b>		265 人	100 人							
		利用者数			644 人	137 人							
		利用枚数(回数	汝)	1	1,285 枚	3,272 回							
		助成金額(利用	月金額)	5, 56	4,690 円	1, 273, 424 円							
		運転経歴証明書	F発行手数料助原	成人数 350人									
	参考	市内運転免許証	E返納者数 令和	和5年度 503人	(令和4年度	度 514人)							
成果等 及び 達成度	し、97.9%に おり、高齢者	高齢者が運転免許証を返納しやすい環境作りに努めた。運転免許証の返納者は、前年度と比べて11人減少し、97.9%にとどまったが、市内の高齢者の交通事故発生件数及び死者数は、いずれも前年より減少しており、高齢者の交通事故の防止に一定程度寄与している。令和5年度に交通系ICカードの交付を助成施策として拡充しており、さらなる制度の周知を進めていきたい。											

# (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費

高齢者支援課

事業名	介護職員等応援事業費 執行率(%)											
予算額	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	100.0				
(円)	5, 000, 000	2, 000, 000	0	0	7, 000, 000	7, 000, 000	対予算現額	100.0				
目的	新規に介護サービス事業所等に就職する者又は復職する者に対し就職支援金を交付することで、介護人材 の不足を解消し、安定した介護サービスの提供を確保するもの。											
事業内容及び実績	対象者 市内介護サービス事業所等に介護職員等として新規就職する者又は復職(介護サービス事業 所等を離職し2年以上経過)する者 実施内容 就職支援金の交付(常勤 15万円(有資格者は5万円加算)、非常勤 10万円) 実績 交付件数 43件(常勤有資格者16件、常勤無資格者22件、非常勤5件)											
成果等 及び 達成度	職者2名、外員 を有しており 今後は、市内	職支援金を交付国人3名)の介護 、就職と同時に 介護サービス事 継続の必要性や	人材を確保す 2質の高い介護 1業所を対象と	ることができた サービスの提供 した実態調査を	。また、交付者 が見込まれる。 行い、介護人材	音のうち16名が	介護に関する	資格				

事業名	子ども・子育		執行率(%	%)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.7
(円)	30, 127, 000	0	0	195, 900	30, 322, 900	30, 322, 900	対予算現額	100.0
目的	安心して子育	てができる環境	竟を整えるため、	子育てに関す	る支援事業を包	1括的に実施す	るもの。	
	フナール田	**	 子育てに関する	 る情報提供や相詞	<b>※</b> 5 050 000	相談件数	1,831 件	]
	子育で利用	者支援事業	対応	11, 100,000	7, 256, 000	前年度比	1,118 件増	
	子育て緊急			見や送迎の相互	爱 7,745,000	利用者数	1,199 人	]
	サポートセ	ンター事業	助活動		7, 745, 000	前年度比	303 人増	
事業内容	病後児保育	事業	病気回復期の別	見竜の保育	6, 772, 000	利用者数	87 人	
及び実績	MIXILINI	<b>尹</b> 术	//1人(四及列27)	1里ッか日	0, 112, 000	前年度比	23 人増	
	地域子育で	支援拠点事業	  子育て親子のな	を流の場	7, 905, 000	利用者数	5,124 人	
	地域了自己	<b>人</b> 饭 医	1 H CW1 100	<b>C1</b> /11.1 ♥ <i>J 9///</i>	1, 300, 000	前年度比	449 人増	
	子育てサポ	ート事業		ポートセンター	事 644, 900	利用者数	1,199 人	
	1 H C / V	1 7 %	業のサポーター	-への支援 	011, 500	前年度比	303 人増	
成果等		施し、子育て中 できた。令和5	年度においては		フイルス感染症			

和され、利用者数が前年度比増となった。子育て緊急サポートセンター事業については、利用者(依頼会

員) が多く飽和状態のため、さらなるサポーター (提供会員) の確保や、同様の事業である特別保育事業

# (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費

の一時預かり事業との平準化を図る必要がある。

及び

達成度

こども家庭課

事業名	子どもの医療	費助成費					執行率(%	6)					
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	122. 4					
(円)	338, 627, 000	0	0	77, 206, 155	415, 833, 155	414, 554, 157	対予算現額	99. 7					
目 的	子育て世帯の	子育て世帯の経済的負担軽減、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費を助成するもの。											
事業内容及び実績	対象者 0歳から中学3年生までのこども [対象者数 (R5年度末) 14,818人] 助成の範囲 入院1診療明細当たり上限1,000円を控除した額 入院外1診療明細当たり上限500円×2回受診までの負担額を控除した額 ※0歳から就学前までの調剤費は全額助成 30歳から就学前までの調剤費は全額助成 230,021件 (入院 1,417件、通院 228,512件、未熟児医療等 92件) 助成額 399,878,382円 (入院 59,669,602円 通院 338,723,950円 未熟児医療等 1,484,830円) 審査支払手数料 14,675,775円												
成果等 及び 達成度	こどもに係る医療費の一部を助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心してこどもを 産み育てる環境整備を図った。令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、これ まで公費で助成されていた診療費等が個人負担となったことなどの要因により、事業費が対前年度比約17 %の増となった。												

事業名	±/.=□ /// [□ → /±		)児童福祉約 					1	家屋			
	放課後児童健全		1					執行率(9	1			
予算額	当初予算額	6月及び12月 補正予算額	減額補正額	頁 流力	E用額	予算現額	決算額	対6月及び12月 補正後予算額	9			
(円)	563, 402, 000	3, 125, 000	△ 25, 500, 0	000 △ 1,	103, 392	539, 923, 608	537, 159, 02	9 対予算現額	99			
目的	保護者が労働学成を図るとと					な遊び及び生	活の場を提供	共し、児童の健	*全			
	公設民営						528, 8	03, 029円				
	事業委託先	社会福祉法	去人唐津市社	会福祉協調	議会							
	実施校区	29校区(5	2クラブ)									
	開所日	月曜日から	5土曜日まで	(国民の	祝日、お盆	、年末年始を	:除く)					
	開所時間	学校の授業	<b>美がある日</b>	授業終了	後から午後'	7時まで						
		学校の授業	<b></b> とがない日	午前7時30	0分から午後	67時まで						
	労働等により	昼間家庭	にいない小	学生								
	児童1人当たり 月額4,000円 (8月のみ月額5,000円)											
	令和5年度放課後児童クラブ登録児童数 1,909人 (年間平均)											
	厳木放課後児童クラブ専用施設賃貸借(令和6年3月から令和11年3月まで)											
事業内容 なび実績		-3月かりで	14111年3月 ま									
	令和5年度	分支出 968,	000円	(11/140-7	<del>-</del> 3月 // <sup>-</sup> 9万元	州11十3万 ま						
	令和5年度 民設民営	分支出 968,	000円	(11410-7	<u>-</u> 3月 から力。	州11平3万 ま	•	56, 000円				
			000円 去人かがみこ				8, 3	56, 000円				
	民設民営	一般社団沒		どもプラ	ザ、一般社	団法人キラキ	8, 3	56, 000円				
	民設民営 補助対象者 事業内容	一般社団沒	去人かがみこ ○放課後児童	どもプラ	ザ、一般社	団法人キラキ	8, 3	56,000円				
	民設民営 補助対象者 事業内容	一般社団活 民設民営の う環境整備補助	去人かがみこ O放課後児童 h)	どもプラ <sup>、</sup> クラブにシ	ザ、一般社	団法人キラキ	8,3 -ラヒカル	(単位 円)				
	民設民営 補助対象者 事業内容	一般社団活 民設民営の う環境整備補助	去人かがみこ O放課後児童 h)	どもプラ	ザ、一般社	団法人キラキを行うもの	8,3 -ラヒカル	,				
	民設民営 補助対象者 事業内容 (新設に伴	一般社団活 民設民営の う環境整備補助	去人かがみこ O放課後児童 h)	どもプラ <sup>、</sup> クラブに <sup>5</sup>	ザ、一般社対し、補助	団法人キラキ を行うもの 補助金内訳 県	8,3	(単位 円)				
	民設民営 補助対象者 事業内容 (新設に伴	一般社団活民設民営の	去人かがみこ )放課後児童 力) 総事業費 「1	どもプラ <sup>、</sup> クラブに <sup>5</sup>	ザ、一般社対し、補助	団法人キラキ を行うもの 補助金内訳 県	8,3・ラヒカル	(単位 円)				
	民設民営 補助対象者 事業内容 (新設に伴	一般社団活民設民営の	法人かがみこ )放課後児童 力) 総事業費 「1 1,950,000 1,	どもプラ・ クラブに 方補助金 , 950, 000	ザ、一般社対し、補助	団法人キラキ を行うもの 補助金内訳 県	8,3 -ラヒカル 市 650,000	(単位 円) 事業主 0 (単位 円)				
	民設民営 補助対象者 事業内容 (新設に伴	一般社団活民設民営の	法人かがみこ )放課後児童 力) 総事業費 「1 1,950,000 1,	どもプラ <sup>、</sup> クラブに <sup>5</sup>	ザ、一般社対し、補助	団法人キラキ を行うもの 補助金内訳 県 650,000	8,3 -ラヒカル 市 650,000	(単位 円) 事業主 0				

事業名	離島保育所運	営事業補助金							幸	1行率(9	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充	用額	予算	現額	決算額	対当:	切予算額	80. 4
(円)	23, 670, 000	0	0		0	23, 6	670,000	19, 025, 3	325 対子	·算現額	80. 4
目的	離島における	保育事業の円滑	骨化及び適正化	を図るだ	きめ、運	営費の	一部を補	i助するもの	),		
		聖母保育園(馬 小川島保育園			園運営事		9, 844, 9, 180,				
事業内容	施設名	4歳児	以上 3歳	児	1~2歳	<b></b>	0歳り	Ī.	計		
及び実績	聖母保育園		3人	0人		1人		0人	4)		
	小川島保育	園	1人	0人		1人		0人	2)		
		-	-			※入	所児童数	(令和5年4	月時点)	_	
成果等 及び 達成度	地域型保育給た。	付費以外に市か	4ら運営に係る	補助を行	〒うこと	により	、離島の	保育事業を	・維持する	ることが	でき

保健医療課

事業名	妊娠・	出産包	括支援事業費	,						執行率(%	6)	
予算額	当初子	算額	増額補正額	減額補工	E額	<sub>充充用額</sub>	予算	草現額	決算額	対当初予算額	101.1	
(円)	11, 5	22,000		0	0	123, 331	11,	645, 331	11, 645, 331	対予算現額	100.0	
目的		壬娠期から乳幼児期において切れ目ない支援を行い、安心して産み育てることのできる環境づくりの構築 を図るもの。										
	な支援	母子健康手帳交付時に全妊婦の面談を行い問題点を把握し、支援台帳、必要時支援計画作成を行い、適切 な支援関係機関につなげ、さらに支援計画の評価、見直しを行った。 (支援計画)										
		$\overline{}$	母子健康 手帳交付数	支援計画数	支援計画	率 病院が 情報提		支援計画数	女 支援計画率			
	令和	14年度	715	75	10.	5%	98	2	21 2.7%			
事業内容 及び実績	令和	15年度	692	98	14.	2%	85	2	4.0%			
	(支援/	が必要な	な主な対象)	※重複						•		

			妊婦			乳児			
	妊娠の 不安	育児の協力者 がいない	精神疾患 既往	10代妊婦	母外国人	出生体重 2,000g未満	基礎疾患 のある乳児	双生児	
令和4年度	9. 7%	7. 1%	6.0%	2.5%	1. 5%	1.9%	0.8%	6組	
令和5年度	9.0%	10. 3%	12. 1%	2.3%	1.3%	1.8%	1.4%	10組	

#### 成果等 及び 達成度

母子健康手帳交付時に、全妊婦の面談を行い、妊婦の抱える問題の早期把握、早期介入を図った。 妊婦数は減少しているが、育児の協力者がいない、母の精神疾患既往がある、若年妊婦など、妊産婦の抱 える問題が複雑化し、支援の困難な事例が増加している状況の中、関係機関との連携を密に行いながら、 切れ目ない支援を行った。

事業名	保育士応援事	業費					執行率(9	%)					
予算額	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	100.0					
(円)	24, 352, 000	4, 000, 000	0	0	28, 352, 000	28, 352, 000	対予算現額	100.0					
目的	保育所等における保育士不足の解消を図るため、業務負担及び費用負担の軽減並びに復職の不安解消などにより保育士等を支援し、保育人材のさらなる確保を目指すもの。												
事業内容及び実績	保育士宿舎借上げ支援補助金 799,000円 (2人) 保育補助者雇用支援補助金 14,668,000円 (17人) 保育支援者雇用支援補助金 8,046,000円 (11人) 保育士就職準備金給付支援補助金 4,800,000円 (25人) 潜在保育士現場復帰支援補助金 39,000円 (1人)												
成果等 及び 達成度	不足する保育 令和4年度 令和5年度 新規保育人材 令和4年度	士の負担を軽減 補助者 8人(7 補助者17人(9 の確保を図るた 17人、令和5年	するため、保 施設) 支援 施設) 支援 め、就職準備 度 25人	育補助者・支援 者10人(6施設) 者11人(7施設) 金を活用して採		を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	4人)となっ	た。					

# (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費

こども家庭課

事業名	からつの赤ち	やん応援事業費	Ť				執行率(9	%)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.3				
(円)	6, 166, 000	0	0	20, 034	6, 186, 034	6, 186, 034	対予算現額	100.0				
目的	これからの未来を担うこどもたちの誕生のお祝いと健やかな成長を応援するため、「からつっ子応援ギフト」を贈り、本市の子育て支援事業に関する周知を図るもの。											
事業内容及び実績	実施内容 ギフト内容 配付数 事業費内訳	721人 (R5年度 委託料 (ギフト	だ 接センターまだ ける保護者との リュックサッ を生まれの対象 、作製及び配付、	たは2か月児相認 面談 ク、スタイ、お 者については配 、面談等) 5,62	炎会場での「か しりふき、子と 付率約98%) 1,098円 子	らつっ子応援キ ごもノート、液 どもノート購 <i>フ</i>	デフト」の配作 体ミルク等 、費 363,000	<b>分及</b> )円				
成果等 及び 達成度	当該ギフトの (R3年度) と 及び支援事業	誕生お祝いカー配付を契機に子比べ配付率は10の活用に向けての相談件数が前	子育て支援事業( 0%増加し(R3) 「相談しやすり	こついて情報提 約88%、R4 約 ハ」環境づくり	供を行い、適ち 97%、R5 約98 に努めた結果、	%)、本市の子 子育て支援セ	いだ。事業開 と育て支援の)	月始時 周知				

事業名	子どもの新た	な居場所モデル	事業費				執行率(%	%)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0				
(円)	15, 670, 000	0	0	0	15, 670, 000	15, 668, 620	対予算現額	100.0				
目 的	貧困の連鎖の防止に向け、こどもに新たな教育や体験活動を提供する「学習と体験の居場所」モデル事業 及びこどもの居場所等を支援するためのコーディネート事業を実施するもの。											
		居場所モデル事		11, 999, 900 F	9							
	対象者		世帯の小学生	- TE W NY 377 -	-u	/ <del>22</del> <del></del>		10				
	実施内容 生活習慣の習得や学習支援、体験学習の実施、生活・学習両面における相談支援など											
	実施場所 城内こども塾博心館 実施同数 年期201日(湖6日程度)/登録旧音数25人(延ぶ利田老数2-241人)											
事業内容 及び実績	実施回数 年間291日(週6日程度)/登録児童数25人(延べ利用者数3,341人)											
人		度 平均4.61										
	子どもの居場所等支援コーディネート事業 3,668,720円											
	対象者	こどもの周	品場所等を運営	する団体又は個	人							
	実施内容	こどもの周	号場所等と支援	者とのマッチン	グ、各種相談支	泛援						
	実施回数	支援とのマ	マッチング 106 <sup>/</sup>	件、相談支援 致	近べ145件							
	モデル事業利	用者の満足度に	は高く、こども	たちが家庭環境	に左右されるこ	となく健やか	に成長できる	環境				
成果等	づくりのノウ	ハウを構築でき	た。今後は、	他団体へ広く波	及させる取組み	いが必要である	ō					
及び 達成度	また、こども	の居場所等の持	F続的運営を目	指すべく、支援	者とのマッチン	/グや相談支援	を行い、こど	もを				
	地域で見守る	支援体制の整備	<b>訴を推進した。</b>									

### (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費

こども家庭課

(191) 14.	(工具 (視) 九重佃価負 (ロ) 九重佃価船份負 ことも水原味											
事業名	保育所等バス	安全装置導入補	前助金				執行率(%	6)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	87. 0				
(円)	3, 148, 000	0	0	0	3, 148, 000	2, 737, 890	対予算現額	87. 0				
目的	バスへの児童の置き去りを防止するため、バスに安全装置を導入した保育所等に対し、導入に要した費用を補助するもの。											
事業内容及び実績	補助額 2,737,890円 (18台) 内訳 送迎用バス (安全装置の導入が義務) 2,563,890円 (16台) 園外活動用バス 174,000円 (2台) ※園外活動用バスは安全装置の導入義務はないが、設置費用の半額相当を市独自に支援した。											
成果等 及び 達成度	保育所等のバスに安全装置が導入されたことにより、社会問題となっていた児童置き去りへの不安解消を図ることができた。 送迎用バス 市内16台(9施設)のうち16台すべてに導入(設置率100%) 園外活動用バス 市内4台(4施設)のうち2台に導入(設置率50%)											

事業名	保育所等おむつ用ゴミ箱購入	人補助金				執行率(%	%)		
予算額	当初予算額 9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	52. 3		
(円)	0 10, 530, 000	△ 4,000,000	0	6, 530, 000	5, 510, 000	対予算現額	84. 4		
目的	使用済みおむつの園処分を推進し、保護者と保育士の負担軽減を図るため、使用済みおむつの保管用ゴミ 箱を購入する保育所等に対し、購入に要する費用を補助するもの。								
事業内容及び実績	補助額 5,510,000円 (28施設) 内訳 「保護者持ち帰り」から「園処分」へ変更する施設 1,073,000円 (8施設) 「園処分」を実施していた施設 4,437,000円 (20施設)								
成果等 及び 達成度	使用済み紙おむつの保護者持ち帰りが、14施設から2施設へ減少し、園処分が32施設から43施設へと増加したことから、使用済み紙おむつの園処分の推進につながった。また、標準的な使用済みおむつの保管用ゴミ箱の価格をもとに補助上限額を設定したが、保育所等が安価な価格での購入に努めたこと等の理由により、執行率が低かった。								

# (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費

	工具 (ス/ )し	至岡田具 (日	/ /L 里T田TILNO	77.只			N VE				
事業名	出産・子育て	応援事業費					執行率(%	%)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83. 9			
(円)	86, 130, 000	0	△ 7, 400, 000	△ 1, 125, 823	77, 604, 177	72, 280, 662	対予算現額	93. 1			
目的		全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金の支給を一体的に行うもの。									
事業内容及び実績	母子健康手 妊娠8か月フ うち面談 出産後面談 給付金 出産応援給 子育て応援	伴走型相談支援         母子健康手帳交付時面談 692人         妊娠8か月アンケート 694人(うち回答者626人)         うち面談希望者 39人(面談対応100%)         出産後面談 681人         給付金         出産応援給付金(母子健康手帳交付時の面談後に50,000円を支給) 693人 34,650,000円         子育て応援給付金(出産後の面談後に児童1人当たり50,000円を支給) 673人 33,650,000円         事務費ほか 3,980,662円									
成果等 及び 達成度	伴走型相談支援と出産子育で応援給付金を一体的に行うことにより、相談会や面談の利用者が増えた。 妊娠期から子育で期において、抱えている問題を早期に把握し、不安の軽減を図り、安全に出産ができ、 安心して育児ができるよう、関係機関とも密な連携を図りながら、切れ目ない支援を行った。										

事業名	令和5年度子	育て世帯生活支	医接特別給付金	給付事業費			執行率(%)			
尹未行		IJ	ř	給付事務費			対4月補正後 予算額	97. 2		
	当初予算額	4月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	97. 3		
予算額 (円)	0	217, 850, 000	0	△ 199, 709	217, 650, 291	211, 750, 000	対4月補正後 予算額	67. 2		
	0	6, 721, 000	0	0	6, 721, 000	4, 515, 479	対予算現額	67. 2		
目的	原油価格、物価高騰による負担増を踏まえ、影響が特に大きい低所得の子育て世帯に対して給付金を支給し、生活支援を行うもの。									
	給付対象世帯(支給額) ①児童扶養手当受給世帯(児童1人当たり5万円)									
	②児童扶養手当受給世帯以外の非課税世帯(児童1人当たり5万円)									
		18歳未満の児童	至)							
	給付数		①2,414人	②1,821人						
事業内容 及び実績	給付事務費内	訳 システム	改修業務委託	1,930,500F	9 郵便料	・振込手数料	770,000円			
		会計年度	5任用職員雇用	944, 237 F	円 消耗品	費ほか	870,742円			
成果等 及び 達成度		響により家計かの約90%の2,00				_	ŭ			

# (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童措置費

こども家庭課

(款)氏	生食 (頃)穴	上里倫仙貨 (日	(頃) 児重備仕賃 (日) 児重措直賃 ことも家庭課											
事業名	教育・保育施	設給付費							執行率(%	( <sub>o</sub> )				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補	正額	流充	用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 0				
(円)	5, 210, 000, 000	0		0		0	5, 210, 000, 000	5, 108, 182, 690	対予算現額	98. 0				
目的	市内に居住すもの。	る児童が保育剤	等を利	用した『	祭に、伢	<b>以</b> 育所等	に対して国が気	定める公定価格	に基づき給付	する				
	施設数、児	施設数、児童数及び給付額 ※児童数は年間延べ人数												
	施設の類	施設の類型 施設数 児童数 給付額												
	保育所	4	6施設	30,	905人	3, 28	86, 299, 590円							
事業内容 及び実績	認定こども	園 2	0施設	18,	991人	1, 65	3,517,112円							
	幼稚園		1施設	1,	579人	8	88, 151, 478円							
	地域型保育	事業	5施設		430人	8	80, 214, 510円	※利用児童数	4,133人					
	合計	7	2施設	51,	905人	5, 10	8, 182, 690円	(R5. 4. 1現在	)					
成果等 及び 達成度	保育所等の運営費用(人件費、管理費及び事業費等)として給付したことにより、安心して子育でができる環境を整備することができた。また、市独自の保育料軽減策として、国基準より低い料金設定(差額69,648,180円)、多子世帯の軽減範囲の拡充(差額115,914,830円、対象児童数延べ4,545人)を実施し、子育で世帯の負担を軽減できた。													

# (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童措置費

								_	•
事業名	子育てのため	の施設等利用約	合付事業費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正	額流	充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	76. 4
(円)	9, 064, 000	0		0	0	9, 064, 000	6, 925, 330	対予算現額	76. 4
目的						こ伴い、申請に基 -ビスを利用した	, , , , ,		
	額あり) にす	ることで、保護	護者の経済 しょうしょう しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしゅう しゅう	的負担軽減	を図るも	$\mathcal{O}_{\circ}$			
		も 166人(令 性内容 施設	和6年3月3 施設数 5施設		ή	年間延べ人数 給付額 1,023,940円			
事業内容					<u> </u>				
及び実績	病児保育事	業 ————————————————————————————————————	1施設	1人	<u> </u>	1,000円			
	預かり保育	事業	10施設	1,487人		5, 791, 690円			
	子育て援助活	舌動支援事業	1施設	13人		47,500円			
	一時預かり	事業	1施設	5人		61,200円			
	合	計	18施設	1,543人		6,925,330円			
成果等 及び 達成度	及び								

# (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童措置費

こども家庭課

事業名	特別保育事業費					執行率(%	%)			
予算額	当初予算額 3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	97. 1			
(円)	211, 500, 000 24, 015, 000	0	0	235, 515, 000	228, 635, 664	対予算現額	97. 1			
目的	少子化、核家族化の進行に対 を踏まえ、特別保育事業を実				言するため、地	域の多様なニ	ーズ			
	実施施設数及び実績額 前年度比 前年度比									
	延長保育事業(唐房保育園ほか29施設) 17,117,029円 (△2,787,431円)									
	一時預かり事業(町田保育	園ほか13施設)	)	27, 728, 206円	(110	6,250円)				
事業内容 及び実績	地域子育て支援拠点事業(	町田保育園ほど	か19施設)	121, 104, 405円	(23, 670	6,998円)				
	病児保育事業(北波多第二	保育園ほか2施	[設)	13,541,852円	(△114	4,968円)				
	特別支援保育事業(和多田	保育園ほか22点	施設)	44, 547, 142円	(4, 049	9,946円)				
	医療的ケア児保育支援事業	(大島保育園)	)	4,597,030円	(849	9,214円)				
成果等 及び 達成度	延長保育、一時預かり、病児保育等を実施する施設を支援し、多様な保育ニーズに対応することで、子育 て世代の経済的及び精神的負担の軽減を図った。 前年度から、地域子育て支援拠点事業を実施する施設が3施設増加したため、実績も増加した。 また、保育を希望する医療的ケア児についても、看護師を配置し受け入れることができた。(令和5年度 受入児童数1人)									

### (款)民生費 (項)児童福祉費 (目)児童措置費

事業名	保育所等物価高騰対策緊急支援金 執行率(%)									
予算額	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	53. 9		
(円)	0	55, 104, 000	△ 25, 412, 000	0	29, 692, 000	29, 692, 000	対予算現額	100.0		
目的	物価高騰の影響を受ける保育所等の給食の食材費を補助することにより、子育て世代の負担軽減及び給食の質や量を維持するもの。									
事業内容 及び実績	保育所等給食費支援事業補助金 29,692,000円 (37施設)									
成果等 及び 達成度	保護者及び保育所等の負担を増やすことなく、給食の質や量を維持することができた。 交付施設 37施設 (児童数約3,200人) 給食の原材料費の赤字額は、施設によりばらつきがあり、佐賀県が示した物価上昇率18%に基づく補助上 限額まで必要ない施設が多く、減額補正をすることとなった。									

#### (款) 民生費 (項) 生活保護費 (目) 扶助費

成果等

及び 達成度 生活保護課

	上貝 (ア) 上	.1口 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 /	/ ///// 貝				I	小吱叭					
事業名	扶助費						執行率(%	6)					
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96. 9					
(円)	2, 294, 938, 000	0		0	2, 294, 938, 000	2, 224, 873, 511	対予算現額	96. 9					
目的				この国民に対し、		度に応じて必要	な保護を行い	、最					
	扶助費の支出状況 (世帯、人員は年間延べ数)												
	区	区分世帯人員金額											
	生活扶助費	生活扶助費 12,057世帯 13,878人 514,380,071円											
	住宅扶助費		10,057世帯	11,407人	260, 856, 661円								
	教育扶助費		188世帯	281人		2,721,854円							
	介護扶助費		3,633世帯	3,717人	6	54, 626, 240円							
	医療扶助費		12,453世帯	13,870人	1, 34	40, 354, 763円							
事業内容 及び実績	出産扶助費		0世帯	0人		0円							
	生業扶助費		118世帯	120人		2, 104, 752円							
	葬祭扶助費		15世帯	15人		2,684,644円							
	保護施設事	務費	218世帯	218人	3	86, 142, 680円							
	就労自立給	付金	2世帯	2人		101,846円							
	進学準備給	付金	3世帯	3人		900,000円							
	計		38,744世帯	43,511人	2, 22	24,873,511円							
				前年度比	△13, 903, 480	円 (99.4%)							

よる収入増や、障害年金等の社会資源の活用により、自立の助長を図った。

生活保護法に基づき適正に保護を実施し、あわせて、ハローワーク等の関係機関との連携を図り、就労に

# 4 衛 生 費

#### (1) 保健衛生費

市民の健康の保持増進のため、保健予防対策事業として、健康づくり事業、母子保健事業、健康増進事業、健康診査、各種がん検診事業、精神保健事業等を実施した。さらに、健康教育、健康相談、要指導者等の訪問指導を積極的に行い、医療費適正化に向けて重症化予防に努めた。また、がん患者の社会生活への支援や経済的負担の軽減を図るため、医療用ウィッグと乳房補正具を購入した者に対し、助成金を交付した。

妊婦に対しては、妊婦健康診査受診票の交付により健診を実施し、妊婦の健康管理を図った。また、不妊の悩みを抱えながら不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図り、治療を受けやすくするため、不妊治療支援事業を実施した。

乳幼児に対しては、医療機関での個別健診や集団健診、相談事業を行い、子育て支援、発達支援に努めた。 育児支援が特に必要な家庭に対して、継続的な支援を行う養育支援訪問事業を実施した。

う蝕予防のための強化策として、幼児に対するフッ素塗布やフッ素洗口を行った。

また、妊婦に対して、妊婦歯科健診票を交付し、妊娠期の歯科保健の向上を図った。

予防接種費では、県内広域での接種体制により、市民の利便性を図り、疾病の発症予防及びまん延防止のために予防接種事業の推進を図った。子宮頸がんワクチンについては、積極的勧奨差し控えの期間に接種の機会を逃したキャッチアップ接種対象者も含めた再勧奨通知の送付や、市民公開講座を開催するなど、接種についての周知を図った。

感染症対策事業費では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から5類感染症になり、感染対策は、個人・事業者の判断が基本となったが、感染者が増加した際は、市公式LINEやホームページなどで周知を行った。次の新たな感染症に備え、感染症対策物資の備蓄を行った。

医療対策については、救急医療センターの指定管理者による管理運営、休日等における歯科救急医療を提供するための唐津休日歯科診療所の管理運営、へき地診療所の管理運営に努め、市民の安心安全に寄与した。 救急医療センターにおいては、日曜日、祝日及び年末年始に、内科、外科の診療体制をとり、急病患者の 医療対策に努めた。

地域医療対策として、離島診療所の管理運営を行い、離島診療通院助成事業では離島住民の通院に要する 船賃を助成し、疾病の早期発見及び早期治療の促進並びに経済的負担の軽減を図った。また、離島口腔保健 推進事業として、離島住民の口腔衛生を確保し健康の向上を図るため、歯科検診及び応急処置等を行った。

物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、水道料金及び下水道使用料の減免措置相当額を水道及び下水道事業会計へ繰り出したほか、水道料金の減免を行う簡易水道組合等に対して補助を行った。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費では、5類移行後も引き続き、接種体制の構築に当たり、対象市民に接種券を発行し、医療機関での接種機会の確保を図った。また、ワクチンに関する相談に対応するコールセンターの運用などを行い、接種率の向上に努めた。

環境衛生対策として、快適な環境づくりのため啓発活動による環境衛生思想の普及に努めるとともに、環境保全の推進を図った。また、犬による人畜等への被害防止のため、狂犬病予防の集合注射を実施するとともに、飼い犬の苦情処理、指導啓発を行ったほか、飼い主のいない猫への不妊去勢手術に対し補助を実施することにより、繁殖を抑制し、糞尿や鳴き声による影響を軽減させ、地域の良好な生活環境に寄与した。

空き家対策として、市民から情報提供のあった空家等について、所有者等を調査し、空家等の適正管理を 促すとともに、空家等の利活用を推進することで、市民の生活環境の保全及び地域の振興に寄与した。

火葬場については、大平山斎苑をはじめ、浜玉斎場さくら苑、相知厳木斎場、肥前斎場、呼子町霊葬場の 円滑な運営に努めた。また、墓地公園の適正な管理運営を行った。

公害対策としては、自動車騒音の常時監視、河川及び事業所の水質検査、騒音・振動測定、苦情処理等に 努めた。

#### (2) 清掃費

し尿対策としては、し尿等を衛生的に処理するため、唐津中部衛生処理センター、唐津北部衛生処理センター、し尿中継槽等の適正な管理運営を行った。

廃棄物対策として、循環型社会の実現を目指し、まちを美しくする運動により資源物回収の推進に努め、 ごみに対する意識の高揚と環境美化保全等に努めたほか、脱炭素社会を目指すため、市民が太陽光発電シス テム、蓄電池、電気自動車及び電動生ごみ処理機などを購入する費用に対する補助や団体などが行う先進的 な取組みの活動費に対する補助を実施した。

令和5年7月豪雨により全壊した家屋については、撤去を行うことにより、被災者の生活再建を支援する とともに、被災現場での2次災害発生の防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与した。

廃棄物等の不法投棄防止活動の推進については、不法投棄防止活動協力団体等と連携を取りながらパトロールを実施し、快適な環境づくりに努めたほか、県循環型社会推進課及び県内9市との情報交換に努め、清掃行政の向上を図った。また、ごみ集積所用容器購入費等補助事業を実施することにより、ごみ収集の効率性を高め、廃棄物の適正処理及び鳥獣等によるごみ散乱防止など環境美化に努めた。

指定容器(ごみ袋)については、排出量の低減及び分別の推進を図るとともに、市民への配布及び手数料の収納事務を指定容器取扱店に委託し、市民の利便性の向上を図った。

容器包装リサイクル法により策定した唐津市分別収集計画に基づき、ペットボトル、缶、びん類等の分別 収集を実施したほか、民間の業者及び清掃センターで中間処理を行い、再商品化に努めた。

新ごみ処理施設の整備については、新ごみ処理施設建設検討委員会で審議を重ね、建設候補地の選定を行うとともに、他施設の情報収集を行うため、先進地視察を実施した。

清掃センターにおいては、安全な運転管理と一般廃棄物の適正処理に努めるとともに、センター内の最終処分場が飽和状態になったことへの対策として、焼却固化灰等を他の最終処分場へ搬出するなど、施設の機能保全に努めた。

最終処分場の適正化については、水質モニタリングによる周辺環境への影響等の把握を行ったほか、令和 3年度に定めた最終処分場適正化の基本方針に基づき、キャッピング工事を行った。また、キャッピング工 事に伴い、最終処分場に埋立て及び仮置きできなくなる焼却灰等のためのストックヤード建設を行った。

「もったいないセンター」においては、小学生の環境教育の場としての活用及び不用品の有効活用などリサイクル意識の普及促進に寄与するため、自転車や家具等を再生し、市民に無償で譲渡した。

保健医療課

事業名	母子保健事業	 費					執行率(%	6)	
 予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	81. 1	
(円)	113, 362, 000	0	△ 8,679,000	△ 864,600	103, 818, 400	91, 977, 082	対予算現額	88.6	
目的	母子の健康保 支援を行うも		図るために、妊娠	帚、乳幼児健康	診査、各種保險	書指導を実施す	るとともに子	育て	
事業内容及び実績									
成果等 及び 達成度	び子育て支援	各種相談により乳幼児の成長発達の支援とともに、保護者の育児の悩み等への対応を行い、精神的支援及び子育て支援につながった。唐津市第2次総合計画では1歳6か月児健診受診率の目標を98%、3歳児健診の受診率を96%としており、目標は98~99%達成できた。							

# (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健衛生総務費

(永) 倒	工具(切)体	(日本)	/ 休) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	7				<b></b>		
事業名	健康増進事業	費					執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	101.0		
(円)	10, 719, 000	0	0	182, 250	10, 901, 250	10, 820, 970	対予算現額	99. 3		
目的	疾病予防や健	康の保持増進を	☆図り、健康寿育	命延伸のために	生活習慣病等の	予防対策を行	うもの。			
	健(検)診内容	、対象者及び実	<b>泽</b> 績							
	生活保護者	生活保護者健康診査 生活保護受給者 31人								
	30歳代健康	診査	30歳代		390人					
	婦人健康診	查	18歳~29歳の	女性	54人					
事業内容 及び実績	骨粗しょう症検診		20歳~70歳の5	歳刻みの女性	453人					
	肝炎ウイル	ス検診	過去に受けた	履歴のない人	531人					
	健康教育、健	康相談、訪問指	6導の実施回数。	と保健指導数	(40歳~64歳)					
	健康教育	108回	530人	訪問指導	延べ465人					
	健康相談	153回 延	ベ1,047人							
成果等 及び 達成度	受診者の総数	は、1,362人(	令和4年度)か	う1,459人(令	いように夜間健 和5年度)に97人 話習慣病予防や重	増加した。ま	た、受診者に	対し		

事業名	がん検診事業	費'					執行率(%)					
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	91. 4				
(円)	128, 530, 000	0	△ 5, 536, 000	△ 670, 453	122, 323, 547	117, 522, 103	対予算現額	96. 1				
目 的	がんを早期に	発見し、早期に	ご治療を行うこ。	とにより、がん	による死亡者の	)減少を図るも	の。					
	各種がん検診	受診者数及び受	と 診率									
	胃がん検診	胃がん検診 40歳以上 3,318人 14.4% 前立腺がん検診 50歳以上男性 2,559人										
	肺がん検診	40歳以上	6,425人	23.2%	ピロリ菌検査	30、39歳	217人					
	大腸がん検討	診 40歳以上	6,799人	25.9%								
事業内容	子宮がん検討	診 20歳以上女	性 7,372人	50.0%	未受診者に対し	て再通知を実	施。					
及び実績	乳がん検診	40歳以上	3,306人	54.3%	精密検査未受診	*者に対して再	通知を実施。					
		(2年に2回	)									
	※受診率は、	国が対象とし	た年齢 (胃が)	し (50~69歳)	、大腸・肺・乳	がん (40~69)	歳)、子宮が	ん				
	(20~69歳)	)で算出。乳	」がん検診は、2	年に1回の受診	:者としてとらえ	.る。						
	※対象者数	は推計対象者、	(市人口)-(就美	<b></b>	<b>水産業従事者数)</b>	で算出(令和)	2年度国勢調2	至)				
	集団検診は、	保健センターや	や地区の公民館等	等において、年	571回(土・日・	夜間を含む。	)特定健診と	同時				
	に実施し、市	民が受診しやす	「い体制を構築」	した。また、令	·和5年8月からWe	ebによる予約を	と開始し、市民	民の				
-	利便性の向上	を図った。										
成果等及び	総合計画における受診率の目標には及ばなかったが、令和2年のコロナ禍で受診者が大幅に減少したのち											
達成度	徐々に受診者は増加しており、令和4年度と比較して増加している。											
	要精密検査者の未受診者には、再勧奨の通知や電話勧奨を行い医療機関への受診につなげた。精密検査受											
	診率(平均84.	診率(平均84.2%)。追跡調査では33人のがんが発見された。										

### (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健衛生総務費

事業名	がん患者医療用補正具等購入費助成事業費 執行率(%)										
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	 決算額	対当初予算額				
予算額 (円)	1, 560, 000		0	△ 140, 000		1, 150, 698		81. 0			
目的	がん治療と就労の両立及び経済的負担の軽減を図るため、がん患者の医療用補正具の購入に対し、助成金を交付するもの。										
事業内容 及び実績	助成対象者 がんの治療を受けている者または過去に受けていた人 助成額 購入費の2分の1の額 (上限30,000円) 助成件数 医療用ウィッグ 42件 助成金額 1,030,384円 乳房補正具 11件 助成金額 120,314円										
成果等 及び 達成度	医療用補正具は、毎月2~8件の申請があり、2年連続で申請した人が5名であった。 周知については、 医療機関を通して対象者へ案内を行った。										

事業名	不妊治療支援	事業費					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	88. 1	
(円)	3, 100, 000	0	0	0	3, 100, 0	2, 730, 808	対予算現額	88. 1	
目的	不妊に悩む夫	婦の経済的負担	旦の軽減を図る	ため、不妊治療	を受ける夫婦	最に対し、助成金	を交付するも	の。	
事業内容及び実績	助成金額は治療費から佐賀県等の助成額を控除した額で、43歳以上の女性の限度額は初年度が200千円、 次年度以降は100千円。43歳未満の限度額は初年度及び次年度以降は100千円とする。 申請数 27件 助成金額別 20万円 4件 年代別 20代 2件 (妊娠率50%) 10万1円以上20万円未満 0件 30代 12件 (妊娠率72%) 10万円 15件 40代 13件 (妊娠率40%) 5万円以上10万円未満 5件 5万円未満 3件								
成果等 及び 達成度	治療開始時点度からは助成	で43歳未満の者 対象者を43歳り	作については、	令和4年度からるよう改正した。	不妊治療が一	★の56%が妊娠に 部保険適用とな√ E前に開始した43	ったため、令和	·	

# (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健衛生総務費

事業名	歯科保健事業	費						執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	i 流充。	用額	予算現額	決算額	対当初予算額	87. 5
(円)	5, 106, 000	0		0	0	5, 106, 000	4, 469, 324	対予算現額	87. 5
目的		歯と口腔の健康業、フッ素洗口					、歯科検診、2歳	· 虎児歯科教室、	
	妊婦歯科健診 成人歯科検診	(集団検診)		239人 195人	(受診率34	4. 5%)			
	同上	(個別検診)		118人					
	2歳児歯科教室	<b>E</b>		648人	(受診率7	5.8%)			
事業内容 及び実績	フッ素塗布		延べ	1,575人					
	フッ素洗口(	保育園・幼稚園	1) 43園	1,436人					
	歯科衛生士研	修会	2回	延べ47人					
	【実績】 3歳	児健診でむし歯	うのある者の	割合	16.5%	ó			
	1歳	6か月児健診で	むし歯のある	者の割合	0.65%	0			
成果等 及び 達成度	減少しており質の強化、む	指標の一つであ 、妊婦歯科健診 し歯予防を図り もあわせて、生	、2歳児歯科 、子どもの	教室、フ ころからの	ッ素塗布、	フッ素洗口	事業を実施する	うことにより、 与した。	

#### 保健医療課

事業名	離島口腔保健	離島口腔保健推進事業費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0				
(円)	5, 111, 000	0	0	0	5, 111, 000	5, 111, 000	対予算現額	100.0				
目的	_ , , , ,		ことができない		歯科検診による	住民の歯科疾	患の予防等を	·行う				
事業内容及び実績	事業内容 離島7島(高島、神集島、向島、加唐島、松島、馬渡島、小川島)に移動歯科診療設備を運搬し、歯科 検診を実施 委託先 一般社団法人唐津東松浦歯科医師会 実施回数 各離島3回、合計21回 利用者数 79人											
成果等 及び 達成度	が、令和5年度 利用者数につ	変に関しては計 いては、コロナ	画どおり各離島 一禍前と比べ減る	⅓3回、合計21回 少しており、コ	の計画どおり事業 取り組み、当初 ロナ禍が落ち着 に今後の事業の	の目的を達成 いた令和5年度	できた。 変においても[					

# (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健衛生総務費

健康マイレージ事業費

事業名

保健医療課

執行率(%)

予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	70. 5	
(円)	4, 537, 000	0	0	△ 1, 328, 370	3, 208, 630	3, 198, 449	対予算現額	99. 7	
目的				等の受診に対し 的な生活の習慣			_	運用	
事業内容及び実績	事業内容       健康マイレージシステム運用管理等業務       2,778,670円         健康マイレージポイント交換経費       419,779円         実績       からつウェルポ登録者数(令和5年6月末)       2,130人         賞品交換件数(令和5年6月末)       197件         ※参考       唐津市のSAGATOCO登録者数(令和6年5月末現在)       6,325人								
成果等 及び 達成度	平成30年度に開始した「からつウェルポ」については、登録者数の伸び悩みなどもあり、令和5年6月末で新規登録を終了した。最終登録者数は、2,130人となり、からつウェルポ登録者の健康保持に寄与した。 今後は、佐賀県の健康アプリ「SAGATOCO」への移行を市民に促すことにより引き続き健康的な生活の習慣づけを図り、また、特定健診、がん検診のWeb予約を始めることにより受診率向上に努める。								

事業名	水道事業会計	繰出金(価格高	[騰対策分]				執行率(9	%)
予算額	9月補正予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	100. 0
(円)	161, 941, 000	173,000	C	0	162, 114, 000	162, 113, 174	対予算現額	100.0
目的		響を受けている 繰り出すもの。	家庭や事業者	の負担軽減を図	るために行うオ	×道料金の減免	措置相当額を	、水
事業内容及び実績	実績 令和5年11月 令和5年12月 合 計	減免対象件	数23,607件 海	或免額 84,144,8 或免額 77,968,2 或免額162,113,1	75円			
成果等 及び 達成度		を除いた市内の の影響による負		道使用者に対し。	、水道料金の基	基本料金2か月分	うを減免する。	こと

#### (款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 保健衛生総務費

環境課

事業名	下水道事業会計繰出金(価格高騰対策	送道事業会計繰出金(価格高騰対策分) 第正予算額 3月補正予算額 減額補正額 流充用額 予算現額 決算額								
予算額	9月補正予算額 3月補正予算額 減額補	正額 流充用額	頁 予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	100.0				
(円)	5, 830, 000 162, 000	0	0 5, 992, 00	5, 991, 860	対予算現額	100.0				
目的	物価高騰の影響を受けている家庭や事 下水道事業会計に繰り出すもの。	罫業者の負担軽減	を図るために行う	下水道使用料の	減免措置相当	i額を				
実績(他課繰出分含む) ※令和5年11月~12月分										
	セグメント	減免対象件数	減免額	繰出金所管課						
	戸別浄化槽整備事業	2,442件	5, 991, 860円	環境課						
	農業集落排水事業	2,790件	6,846,637円	農地林務課						
	漁業集落排水事業	1,034件	2, 470, 513円	水産課						
事業内容 及び実績	小規模集合排水処理施設整備事業	7件	17,780円	<u> </u>						
	公共下水道事業	30,767件	73, 686, 284円	都市計画課						
	特定環境保全公共下水道事業	4,486件	10,941,167円	和四日印印						
	合計	41,526件	99, 954, 241円							
成果等 及び 達成度	官公庁の施設を除いた市内のすべての ことで、物価高騰の影響による負担を	引料の基本料金2カ	1月分を減免	する						

事業名	簡易水道組合	等支援補助金					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	90. 7	
(円)	0	554, 000	0	0	554, 000	502, 666	対予算現額	90. 7	
目的	物価高騰の影響を受けている家庭の負担軽減を図るため、水道料金の減免を行う簡易水道組合等に対し補助するもの。								
事業内容及び実績	実績 簡易								
成果等 及び 達成度	組合等に対しる負担を軽減	、加入世帯が負した。	担する水道料。	金の基本料金2½	か月分を補助す	ることで、物値	<b>五高騰の影響</b> は	ζţ	

### (款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 予防費

事業名	予防接種費						執行率(%	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	74. 2
(円)	448, 615, 000	0	△ 57, 368, 000	△ 4, 780, 930	386, 466, 070	332, 814, 113	対予算現額	86. 1
目的		に基づき、感勢 に寄与するも <i>0</i>		る疾病の発生及	びまん延を防止	とするため予防	接種を実施し	⁄、公
	接種者数	いての個別接種						
	B型肝炎	1,945人				(風しん)		
事業内容	ヒブ	2,785人	日本脳炎	3,	180人 抗体	体查	41	19人
サ栗内谷及び実績	小児肺炎	球菌 2,788人	ロタウイル	⁄ス(1価)	518人 (5其	別)予防接種	Q	91人
	四種混合	2,918人	ロタウイル	⁄ス(5価) 1,	171人 (県	事業)風しん		1人
	二種混合	755人	子宮頸がん	1,	281人 (県	事業)麻しん属	10ん 10	00人
	BCG	712人	高齢者肺炎	<b>球菌</b> 1,	423人 【市独	由自施策】 (任	意接種)	
	水痘	1,335人	インフルエ	ニンザ 21 <b>,</b>	951人 子と	ごものインフル	エンザ 3,96	39人
成果等 及び 達成度	勧奨を行い高 し控えの期間 再勧奨通知等 普及のために 2期 88.4%と国	い接種率を保むに接種の機会を を行っているが 市民公開講座を 国が示す目標の	5、感染症の予 と逃した人に対 が、接種につい と開催し、接種 95%に達してい	、2か月児相談な 防に役立った。 するキャッチア ての不安などか の必要性の周知 ないため接種勧 で罹患者が多か	子宮頸がんワク ップ接種を令利 ら接種者がなた に努めた。麻し 奨に努めていき	7チンについて P4年4月から実 いなか増えない しん風しんは、 きたい。	は、積極的勧 施している。 ため正しい知 第1期 93.2%	奨差コ識の

事業名	感染症対策事	業費					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 5	
(円)	6, 526, 000	0	0	0	6, 526, 000	6, 361, 079	対予算現額	97. 5	
目的	感染症の発生 を実施するも		るため、予防	資器材の備蓄及	び感染症法に基	基づく定期健康	診断(結核検	診)	
事業内容及び実績	予防資器材の備蓄 787,644円 感染防護服セット (100セット)、N95マスク (2,000枚)、サージカルマスク (6,000枚) 等の消耗品 手指消毒剤 (20本)、消毒用エタノール (80本)等の医薬材料 結核検診 5,573,435円 対象者数 65歳以上の市民 40,534人 受診者数 4,171人 ※R4年度より194人 (4.9%)の増加								
成果等 及び 達成度	新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置づけが5類となり、感染症対策は個人・事業主の判断となったが、感染者が増加した際は、市公式LINE、ホームページなどで周知を行った。また、新たな感染症の発生に備え予防資器材の備蓄を行った。 結核検診は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、受診者が増加した。 結核は、感染症法の2類に分類されている疾患であり、感染症対策として、早期発見できるように受診率向上に努めていきたい。								

# (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)予防費

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	<b>「型コロナウイルスワクチン接種事業費</b>								
予算額	当初予算額 6月補正予算額 減額補正額	<b>煮</b> 流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	52.8				
(円)	$30, 140, 000$ $308, 863, 000$ $\triangle$ $132, 208, 000$	000	206, 795, 000	178, 880, 461	対予算現額	86. 5				
目的	新型コロナウイルス感染症の発生及びま クチンの接種を行い、公衆衛生の向上及			たに基づき新型	コロナウイル	<i>、</i> スワ				
事業内容及び実績	新型コロナウイルス感染症のワクチン接個別接種、ワクチン等移送等委託料 個別接種促進支援金等 国保連合会手数料等 冷凍庫分電気料等 両開き扉保管庫等備品購入費 その他職員手当等		9 9 9 9	<b>いた。</b>						
成果等 及び 達成度	前年度に引き続き、1~5回目のワクチン9月20日からは7回目の追加接種を実施し59人、3回目177人、4回目642人、5回種により、新型コロナウイルス感染症のまた、令和6年4月以降に支払いが発生す	た。令和5年度の打 目 5,626人、6回日 拡大防止に一定の	接種人数は、延 目 24,378人、7 効果があった。	ベ47,673人(1 回目 16,736人)	回目 55人、2 ) で、ワクチ	2回目				

		N. CAN PROCEEDING (II) AND THE SECOND									
事業名	カーボンニュ	ートラルチャレ	/ンジからつ補具	助金			執行率(%	6)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 1			
(円)	11, 360, 000	0	0	0	11, 360, 000	10, 457, 000	対予算現額	92. 1			
目的	「2050年カー	ボンニュートラ	アル」を達成する	るため、脱炭素	に資する市民の	)取組みに対し	補助するもの	0			
事業内容及び実績	電気自動車コンポスト市民団体等が団体補助3件	市民が脱炭素社会に寄与する設備や自動車を導入する費用への補助 電気自動車41件 V2H充放電設備2件 蓄電池システム27件 太陽光発電システム15件 コンポスト8件 電動生ごみ処理機60件 8,974,000円 市民団体等が行う、脱炭素社会実現に寄与する先進的な事業活動に要する経費への補助 団体補助3件 1,383,000円 環境イベント補助1件 100,000円									
成果等 及び 達成度	の環境保全に また、市民の 市民団体が行 材を使用した	対する意識の高 設備導入により った事業活動で コンポストづく	お設備、自動車の 高まりを確認でき には、ペットボ にな、ブルーカー の意見が多く得	きた。 を年間で約150t トルキャップの ーボン体験など	-C02削減し、脱回収、製品リヤ に約740人の市	説炭素社会の推 ナイクルやビー 民が参加し、参	進に貢献した チクリーン、 シカカ者からはヨ	。 間伐 環境			

# (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)環境衛生費

環境課

事業名	環境関連イベ	ント開催費					執行率(%	6)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 2				
(円)	2, 783, 000	0	0	0	2, 783, 000	2, 705, 408	対予算現額	97. 2				
目的		ボンニュートラ				受化対策につい	て啓発し、脱	炭素				
	環境・エネル	ギーフォーラム	vin唐津									
	開催日	開催日 令和5年11月18日										
	実施会場	ボートレースからつ										
	来場者数	市民など約300名										
事業内容 及び実績	内容	講演会・パネルディスカッション										
		環境保全団体、教育機関、企業及び行政による活動紹介、パネル展示										
		太陽光発電展示、EV・EVバスの試乗会										
		地球温暖化防止	をテーマとした	た市内小中学生	の絵画表彰							
		エコ親子料理教	室									
	講演会・パネ	ルディスカッシ	/ョンの参加者ご	アンケートでは	、「環境への理	里解が深まった	」との意見を	得る				
成果等	ことができ、	内容についても	,「非常に良かっ	った」と「良か	った」の回答率	図が92.9%となり	)、「2050年プ	b—				
及び 達成度	ボンニュート	ラル」の達成に	向けた環境保全	全に関する市民	意識の醸成につ	つながった。						

# (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)環境衛生費

事業名	空家等対策事	業費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	87. 5
(円)	18, 299, 000	0	0	0	18, 299, 000	16, 014, 525	対予算現額	87. 5
目的					査し、空家等の    地域の振興に寄		すとともに、	空家
事業内容及び実績	令和5年度 市民からの相 相談受付件 空家の除却に	事業補助金 ク登録物件調査 を空き家バンク 談対応 数48件、解決件	登録41件 数30件	12件 成約22件 14件		5, 386, 427, 6, 815,	784円	
	緊急安全措置	費用		2件		847,	000円	
	事務費ほか					2, 538,	741円	
成果等 及び 達成度	果等 成約総件数112件となっており、管理不全な状態となる空家の増加抑制につながった。						録総件数246億	牛、

### (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)環境衛生費

環境課

事業名	地域猫活動団	体支援モデル事		執行率(%	%)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
(円)	2, 750, 000	0	0	0	2, 750, 000	2, 749, 410	対予算現額	100.0
目的	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		•		と受けさせる取終 と好な生活環境を		•	繁殖
事業内容及び実績	実績	(上限金額 オ オス 121匹 メス 144匹 合計 265匹 :	946, 450円 1, 802, 960円 2, 749, 410円	メス20,000円) (令和4年度 (令和4年度 (令和4年度	136匹 1,549,8 279匹 2,676,4	540円) 220円)		
成果等 及び 達成度	地域猫活動団 実施した。補 2年間で48団体	助額は、メス20 本が登録され、!	事業として令和の,000円、オス5544匹の不妊去	4年度から開始 15, 000円を上降 勢手術を実施し	末 28団体) し、飼い主のい まとし、登録団体 した。実施地区に この効果が見られ	本に交付する形 こ対して行った	式で行った。	

(款) 衛	生費 (項)保	と健衛生費 (目	)診療所費					保健	医療課
事業名	離島診療所運	営費						執行率(9	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現	額決	算額	対当初予算額	68. 7
(円)	92, 983, 000	0	0		0 92, 983	3, 000 63,	907, 420	対予算現額	68. 7
目的	離島地区住民	の健康保持に必	S要な医療を提信	共するため、	離島診療所	を運営する。	<b>もの</b> 。		
	離島診療所運	営実績							
	診療原	<b></b>	決算額	診療日数	延べ患者数	平均患者数	医師	看護師	
	高島診療所		12, 226, 825円	243日	1,271人	5人/日	1人	1人	
	神集島診療	所	14, 516, 770円	243日	2,755人	11人/日	1人	2人	
事業内容	加唐島診療	所 ※	17, 129, 270円	243日	979人	4人/目	1人	1人	
及び実績	馬渡島診療	所	11,051,202円	243日	2,083人	9人/日	1人	2人	
	小川島診療	所	8, 983, 353円	243日	1,632人	7人/日	1人	1人	
	合	計	63, 907, 420円		8,720人	36人/日	5人	7人	
		療所は松島診療 うちオンライン		加唐島診	療所の患者	数のうち松島	島 160)		
成果等 及び 達成度		まれない離島ににより、離島住							

### (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)診療所費

事業名	離島診療所D	離島診療所DX化事業費								
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0		
(円)	3, 245, 000	0	0	0	3, 245, 000	3, 245, 000	対予算現額	100.0		
目的	離島における きる環境を整		ミニーズに限ら;	れた医療人材で	対応するため、	訪問先でも電	子カルテを利	川用で		
事業内容及び実績	離島診療所往診・訪問診療用モバイルPC等の整備 電子カルテ用携帯パソコン・プリンタの整備 一式 3,245,000円 (高島・神集島・加唐島・馬渡島・小川島 各1台) 令和5年度往診・訪問診療実績 延べ124人									
成果等 及び 達成度	師、看護師のまた、モバイ	業務の効率化に ルWi-Fiルータ	工寄与すること: 一による新たな	とで、訪問先で ができた。 :通信ルートを研 診療所における	雀保することに	より、災害等に	こよる停電時に			

事業名	休日歯科診療	木日歯科診療所運営費 執								
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96. 6		
(円)	13, 592, 000	0	0	0	13, 592, 000	13, 133, 560	対予算現額	96. 6		
目的	休日等における唐津市及び玄海町住民の急病患者に歯科救急医療を提供することを目的として、医療法に 定める診療所を唐津市が設置し、管理、運営を行うもの。									
事業内容及び実績	診療日       日曜、祝日、祭日、お盆、年末年始の75日         診療時間       9時から16時まで         委託先       一般社団法人唐津東松浦歯科医師会         患者数       373人(令和4年度実績 329人)									
成果等 及び 達成度	平成31年4月に本診療所を開設し、歯科救急医療体制を開業歯科診療所による輪番制からセンター方式に変更したことで、利便性の向上につながった。 新型コロナウイルス感染拡大時においては、受診控えなどにより患者数が減少したが、令和5年度においては受診者数が前年度よりも増加し、市民の歯科口腔衛生の向上に寄与することができた。									

# (款)衛生費 (項)清掃費 (目)清掃総務費

環境施設課

事業名	ごみ処理施設	整備推進費					執行率(%	%)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	121.0	
(円)	24, 148, 000	0	0	5, 071, 050	29, 219, 050	29, 219, 050	対予算現額	100.0	
目的		安定的かつ効率の準備を進める		本制の構築を推	進していくため	)、新ごみ処理	施設の整備、	供用	
事業内容及び実績	新ごみ処理施設整備に向けた建設候補地の選定を行うとともに、他施設の情報収集を図るため、先進地視察を実施した。 建設候補地選定業務 15,420,900円 12,509,200円 12,509,200円 872,270円 61クリーンセンター(東京都八王子市)ほか3施設事務費 416,680円								
成果等 及び 達成度	事務費 416,680円 建設候補地の選定にあたっては、学識経験者を含む「新ごみ処理施設建設検討委員会」を設置し、年5回 の開催による審議を重ね、建設候補地の選定(順位の決定)を行った。 新ごみ処理施設建設検討委員会において3候補地を比較選定するため、各種調査を実施するとともに敷地 造成計画の作成など、必要な内容を追加することにより、適切な候補地選定につながった。 また、先進地視察では、狭小地での建設や焼却灰を減量化するための灰溶融炉を備えた施設など、今後の 施設整備基本計画の策定等に向けた情報収集を行うことができた。								

(款) 衛	生費 (項)清掃費 (目)清掃センター費 清掃センター									
事業名	唐津市清掃セ	ンター最終処分	分場適正化事業	費、同(繰越明	許分)		執行率(%	6)		
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 4		
予算額	183, 031, 000	0	△ 1,398,000	0	181, 633, 000	178, 191, 293	対予算現額	98. 1		
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00.2		
	43, 655, 000		_	_	43, 655, 000	43, 328, 900	N 深越 1′ 异 假	99. 3		
目 的	令和3年度に気	どめた「清掃セ	ンター最終処分	↑場の今後の方釒	✝」に基づき、	廃止に向けた対	対策を行うもの	り。		
	事業内容(現年度分)									
	清掃センター最終処分場モニタリング業務 8,295,100円									
	清掃センタ	清掃センター最終処分場適正化工事施工監理業務 8,470,000円								
	清掃センター最終処分場キャッピング等工事 149,985,000円									
事業内容 及び実績	清掃センター最終処分場キャッピングに伴う工事等 11,256,300円									
	庁用車維持管理費用ほか事務費 184,893円									
	事業内容(繰越明許分)									
	清掃センタ	ーストックヤー	- ド建設工事		43, 305, 900 □	]				
	ストックヤ	ード建設に係る	5建築物完了検	查手数料	23, 000円	3				
	唐津市清掃セ	ンター最終処分	分場の適正化を	行うため、令和	3年度に各種調	査を基に最終処	1分場適正化の	の基		
	本方針を定め	、その方針に基	とづき最終処分	場キャッピング	工事を行い、雨	雨水の浸透を防	ぐことにより	埋立		
成果等	地内保有水の	管理が可能にな	こった。また、1	最終処分場キャ	ッピング工事に	二伴い、最終処	分場に埋立て	及び		
及び産成度	仮置きできな	くなる焼却灰等	学のためのスト	ックヤードを整	備することによ	じり、焼却灰等	の適正な管理	を行		
<b>建</b>	った。									
	今後も最終処	分場の廃止に向	可けて、周辺環境	境への影響を把	握するためのか	く質モニタリン	グや浸出水の	管理		

を行うための浸出水集水管の清掃業務等を行う必要がある。

# 5 労働費

市内勤労者の労働環境の改善と福利厚生の向上を図るため、勤労者向け生活資金、住宅資金等の貸付原資の預託を行った。また、勤労者の福利厚生事業を行う団体に対する負担金の交付を行った。

# (款) 労働費 (項) 労働諸費 (目) 労働諸費

商工振興課

事業名	労働金庫預託	金		執行率(%	%)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0	
(円)	40, 000, 000	0	0	0	40, 000, 000	40, 000, 000	対予算現額	100.0	
目的		市内に居住している勤労者の生活及び住宅購入に必要な貸付金の原資を労働金庫に預託することにより、 勤労者への融資の円滑化を図り、勤労者の生活の安定と住宅取得を促進するもの。							
事業内容及び実績	預 託 額融資概要融資表	生活資金分20, 対象者 市内 生活資金 使设 住宅資金 限度	000千円、住宅 可に居住または 全自由、限度額 変額50,000千円 引40年以内(全 件 459,770千	資金分20,000千 勤務している勤 10,000千円、期 (令和5年8月か 期間固定型は25 千円(令和5年度	対者  間10年以内(参  らは限度額70,0	対育使途は20年 000千円) 317件 1,326,	273千円)		
成果等 及び 達成度		年度比5.4%減の生活の安定と			金額の27. 4倍と		 0千円の利用フ	がな	

#### (款) 労働費 (項) 労働諸費 (目) 労働諸費

商工振興課

(/1947) /3	7 割負									
事業名	勤労者福利厚	生事業費					執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	91.6		
(円)	370, 000	0	0	0	370, 000	339, 000	対予算現額	91.6		
目 的	勤労者の福利 総合的な推進		た事業や活動	等に対し負担金	を支出すること	こにより、福利	厚生活動の円	滑化、		
事業内容 及び実績		先 一般社団活 無料法律相 生補助金 唐津・東村	239,000円 公浦地区労働者	者福祉協議会 利子補給制度の ]		講演会(参加者	∱15人)など			
成果等 及び 達成度	勤労者のスキ の向上に寄与		/タルヘルス、	法律問題への対	応・解決に資う	<b>ける事業が実施</b>	され、労働者	福祉		

# 6 農林水産業費

#### (1) 農業費

農業委員会費では、農地法に基づく許認可や農業経営基盤強化促進法の農用地利用集積に関する業務のほか、担い手への農地の集積集約、遊休農地の発生防止と解消、新規参入促進といった農地利用の最適化を推進する取組みを行った。また、農業者年金基金受託事務を実施し、農業者の生活安定に努めた。

農業振興対策としては、さが園芸農業者育成対策事業による省資源型の機械導入やハウスみかん等の園芸作物の生産拡大等を促進するため、施設等整備を行う農家等への支援を行ったほか、農業の持つ多面的機能(国土保全、水源かん養、自然環境の保全、景観の保全など)の維持・発揮のため、地域活動や営農活動に対して、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払事業費、環境保全型農業直接支払事業費により支援を行った。

農業の担い手・新規就農対策としては、明日の農業者支援事業費、地域計画推進事業により、就農を希望する者の研修支援及び就農して間もない者の所得確保のための支援を行うことで営農定着を図った。

また、令和5年7月の豪雨等により被災した農業者等に対し、農地・農業用施設及び設備等の復旧に対する補助や、被災作物の草勢回復に関する支援を行った。

その他、社会情勢の変化に伴う燃油価格の高騰により、経営コストが増大している農業者に対し、営農 等の継続を図るための支援を行った。

有害鳥獣対策としては、農作物への被害拡大防止を図るため、猪等駆除事業を実施した。

畜産業振興対策としては、配合飼料価格高騰の影響により経営が圧迫されている畜産農家への支援を行った。

農地対策としては、農村地域における自然的・社会的条件を踏まえ、農村が持つ多面的機能を活かしながら農地利活用の効率化等を図るため、地元との連携をとり、国、県の補助事業等を最大限有効に活用した農業生産基盤の整備と適正管理による長期利用のための補修・改修等を総合的かつ計画的に推進した。

主な事業として、農業基盤整備促進事業、農村地域防災減災事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業 等を実施したほか、令和5年5月に崩落した鳴神公園の橋りょうを再整備するため、鳴神公園整備事業に 着手した。

#### (2) 上場開発費

上場開発費では、事業費の償還にかかる補助金・負担金の支出のほか、上場地区の農業用水を安定的に供給するため、農業用用排水(基幹水利)施設管理事業等を実施し、施設の適正管理に努めた。

#### (3) 林業費

市有林の管理として、佐賀県造林事業等を活用し、森林の持つ公益的・多面的機能の発揮に向けスギ・ヒノキ林の下刈り、枝打ち、間伐などの整備を実施した。また、重要松林等を松くい虫の被害から守るため、薬剤の樹幹注入や地上散布を行うとともに被害木を伐倒し、焼却、くん蒸作業を実施した。

私有林への支援として、森林作業道開設や間伐等を対象に造林事業補助金を交付し、森林の健全な保育による森林の持つ多面的機能の高度発揮を図った。

また、森林環境譲与税を財源とする唐津市森林環境基金を活用したからつの元気な森づくり事業により、 荒廃のおそれのある私有林等について間伐等の森林整備を実施し、森林の持つ多面的機能の維持増進を図 るとともに、市内の林業事業体に対し補助金を交付し、森林整備を担うべき人材の育成・確保を支援した。 このほか、安全性確保及び維持管理コスト縮減を図るため、林道橋りょう長寿命化事業に着手した。

#### (4) 水産業費

周辺水域の漁場環境の変化等による漁獲量の減少、魚価の低迷、漁業生産コストの増大、漁業者の高齢化、さらには後継者不足等、漁業を取巻く状況が厳しい中、漁業経営の安定化や水産業の活力再生・強化を目的とした事業、水産施設の維持・改修及び整備等に関する事業等を実施し、水産業の振興を図った。

漁業者等が実施した水産業及び漁村の持つ多面的機能を発揮するための活動を支援し、漁場環境の保全 と漁村の活性化を図った。

漁業の基盤である漁場の生産力向上や実践的な取組みを支援するため、離島において漁業再生活動を行う漁業集落に対して、離島漁業再生支援交付金を交付した。

漁業者の高齢化が進む中、本地域において持続的に漁業経営体を確保するため、漁業への就業促進と後継者の育成を目的として、新規就業者に給付金を給付した。

本地域の水産業の活性化のため、唐津水産業活性化支援事業において、九州大学と共同で、完全養殖マサバの生産・流通等の安定化・効率化等に向けた事業を展開した。

沿岸漁業振興特別対策事業により、漁業協同組合が実施した施設改修等に対し、補助金を交付した。

また、燃油高騰が長引く中、経営が圧迫されている漁業者に支援金を交付し、経営継続を支援した。

漁港建設費では、漁港施設の機能保全及び機能増進のため、浜崎漁港において老朽化した防砂堤の改修による漁港施設の安全性確保、屋形石漁港において消波ブロック設置による港内の静穏度向上及び労働環境改善、湊浜漁港において堆積土等の浚渫を実施し、漁業活動における機能保全を図った。

また、浜崎漁港海岸では砂浜の侵食被害解消のため、養浜砂を投入し、汀線が安定していることが確認された。

事業名	さがの米・麦・大豆競争力強	化対策事業補助	<del>金</del>			執行率(%	%)
予算額	当初予算額 6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	91. 6
(円)	7, 617, 000 290, 000	0	0	7, 907, 000	7, 240, 000		91.6
目的	集落営農組織や機械利用組合械・施設等の整備に対して補	_ ,	農業の担い手	が、産地競争力	力の強化等を図	るために必要	な機
事業内容及び実績	事業主体 農事組合法人佐志 ひこばえ田植組合 田楽ファーム 農事組合法人なごやアグリ 補助率、総事業費 県1/2または1/3、市1/10		1, 185, 2, 750,	400円 000円 1,	全額 015, 000円 817, 000円 358, 000円 050, 000円		
成果等 及び 達成度	地域水田農業の担い手が効率 品質化や安定生産に必要な農 米・麦生産に利用するトラク 産地競争力の強化に貢献する	業機械・施設等 ターや田植機等	の整備に対す	る支援を行った	÷.		

円を目指す。

(款)農	林水産業費 (項)農業費 (目)農業振興費	专			)	農政課				
事業名	さが園芸農業者育成対策事業補助金				執行率(%	%)				
予算額	当初予算額 6月補正予算額 減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	83. 4				
予(     目       事及       事及       事及成       事及成       果び度       果び度       展上       事       事       事       神       農上       事       事       神       農上       事       財       より       より       より       まり       より       より       より       まり       より       より	168, 704, 000 21, 291, 000 $\triangle$ 30, 792, 000	0	159, 203, 000	158, 473, 000	対予算現額	99. 5				
目的		業所得向上に向けた収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減など、農業所得の確保・向 ができる園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備を推進するもの。								
	事業実施主体数 新規就農者育成対策 4件 補助金額 20 経営基盤強化対策 37件(うち1件は新き 事業内容 園芸用施設の新設及び長寿命化対策、自動 補助率、総事業費 県1/2または1/3、市1/10 282,057,006円	規就農者育成対 動カーテン装置		前助金額 137, i	894, 066円					
及び	農業所得向上に向けて、省力化機械の導入・トポンプ導入や長寿命化対策では、燃油価をた。また、令和5年度のナシ及びりんごの制たため、採葯器等の導入を推進し、花粉自然の後、当該事業による受益面積8,864aの令	格の高騰対策及 対培において、中 家採取による火	び省エネを推進 中国での火傷病。 傷病の予防に貢	をし経営コストの発生により花 でがした。	の削減を後押	出しし				

(款)農	林水産業費	(項)農業費(		)	農政課				
事業名	明日の農業者	支援事業費					執行率(%	%)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	52.4	
(円)	20, 395, 000	0	△ 6, 768, 000	△ 1,848,300	11, 778, 700	10, 692, 600	対予算現額	90.8	
目 的	地域農業のリ	ーダー的な存在	Eとなる農業経 <sup>*</sup>	営体を育成し、ラ	永続的な農業の	発展を図るも	の。		
	青年農業者等 対象者 唐	育成補助金 津・上場地区農		59, 000円 連絡会					
	明日の農業者	チャレンジ支援	美事業 6,60	00,000円					
	対象者 50歳未満の市内の認定農業者の後継者								
	支給単価 (単身者) 年額600,000円/人、(夫婦) 年額900,000円/組								
	支給実績 12人(単身者8人、夫婦2組)								
	新規就農者ステップアップ支援事業 3,082,500円								
	対象者 就農するための実践研修を受ける研修生、受け入れ農家								
事業内容	研修給付金単価 市内単身者月額100,000円/人、市外単身者月額125,000円/人								
及び実績	研修指導料単価 日額1,500円/人(上限30,000円/月)								
	支給実績 3件(単身研修生3人、受入農家3人)								
	移住就農促進情報発信等業務 77,000円								
	市外・県外の移住希望者の就農促進のため移住支援サイトと市ホームページのリンク作成等								
	新規就農者向けデジタル活用研修業務 495,000円								
	就農後間も	ない農業者に対	けする農業分野`	でのDX化推進の7	ためデジタル技	術の活用研修	を開催		
	新規就農者確	保・育成視察研	F修 17	79, 100円					
	県外の就農	希望者獲得に向	]け、就農フェ	アの視察によると	出展状況・出展	効果等を把握			
	地域農業のリ	ーダー的な存在	ことなる農業経行	営体の育成に向り	ナ、ステップア	ップ支援を受	けた者の独立		
	就農と認定農	業者の後継者と	: しての親元就	農者を確保したり	まか、市外から	の新たな就農	者の確保に向	]けた	
h = 66	取組みにより	20名の新規就農	ととつながった だ	が、目標値(第2	次総合計画 台	予和5年度時点	)である農業	就業	
成果等 及び	者数35名に対	しては、57%の	達成度にとど	まった。					
達成度	市ホームペー	・ジ内の農業支援	そに関する情報:	を充実させたこ	とで、移住就農	に関する問い	合わせ件数は	<b>上増加</b>	
	しており、さ	らなる本市農業	美の魅力発信に	注力し、新たな別	就農者の確保に	つなげたい。			
						· ·			

(款)晨	林水産業費 (4)	貝)農業質 (	目)農業振興智	7			į.	農政課		
事業名	地域計画推進事	<b>手業費</b>					執行率(%	%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	75. 2		
(円)	32, 256, 000	0	△ 6,038,000	0	26, 218, 000	24, 266, 337	対予算現額	92. 6		
目的	農業者等による話し合いを基に地域計画の策定を推進し、集落の問題解決を図るとともに、地域計画に位置付ける担い手農業者の育成に取り組むことで、持続可能な力強い地域農業の実現を目指すもの。									
事業内容及び実績										
成果等 及び 達成度	令和5年度は3地区で地域計画策定に至ったほか、他の地区でも策定に向けた地域の話し合いを進めており、 農業集落の課題が洗い出されるとともに地域農業の将来像が明確化し、課題解決に向けた積極的な取組み が期待できるようになりつつある。また、地域農業の将来を担う農業者の確保・育成に向けて、経営開始 資金等の交付により経営開始直後のリスク軽減を図り、新たな独立自営就農者を確保した。 今後は、地域計画の策定によって洗い出された地域特有の多様な課題を解決に導くよう、課題の内容に応 じた柔軟な支援の実施と、担い手の減少に歯止めがかかるよう、さらなる独立自営就農者の確保・育成に 努めていきたい。									

農政課

	表外外压未具 (克) 辰未具 (口) 辰未饭丹貝										
事業名	棚田地域保全	活動支援事業費	t				執行率(%	6)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	115. 1			
(円)	6, 931, 000	0	0	1, 100, 000	8, 031, 000	7, 975, 312	対予算現額	99. 3			
目的	棚田地域の農業用施設の保全活動や景観作物の作付等活動を支援するほか、都市との交流事業を展開することにより、棚田地域の活性化を図るもの。										
事業内容及び実績	地域おこし協力隊 1名配置 (蕨野)4,332,130円 棚田・農産物情報発信、施設保全活動支援棚田地域保全活動支援事業補助金 (蕨野)1,000,000円 フォトコンテスト、種まき交流会蕨野の棚田ふれあい事業補助金 (蕨野)400,000円 ウォーキング、節分祭り肥前町棚田ウォーク補助金 200,000円 ウォーキング、特産物PR事務費ほか 2,043,182円 研修会負担金、交流広場維持管理費等										
成果等 及び 達成度	地域おこし協力隊の活動、棚田地域保全活動支援事業補助金等により、地域活性化、棚田の保全に取り組んだ。具体的には、例年開催していた内容を刷新し、フォトコンテストや菜の花種まき交流会、節分祭りなどのイベントを行った。結果的に幅広い世代や地域間の交流につなげることができた。										

事業名	中山間地域等	直接支払事業費	<b>P</b>				執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 3		
(円)	332, 978, 000	0	△ 8,747,000	0	324, 231, 000	324, 043, 374	対予算現額	99. 9		
目的	中山間地域の生産条件の不利を是正するとともに、農業生産の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、中山間地域の農地が有する多面的機能の増進を図るもの。									
事業内容及び実績	活動組織への交付金 321,204,491円 内 容 集落協定に位置付けた農用地や水路・農道等の管理活動、多面的機能を増進する活動ほか 協定締結集落数 99集落 対象農用地面積 1,818ha (農地転用に伴い前年度より 1 ha減) 推進事務費 929,602円 交付金返還金 1,909,281円 (交付対象農用地の転用等によるもの)									
成果等 及び 達成度			基づく共同活動! ①継続につなが							

農政課

事業名	環境保全型農	環境保全型農業直接支払事業費 執行率(%)											
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96. 4					
(円)	5, 054, 000	0	0	0	5, 054, 000	4, 869, 800	対予算現額	96. 4					
目的	化学肥料・農薬の使用等による環境負荷の低減に配慮した持続的な農業を確立し、地球温暖化防止や生物 多様性保全に効果の高い営農活動の普及を推進するもの。												
事業内容及び実績	1 4/1 m / g 10, 00 m g												
成果等 及び 達成度	農業生産に由来する環境負荷の低減に配慮した農業を支援することで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及を推進することができた。 事業実施予定であったほ場のうち、豪雨被災の影響により冬期湛水管理面積が30a減少した箇所以外はすべて取組みが実施された。												

事業名	猪等駆除事業費										
尹未行	19 守學   小子来	<b>其</b>					執行率(%				
予算額	当初予算額	增額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	76.8			
(円)	27, 355, 000	0	△ 1,672,000	0	25, 683, 000	21, 020, 590	対予算現額	81.8			
目的				止柵の設置や対 振興へ寄与する		と実施すること	により、農作	物被			
事業内容及び実績	調査・現地指導活動費 152,166円 捕獲・追い払い経費 856,526円 その他経費 (狩猟免許取得補助金等) 477,558円 唐津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会負担金 19,534,340円 侵入防止柵整備実績 14,846m、電気牧柵器 187台 捕獲実績 イノシシ4,980頭、アナグマ124頭、タヌキ33頭、アライグマ465頭、サル26頭、カラス35羽										
成果等 及び 達成度	唐津地域鳥獣被害防止計画における令和5年度捕獲計画数の達成率 イノシシ75.1%、アナグマ95.3%、タヌキ82.5%、アライグマ178.8%、サル52.0%、カラス70.0% 侵入防止柵整備と捕獲活動の両面から被害防除対策を実施することにより、有害鳥獣による農作物被害及 び農業用施設被害を軽減し、地域農業の振興に資することができた。 令和5年度の野生鳥獣による農作物の被害金額は44,835千円で令和4年度の被害金額64,932千円と比較する と約31%減少しており、イノシシ被害の減少がその要因である。										

農政調

事業名	営農再開・草	執行率(%)									
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	34. 4			
(円)	0	5, 820, 000	0	0	5, 820, 000	2, 003, 000	対予算現額	34. 4			
目的		令和5年7月の豪雨等により被害を受けた農作物の草勢・樹勢の回復等に要する経費に補助を行い、営農再 開を支援するもの。									
事業内容及び実績	事業内容被災した作物の次期作の栽培開始等に必要となる種子、種苗、ヒナ、肥料等の購入経費を補助補助率 1/2以内(県1/3、市1/6)補助金額営農再開等支援対策(野菜、花き、果樹、茶) 10件 1,328,000円草勢・樹勢回復等対策41件 603,000円営農再開等支援対策(畜産)1件 72,000円										
成果等 及び 達成度	災害等により農作物の被害を受けた農業者の早期の営農再開と経営安定に寄与した。 当該事業は、自然災害による被災を対象とした緊急対策であるため、面積当たりの被害額を基に事業費を 算出した。しかしながら、採択要件を満たせないものや経営見直し等による要望の取り下げが多く発生し たことにより、結果的に予算現額に対して執行率が34.4%と低い数値となった。										

農政課

事業名	農業用施設・設備等被災者支援事業補助金 執行率(%)										
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	44. 4			
(円)	0	38, 365, 000	0	0	38, 365, 000	17, 019, 000	対予算現額	44. 4			
目的	令和5年7月の豪雨等により被害を受けた農業用施設・設備等の再建・修繕等に補助を行い、営農再開を支援するもの。										
事業内容及び実績	事業内容、補助金額 被災した農業用施設、設備の修繕等(ハウス、潅水装置等) 42件 12,240,000円 農業用施設の復旧に必要な土砂等の撤去 18件 4,779,000円 補助率 5/10以内(県3/10、市2/10)										
成果等 及び 達成度	被災した農業用施設・設備の修繕、再取得に要する経費を助成することで、農業者の負担軽減と早期の営農再開を図った。 なお、河川改修工事などの影響により、事業の一部は年度内に事業が実施できなかったため、やむを得ず 15,045,000円を令和6年度に繰り越した。										

# (款)農林水産業費 (項)農業費 (目)農業振興費

農政課

	(Y) / 及术員 (日) 及术队六員 / 成人										
事業名	燃油高騰対策	施設園芸営農継	続支援金				執行率(?				
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	86. 4			
(円)	0	64, 160, 000	0	0	64, 160, 000	55, 430, 000	対予算現額	86. 4			
目的	燃油価格高騰により経営が圧迫されている施設園芸農業者に対し支援金を支給し、経営継続を図るもの。										
事業内容及び実績	対象者 市内に住所を有する農業者で、令和5年産の園芸用ハウス加温栽培においてA重油、灯油及びLPガスを使用するもの。 実施内容 園芸用ハウス加温栽培に使用する対象燃料の購入数量の総量を基に算定して支援金を交付。 実績 交付件数 455件 支援金額 55,430,000円										
成果等 及び 達成度	燃油価格高騰・高止まりの情勢においても加温栽培による施設園芸農業経営の継続につながった。										

事業名	飼料信	西格高		執行率(9	%)						
予算額	当初一	予算額	頁 6月補正子	·算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	100.0	
(円)			0 74, 639	,000	(	) (	74, 639, 00	0 74, 626, 226	対予算現額	100.0	
目的		飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家に対し、配合飼料の購入費の一部を補助することで、営農継続 を支援するもの。									
	実施内	勺容	,		.,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		の補てん対象数量 を基に補助金額			
	実績	畜	種		件数	対象数量	補助金	:額			
事業内容		肉用	1牛(繁殖牛	・肥育	(牛) 140件	16, 351. 28	31,63	, 995円			
及び実績		酪	農		9件	396. 91 ]	トン 768	8,854円			
		養	豚		10件	8, 317. 22 1	16, 13	5,116円			
	_	養	鶏(採卵鶏	<ul><li>肉養</li></ul>	鶏) 6件	13, 488. 90 1	26,090	), 261円			
		合	計		165件	38, 554. 31	74,620	5,226円			
成果等 及び 達成度	った t 令和	ものの in4年f	)、前年度と 詞養頭羽数	北較し 肉用	ても減少は最 ‡15,598頭、酉	小限にとどまり 路農339頭、養豚	)、畜産業の生 K28,847頭、養	農家での離農及 産基盤の維持に 鶏1,249,400羽 鶏1,236,680羽		はあ	

農政課

事業名	多面的機能支		執行率(%)									
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	91. 6				
(円)	316, 288, 000	0	△ 26, 218, 000	0	290, 070, 000	289, 735, 267	対予算現額	99. 9				
目的		業・農村が持つ多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全 理を推進するもの。										
事業内容及び実績	農地維持支 地資源內容 上 次 資源內容 上 次 資源內容 上 次 資 內 容 上 表 不 支 老 加 算 符 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四	払交付金(共同 路・農道等の軽 払交付金(長寿 朽化が進む水路 (増進分)交付 面的機能の更な	交付記 ための推進活動、 可) 交付記 を微な補修、農材 手命化) 交付記 ・農道等の長記 大実績 15組織	実績 99組織 基礎的な活動 実績 99組織 対環境保全活動 実績 93組織 寿命化のための 1,751,304円、 た活動、農村協 1,366,119円	62,701,104円 や多面的機能の 109,298,608円 補修・更新 (深化分)交	付実績 3組織						
成果等 及び 達成度	,, ,, , , , , ,			水路の泥上げ等 等が行われ、地			// - // - /	の農				

(191) 112	<b>州</b> ////////////////////////////////////	(7) 成木貝 (	日/成地貝				反地小	11/1/2/11/11		
事業名	農業基盤整備		執行率(%)							
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	43. 7		
予算額	133, 534, 000	0	0	0	133, 534, 000	58, 412, 712	対予算現額	43. 7		
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	60. 7		
	87, 552, 000	_	_	_	87, 552, 000	53, 169, 469		00. 7		
目的	農地・農業用水利施設の整備をきめ細かく実施し、生産効率の向上、地域農業の競争力強化、農地等の保 全を図るもの。									
事業内容及び実績	佐志地区 事業内容(繰	水管橋護岸工事 頭首工油圧ユニ 越明許分)	ット改修	12, 815, 00	0円 事務費ほ	カュ 3,848,	412円			
成果等 及び 達成度	事業内容 (繰越明計分) 玉島地区 パイプライン布設 L=137.5m 52,213,569円 事前調査業務 955,900円 農業用水利施設の整備により、生産効率の向上、農地等の保全、水管理の省力化が図られた。 なお、令和5年7月の豪雨により施工予定箇所周辺の河川護岸が被災した影響で、河川災害復旧事業との施									
连风及	75, 111, 000円	、繰越明許分27	, 940, 000円を令	う和6年度に繰り	)越した。					

農地林務課

事業名	相知黒岩地区	相知黒岩地区ほ場整備事業費(繰越明許分)									
予算額	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00.0			
(円)	12, 600, 000	_	_		12, 600, 000			99. 0			
目的	相知黒岩地区産性の向上を		ま場を嵩上げし、	、区画整理や用	排水路、農道 <i>₫</i>	)整備を行うこ	とにより、農	業生			
事業内容及び実績	事業内容 ポンプ場関連工事(建築、機械設備等) 6,402,000円 ほ場整備付帯工事(取付道路等) 5,203,000円 換地業務 964,700円										
成果等 及び 達成度	区画整理後の換地に向けた確定測量及び権利者会議等を開催し、権利関係の調整とともに農地集積を図った。また、整備工事による作業効率の改善で農業生産性が向上したほか、揚水ポンプの据付による地区内水管理の省力化により、営農コストの低減が図られた。										

事業名	農村地域防災減災事業費(繰越明許分)							執行率(%)			
予算額 (円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	11.40 +4 > 15 to	100.0			
	420, 000, 000	_	_	_	420, 000, 000		対繰越予算額	100.0			
目的	老朽化している防災重点農業用ため池の改修等の整備を計画的に実施するため、耐震・劣化・豪雨耐性の調査を行うもの。										
事業内容及び実績	防災重点農業用ため池の劣化状況評価等業務 内田地区ほか35地区 419,999,800円 地区別箇所数 唐津 24箇所、浜玉 1箇所、厳木 4箇所、相知 4箇所、北波多 3箇所										
成果等 及び 達成度	防災重点農業用ため池のうち36箇所の耐震・劣化・豪雨耐性等の調査を実施し、ため池の状況把握及び改修の必要性等について確認できた。また、調査結果をため池管理者に報告し、必要に応じて対策事業の説明を行った。なお、調査対象である防災重点農業用ため池196箇所のうち、令和4年度から令和5年度までに65箇所の調査を完了した(進捗率33.3%)。										

農地林務課

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業費(繰越明許分)							6)				
予算額 (円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	22 1				
	38, 549, 000	<u> </u>	_	_	38, 549, 000	12, 748, 675		55. I				
目的	経年劣化により堤体侵食等が発生しているため池等の改修を行うもの。											
事業内容及び実績	下千田ため池 (北波多下平野地区) 法面保護工 A=28.0㎡ 6,323,900円 於呂ため池 (肥前町入野地区) 土砂吐ゲート設置 5,709,000円 今坂農業用用排水施設工事 (浜玉町平原地区) 令和5年7月豪雨により被災したため、事業廃止。 事務費ほか 715,775円											
成果等 及び 達成度	ため池等の改修を行うことにより、災害の発生を未然に防止するとともに、農業を行うために不可欠な水資源の確保と農業用水利施設の長寿命化を図った。											

事業名	浜玉地区農業	用水再編概略部	計事業費、同	(繰越明許分)			執行率(%	6)			
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	0.1			
予算額	8, 115, 000	0	△ 8,000,000	△ 49,054	65, 946	4, 400	対予算現額	6. 7			
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0			
	20, 000, 000	_	_	_	20, 000, 000	20, 000, 000	刈 溁 越 丁 异 領	100.0			
目的	浜玉畑総土地	改良区内の農業	<b>美用水再編事業</b>	を計画するため	概略設計を策定	ごするもの。					
事業内容及び実績											
成果等 及び 達成度	施設規模等を最適化する概略設計の策定により、今後の事業推進に必要な基礎資料を作成・収集することができた。令和5年7月豪雨により事業スケジュールが延伸したものの、今後農業用施設の統廃合に向けて 農地集約等を実施する予定である。										

### (款)農林水産業費 (項)農業費 (目)農地費

農地林務課

	ATTION OF A PART									
事業名	令和5年農地	等小災害緊急支	接補助金				執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	36. 5		
(円)	0	31, 471, 000	0	0	31, 471, 000	11, 493, 973	対予算現額	36. 5		
目的	令和5年7月の豪雨等により被害を受けた農地等の小災害復旧工事に補助を行うことで、営農継続を支援するもの。									
事業内容及び実績	対象者 農業者又は農業用施設を管理する農業者団体等 実施内容 国庫補助の対象にならなかった小規模災害復旧工事に対し補助するもの。 補助率 1/2以内(上限額200千円) 実績 107箇所(農地77箇所 施設30箇所) 補助金額 11,493,973円									
成果等 及び 達成度	令和5年7月の豪雨等により農地・農業用施設が多数被災したことにより、営農意欲の減退や離農の恐れが 高まったことから、地元が実施する小災害復旧工事に補助金を交付し農家負担を軽減するとともに次期作 へ向けた営農支援を実施した。 予算執行率は36.5%と低調であり、その主な要因としては、多面的機能支払交付金等を活用した自力復旧 が実施されたことと分析している。									

	<b>外</b> 水 医 亲 貧	(頃) 工物用光》	1 (日) 上場用	刊光貝			辰地/	外務課				
事業名	農業用用排水	(基幹水利) 旅	面設管理事業費、	、同(繰越明許	分)		執行率(%	6)				
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83. 9				
予算額	432, 448, 000	0	△ 9, 414, 000	0	423, 034, 000	362, 994, 446	対予算現額	85.8				
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	<b>社级地</b> 圣篇版	100				
	8, 965, 000	_	_	_	8, 965, 000	8, 965, 000	対繰越予算額 10 000					
目的	上場土地改良	上場土地改良事業で造成した施設のうち、公共性の高い5つの農業用ダムと揚水機場等の管理を行うもの。										
事業内容 及び実績	事業内容(現年度分)         ダム堆砂状況調査業務ほか点検整備       48,428,500円         ポンプ等整備補修       20,294,200円         揚水機場等電気料       289,760,710円         事務費ほか       4,511,036円         事業内容(繰越明許分)       公浦川揚水機場No.4ポンプ軸受メタル取替工事         松浦川揚水機場No.4ポンプ軸受メタル取替工事       8,965,000円											
成果等 及び 達成度	なお、揚水機	の修繕工事にお	3いて、故障箇戸	で、上場農業用所の追加により	再設計が必要と	こなったこと、	また、半導体					

事業名	からつの元気	からつの元気な森づくり事業費										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	49. 5				
(円)	103, 629, 000	0	△ 48, 665, 000	0	54, 964, 000	51, 259, 663	対予算現額	93. 3				
目的			ン、荒廃のおそれ とな担い手の確保				つ多面的機能	の維				
事業内容及び実績	森林調査 6地区 45.73ha 10,546,800円、間伐業務 4地区 26.18ha 13,222,000円 下刈等労働従事者支援事業補助金 2事業者 390,000円 林業機械レンタル等支援事業補助金 3事業者 2,964,000円 森林危険木伐採等支援事業補助金 6件 1,195,000円 林業PR等支援事業補助金 2事業者 1,250,000円 林業担い手育成支援事業補助金 1事業者 3,536,000円 森林環境整備促進事業 4路線 5,995,000円 カラモク活用促進事業 565個配布/850個制作 4,675,000円 事務費ほか 7,485,863円											
成果等及で産成度	委託のはし、 た。 ない 事 し し、 た。 ない 事 し は ない 事 し がい り は ない	のあった41.69 令和2年度から和5年7月の大規意が想定を下區業同意獲得の時線の伐採や舗装内森林組合等に2次総合計画(。の一環として前のあった。	の私有林等所有haについて経営の累計で約83ha見模災害の影響に見たことをでいるでは、本を図り、森村の大きの大材をは、大くのは、本体のは、のとのでは、ないのは、ないのでは、ない	管理権集積計画の森林整備を行こより事業スケより減額補正をきたい。 本整備の促進と ・担い手確保等の単位施策の目	画を策定、対象 すうことで森林 ジュールに遅れ 行った。今後、 林道災害の抑制 に関する支援を 目標値としてい た皿とスプーン	となった森林のの多面的機能の れが生じたこと 意向調査の未 引を図った。 を行ったことで る第一次産業業	の調査及び切割 の維持増進を いまた森林所 回答者等への 3名の新規雇所 が規就業者数の が開発を がある。	悟間の 有対 用の 用の 増				

事業名	農林地(林地	)崩壊防止事業		執行率(9	%)					
予算額	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	计组址之简短	100.0		
(円)	2, 420, 000	_			2, 420, 000	2, 420, 000	対繰越予算額	100.0		
目的	令和4年7月の る被害防止を		懐の危険性が高	まった林地にお	いて対策工事を	行い、下流域	への土砂流出	はによ		
事業内容及び実績	事業内容 相知地区(平山上) 1箇所 2,420,000円 法切工 V=91㎡、伏工 A=98.5㎡									
成果等 及び 達成度	当地区については、工事施工中に確認された法面からの湧水対策の検討に不測の期間を要したため繰越となっていたが、雨季前には工事が完了し林地が安定したことにより、崩落による下流民家及び県道への土砂流出防止を図ることができた。									

### (款)農林水産業費 (項)林業費 (目)林業振興費

農地林務課

事業名	林道橋りょう長寿命化事業費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	16. 7			
(円)	28, 257, 000	0	0	0	28, 257, 000	4, 720, 628	対予算現額	16. 7			
目的	林道橋りょう を確保するも		態に保つため	、予防的な修繕	及び計画的な外	2け替えを行い	、林道網の安	全性			
	補修工事 3橋		l Mer-la		4,664,000円						
	浜玉地区	古瀬支線	古瀬支		574,000円						
事業内容	浜玉地区	天川~大屋敷			023,000円						
及び実績	厳木地区	星領~あせひ	ぶ線 星領あ	せび橋 1,	067,000円						
	事務費				56,628円						
成果等 及び 達成度	令和5年度から令和9年度に補修工事を計画している8橋のうち、3橋の対策が完了した(進捗率38%)。 点検結果に基づく補修を実施し長寿命化を図ることで通行の安全性を確保し、維持管理コストの縮減を図 ることができた。 なお、当初計画4橋のうち浜玉地区佐賀北部線椿橋については、令和5年7月豪雨により林道が被災したた め当該橋りょうへの通行ができず補修工事を実施できなかったことから、23,536,000円を令和6年度に繰 り越した。										

事業名	複合経営等漁	家経営改善支援	等業補助金				執行率(9	%)		
予算額	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	77. 4		
(円)	4, 500, 000	4, 500, 000	△ 2,031,000	0	6, 969, 000	6, 969, 000	対予算現額	100.0		
目的	厳しい漁家経営を改善するため、佐賀県と連携して漁業者の複合経営等への取組みや、スマート機器導入 の取組みを支援することにより、漁家経営の安定を図るもの。									
事業内容及び実績	チャレンジタイプ 2件 2,469,000円【補助率 県1/2、市1/4(補助上限額 1,500,000円/件)】 取組事項 養殖業 (アカウニ) の導入による漁家経営の多角化 交付額 969,000円 事業費 1,454,523円 取組事項 養殖業 (アカウニ、アワビ及びコンブ) の導入による漁家経営の多角化 交付額 1,500,000円 事業費 2,003,350円 スマート漁業推進タイプ 3件 4,500,000円【補助率 県1/2、市1/4(補助上限額 1,500,000円/件)】 取組事項 スマート機器の導入による漁家経営の多角化(サーチライトソナー1件、潮流計2件) 交付額 4,500,000円 事業費 6,324,000円									
成果等 及び 達成度	チャレンジタイプでは、海士漁を営む漁業者グループに対し、漁家経営の改善につながる支援を行った。 また、スマート漁業推進タイプでは、スマート漁業の推進による経費削減や、就労時間の短縮によって漁 家経営の安定化に向けた今後の取組みに寄与することができた。									

## (款)農林水産業費 (項)水産業費 (目)水産業振興費

事業名	明日の漁業者	明日の漁業者支援事業費 執行率 (%)											
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	37.8					
(円)	8, 630, 000	0	△ 4,005,000	0	4, 625, 000	3, 262, 000	対予算現額	70. 5					
目的	漁業の後継者不足問題が深刻な中、漁業への就業促進及び競争力のある漁業経営体を育成し、永続的な漁業の発展を図るもの。												
事業内容及び実績	明日の漁業者チャレンジ支援事業(給付期間 2年間) 親族の元で従事 1人(就業1年目) 600,000円 明日の漁業者競争力強化支援事業(国補助対象経費の1/10の額(上限100万円)) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 2件 1,800,000円(省力・省コスト化エンジンの導入) 浜の担い手漁船リース緊急事業 1件 862,000円(延縄漁船のリース)												
成果等 及び 達成度	明日の漁業者チャレンジ支援事業では、1名の親元就業者に給付金を給付し漁業者の確保を行ったが、目標値(第2次総合計画 令和5年度時点)である漁業就業者7名に対しては、14%の達成度にとどまった。また、明日の漁業者競争力強化支援事業により、国事業における個人負担分を軽減することができ、漁家経営の安定化に寄与することができた。なお、執行率不調の要因としては、明日の漁業者チャレンジ支援事業の給付対象となる新規就業者と継続的に協議を行ったが、申請に至らなかったことによるものである。												

事業名	水産多面	的機能発	揮対策事業	<b></b>					執行率(%	6)
予算額	当初予算	額増	額補正額	減額補正額	預 流充	用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99. 9
(円)	7, 310,	000	0		0	0	7, 310, 000	7, 305, 711	対予算現額	99. 9
目的	水産業及び漁村の有する多面的機能を効果的に発揮していくため、漁業者等による活動組織の取組みを支援し、漁場環境の保全と漁村の活性化を図るもの。									
事業内容及び実績	佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会(事業主体)に対し、市の負担割合15%分を交付し、各活動組織へ活動内容に応じて活動費(交付金)が分配された。なお、国70%、県15%の割合でそれぞれ直接交付された。 市の交付金額 6,722,271円 (内訳) 唐津地区海面環境を守る会 1,260,450円 唐津地区海底環境を守る会 1,285,650円									
成果等 及び 達成度										

### (款)農林水産業費 (項)水産業費 (目)水産業振興費

(1)() )12	(中) (京) (京) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日										
事業名	離島漁業再生	支援交付金事業	<b></b>				執行率(%	6)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96.8			
(円)	43, 862, 000	0	△ 1, 424, 000	0	42, 438, 000	42, 437, 806	対予算現額	100.0			
目的		漁獲物の販売や生産面等で不利な条件下に置かれ、後継者不足や高齢化の進行が著しい状況の離島において、各離島の漁業集落の取組みに対し支援を行うことで、離島漁業の再生を図るもの。									
事業内容及び実績	向 松 小 事務費 離島漁業新規	島漁業集落 島漁業集落 島漁業集落 川島漁業集落 就業者特別対策	31, 367, 000円 3, 078, 000円 2, 658, 000円 1, 677, 000円 8, 679, 000円 300, 000円 5事業交付金(第 10, 770, 806円		集落 1,700,000 集落 7,698,000	0円 0円					
成果等 及び 達成度	成、海藻の試	験養殖等の漁業	が放流やガンガヤ は再生に関する気 と者確保につなれ	実践的な取組み	への支援、さら	に、新規就業					

事業名	唐津水産業活	性化支援事業費	Ţ				執行率(%	%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	89. 5		
(円)	43, 302, 000	0	0	△ 1,416,400	41, 885, 600	38, 751, 760	対予算現額	92. 5		
目的	唐津Qサバの種苗の量産化及び養殖事業における安定かつ効率的な生産体制を確立することにより、生産量を拡大し市場への流通量を増やすとともに、水産業の活性化を通じて本地域全体の振興を図るもの。									
事業内容及び実績										
成果等 及び 達成度	唐津Qサバの安定かつ効率的な生産体制の構築に向けて、唐津市水産業活性化支援センターを中心に取組みを継続しており、令和5年度の種苗生産数は当初計画を12万尾としていたが、計画を超える約13万尾の稚魚を生産することができた。市場での取引量増加につなげることで唐津Qサバを広くPRすることができ、本市の水産業をはじめとする地場産業の振興及び活性化が図れた。年毎に生産尾数が不安定であるため、今後も安定的で効率的な養殖技術の研究が必要である。									

# (款)農林水産業費 (項)水産業費 (目)水産業振興費

事業名	沿岸漁業振興	執行率(%)								
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	79. 1		
予算額	22, 523, 000	0	△ 4,709,000	0	17, 814, 000	17, 813, 500	対予算現額	100.0		
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0		
	4,345,000 — — 4,345,000 4,345,000 科深越了算备									
目的					規模な漁業関連 県の補助を受り			,同組		
事業内容及び実績										
成果等 及び 達成度	漁協のシステム改修により漁獲データや漁業者データ等の管理・運営の効率化が図られ、利便性が向上した。また、漁業関連施設の改修工事により安全性及び利便性の向上が図られた。 さらに、市所管の種苗生産施設においても、海水取水槽の汚泥除去工事及び排水ポンプの改修を行い、安定した種苗生産機能を維持することができた。									

事業名	燃油高騰対策漁業経営継続支援金 執行率(%)										
7 7 4		I I		<b>本大田姫</b>	<b>文</b>	)	対12月補正後	- *			
予算額 (円)		12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	予算額	98. 1			
(口)	0	26, 175, 000	0	0	26, 175, 000	25, 825, 000	対予算現額	98. 7			
目的	燃油価格高騰により経営が圧迫されている漁業者に対し支援金を支給し、経営継続を図るもの。										
事業内容及び実績	交 付 先 市内漁業協同組合 支 援 金 船内機船 50,000円、船外機船 25,000円 支援件数 570経営体 (船内機船 463経営体、船外機船 107経営体) 支援金額 25,825,000円 (船内機船 23,150,000円、船外機船 2,675,000円)										
成果等 及び 達成度	漁業経営には燃油の使用は不可欠であり、燃油価格の高騰は、漁業経営に大きな影響を与え、経営が圧迫 されている漁業者に支援金を支給することにより、漁業者の経営継続が図られた。										

### (款)農林水産業費 (項)水産業費 (目)漁港建設費

事業名	湊浜漁港改修	湊浜漁港改修事業費、同(繰越明許分)									
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額		予算現額	決算額	対当初予算額	99. 1		
予算額	36, 000, 000	0	0	(	О	36, 000, 000	35, 678, 790	対予算現額	99. 1		
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額		予算現額	決算額	446月 + マ なな	07.0		
	41, 000, 000	_	_	_		41, 000, 000	40, 112, 695	対繰越予算額	91.8		
目的	湊浜漁港の機能保全計画において保全工事が必要とされた施設について補修等を行い、漁港施設の保全を 図り、漁業活動の安全性と利便性を確保するもの。										
事業内容及び実績											
成果等 及び 達成度	TO THE MENT CHOICE										

	(1) MEK县 (1) MEK县 (1) MEKEL									
事業名	神集島漁港改	修事業費					執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.8		
(円)	12, 300, 000	0	0	0	12, 300, 000	12, 032, 900	対予算現額	97.8		
目的	神集島漁港の機能保全計画において保全工事が必要とされた施設について補修等を行い、漁港施設長寿命 化を図り、漁業活動の安全性と利便性を確保するもの。									
事業内容及び実績	事業年度 令和5年度から令和13年度まで 神集島漁港2号岸壁・7号物揚場補修詳細調査設計業務 12,032,900円 測量業務 現地調査・試験等 設計業務 補修設計									
成果等 及び 達成度	機能保全計画に向けた準備		具的な施設の長	寿命化を図るた	めの調査及び実	<b>尾施設計を行っ</b>	たことで、本	工事		

# (款)農林水産業費 (項)水産業費 (目)漁港建設費

事業名	漁港小規模事	業費						執行率(%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流	充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	94. 3	
(円)	17, 300, 000	0	0	Δ	960, 270	16, 339, 73	16, 318, 46	対予算現額	99. 9	
目 的	漁港施設の改修等において、国庫補助事業に該当しない小規模な事業について県単独補助により整備を行い、漁港機能を維持し漁業活動の安全性や利便性の向上及び維持経費の節減を図るもの。									
事業内容及び実績	浜崎漁港防砂堤改修工事 エプロン舗装 A=84.0㎡ 4,675,000円 駄竹漁港照明灯LED化工事 照明灯LED化 N=10基 3,500,200円 屋形石漁港2号防波堤改良工事 消波ブロック製作・設置 N=41個 8,082,800円 事務費 60,460円									
成果等 及び 達成度	浜崎漁港防砂堤において、経年劣化によるエプロン舗装のひび割れや段差箇所を改修したことにより、防砂堤の機能維持及び漁業活動の安全性を確保することができた。 駄竹漁港において、照明灯のLED化により省電力化をはじめ、漁業活動の安全性を確保することができた。 屋形石漁港防波堤に消波ブロックを追加することで、港内静穏度を向上させ漁船の係留や養殖筏の避難場所となるなど、漁業活動の安全性及び利便性の向上を図ることができた。									

	你小座来有 (均)小座来有 (口)侃伦建成有										
事業名	浜崎漁港海岸	侵食対策事業費	į				執行率(%	6)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 5			
(円)	9, 400, 000	0	0	0	9, 400, 000	9, 255, 860	対予算現額	98. 5			
目的		海岸の侵食被害を解消するため、唐津湾海岸侵食対策検討委員会の提言に基づき、養浜工事等を実施し、 海岸保全を図るもの。									
事業内容及び実績	浜崎漁港海岸底質土調査業務 底質土調査、粒度試験、底生物 745,800円 浜崎漁港海岸7線測量業務 77線測量、深浅測量 825,000円 浜崎漁港海岸養浜工事 養浜工 V=2,055㎡ 7,502,000円 事務費 183,060円										
成果等 及び 達成度	海岸侵食被害の解消に向けた海岸保全対策のため、令和元年度から突堤の整備、養浜の盛土・整地等を行い、令和5年度をもって事業が完了した。 平成18年頃から浜崎漁港海岸の侵食問題が顕著になったことから、平成26年に学識者からなる唐津湾海岸侵食対策調査検討委員会が設置され、モニタリングと対策工事を実施し、令和元年度と4年度に併せて突堤70mの整備を行った。令和5年度にモニタリング調査を行った結果、漂砂の減少により平成29年と同程度の汀線位置で安定していることが確認された。										

## 7 商 工 費

#### (1) 商工総務費

商工総務一般経費を支出したほか、モーターボート競走事業会計に対して繰出しを行った。

#### (2) 商工業振興費

商工業振興では、市内中小企業の経営安定化を図るため、小規模事業資金貸付原資の預託等の諸金融政策を実施した。また、市内での創業者や創業初期企業等に対する支援として、創業・経営相談窓口を設置するとともに商工団体が実施した創業セミナーに対して補助を行ったほか、市内中小企業が販路拡大のために行う展示会等への出展に対して補助を行った。

さらに、地域経済の活性化を図るため、中小企業者の経営基盤強化や経営の革新、創業及び事業組合等の活動強化の取組みに対して補助を行ったほか、呼子朝市への新規出店者の増加を目的に朝市学校を開校し、呼子朝市通りの賑わいづくりのため、呼子マルシェを開催した。

また、デジタル技術の活用による生産性向上や新ビジネス創出への取組みを支援する拠点として令和4年7月から設置・運営している唐津市DXイノベーションセンターにおいて、相談内容に応じたIT企業等とのマッチング業務や、ワークスペースの提供、DX・先進技術に関するセミナーやイベント、人材育成研修等を開催することにより、市内事業者のDXの推進を図った。

特産品等の販売促進及び地域経済の活性化を図るため、特産品等展示販売施設等の運営及び維持管理を行うとともに、唐津市ふるさと会館の民間移行に向けた事前準備として対話型市場調査(サウンディング調査)を実施した。

ブランド推進では、唐津産品の販売促進・販路拡大のため、旬八青果店赤坂店において、首都圏での唐津の特産品等の展示販売やプレゼント企画を実施した。また、生産者団体等で構成する各種協議会へ参画し、各団体と協働してPRを実施した。

唐津焼産業振興では、伝統的工芸品である唐津焼の認知度を高めるため、唐津焼窯元マップの掲載情報更新及び唐津焼窯元ホームページの保守管理を実施した。また、唐津焼産業を活性化させ、唐津焼窯元の取扱高向上につなげるため、各種協議会等3団体へ負担金を支出した。

企業誘致では、首都圏等への企業訪問や佐賀県が出展する展示会へ参加するなど、誘致活動を行うととも に、市内の立地企業を定期的に訪問し、情報交換やフォローアップを行った結果、2社と進出(立地)協定 を締結した。

また、IT関連企業の誘致においては、フォームマーケティングを実施した約4,000社の中から選定した11社と面談し、そのうち現地視察ツアーに参加した3社と現在も進出に向けた交渉を継続している。

なお、企業誘致の基盤となる工業団地について管理を行う土地開発公社に係る借入金利息や維持管理経費を負担することにより、適切な維持管理を行った。このほか、立地した企業の投資及び雇用等の実績などに応じて各種補助金の交付を行った。

コスメティック産業では、コスメティック構想の推進役を担う産学官連携組織(一社)ジャパン・コスメティックセンター(JCC)の事業運営を支援したほか、立地したコスメ関連企業に対し設備投資や雇用実績に応じた補助金の交付を行った。また、耕作放棄地等を利活用した原料開発プロジェクトでは、JCC、関係自治体等と連携して化粧品の素材原料となる植物の栽培を開始した。

物価高騰対策としては、市内の消費喚起及び地域経済のデジタル化を推進するため、プレミアム付商品券「からふる Pay」を発行し、約6億円の市内消費を促すとともに、電子商品券の発行によりキャッシュレス決済の機会増加を図った。

#### (3) 観光費

コロナ禍前の水準まで宿泊者数を回復させるための支援策として、市内宿泊施設の宿泊予約時に利用できる電子クーポンの発行や募集型企画旅行商品造成に対する助成を継続的に行い、宿泊促進につなげた。

また、NPO法人唐津・玄海観光交流社が実施する体験型民泊事業や(一社) 唐津観光協会が実施する市の補完的事業等に対し補助を行ったほか、市外からの集客が見込める祭りを実施する各種団体に対して補助を行うとともに、臨時案内所の設置や警備員の配置など祭りの受入体制の充実を図ることができた。

さらに、肥前名護屋城とゆかりのある地との連携を図り、今後の相互連携につなげることを目標に、武将隊の招聘並びに名古屋城春まつりへのブース出展等を行い、相互関係を深めるとともに認知度の向上を図った。併せて、はじまりの呼子大綱引の演出をはじめ、サムライ合戦、名護屋城大茶会におけるマルシェを開催したことで、肥前名護屋城跡・陣跡を文化・観光資源の拠点としての活用につなげた。

このほか、メディア等による情報拡散につなげることを目的に、ロケや取材陣を招聘するための助成事業を中心に、唐津ツーリズムコミッション事業の取組みを推進した。

### (4) 観光施設管理費

快適で安全な観光地づくりを推進するため、観光文化施設の適切な維持管理・運営を行うとともに、施設 の修繕等について緊急を要するものから優先順位をつけて実施した。

また、佐賀県海岸漂着物地域対策推進事業費補助金を活用し、市内の海水浴場への漂着物について回収・ 処分業務を行ったほか、景勝地の景観を阻害する支障木の伐採、車両誘導系観光サインの整備等を行うとと もに、旧高取邸土蔵の保存修理工事に取り組む等、観光客の滞在環境の整備を行った。

(4)/() [1]	1上頁 (切)向上頁 (日)向上未燃央頁									
事業名	創業・経営力	向上支援事業費	}				執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 1		
(円)	6, 433, 000	0	0	0	6, 433, 000	6, 308, 860	対予算現額	98. 1		
目的	創業・経営相談窓口を設置し、また、商工団体が実施する創業セミナーを支援することで、創業準備者の 創業並びに創業初期企業を始めとする中小企業者の経営力向上や新事業展開等の取組みを支援するもの。									
事業内容及び実績	創業・経営相談窓口の設置 6,008,860円 中小企業診断士を配置し、創業や経営改善、新事業展開等に係る相談に応じたもの。 相談件数 延べ266件(相談者実数84名) ※前年度実績 延べ286件(相談者実数79名) 相談内容 創業相談85件(相談者実数34名)、経営相談181件(相談者実数50名) 対応内訳 相談窓口99件、臨時相談115件、外部専門家派遣28件、成長初期企業等訪問24件 創業支援セミナー等開催事業費補助金 300,000円 事業主体 唐津商工会議所(唐津東商工会、唐津上場商工会との合同実施) 実施概要 5日間で創業に必要な知識を習得するセミナーを開催。受講者43名、修了者34名									
成果等 及び 達成度	創業相談窓口の相談者から4名、創業セミナーの受講者から4名の創業者が誕生し、市内事業者の創業の取組みに対し下支えを図ることができた。そのほか、商工団体を中心とした支援活動により16名の創業者が誕生し、創業者数は目標値(唐津市創業支援等事業計画)の年間24名に対し、計24名で100%の達成度となった。									

商工振興課

事業名	中小企業等D	X推進事業費					執行率(%)				
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.5			
(円)	31, 626, 000	0	0	0	31, 626, 0	30, 832, 317	対予算現額	97. 5			
目的		デジタル技術の活用による生産性向上や新ビジネス創出への取組みを支援する拠点を設置・運営し、市内 事業者のDXの推進を図るもの。									
	事業内容	唐津市DXイノ〜	ベーションセン	ターの運営企画	<b>「及び管理業</b>	務	27, 551, 7	700円			
		唐津市DXイノ〜	ベーションセン	ター占有部分電	気料負担金	ほか	3, 280, 6	617円			
	事業実績	DXセミナー及て	が研修実施回数	10回							
		DXイノベーショ	ンセンター会	員数 180者	(累計359者)	)					
事業内容 及び実績		サポーティンク	で企業登録社数	24社	(累計 60社)	)					
		ワークスペース	以利用者数	249人							
		相談件数		57件							
		DXに着手した作	<b>上数</b>	36件	(累計48件)						
		成功事例件数		5件	(業種内訳	小売業1、飲食業	美3、宿泊業1)	)			
成果等 及び 達成度	事例を創出し		口5年度目標対比	こでは、DXに着	手した件数で	4件増加の36件、0 ご目標11件に対し3					

事業名	ふるさと会館	管理費					執行率(%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	104.8	
(円)	41, 828, 000	0	0	2, 083, 807	43, 911, 807	43, 824, 127	対予算現額	99.8	
目的		の民間移行に向もに、施設の適			よる対話型市場	<b>湯調査(サウン</b>	ディング調査	:) を	
事業内容及び実績	施設維持管理費(指定管理料ほか) 39,094,127円 サウンディング調査等支援業務 4,730,000円 事業の検討段階から民間事業者との対話を通じて土地・施設の利活用方法を調査し、公募条件等の検討 に反映するもの 公募開始 令和5年10月23日 企画提案書の提出期限 令和5年12月11日 調査期間 令和5年12月19日から22日まで 調査結果概要の公表 令和6年2月9日 参加事業者 8者(運輸業1者、不動産業3者、宿泊業1者、サービス業1者、建設業2者)								
成果等 及び 達成度	サウンディング調査においては合計8者の参加があり、ふるさと会館の利活用方法、土地・施設に関する条件等について、対話を通じて市場性の把握や参加事業者の意見の収集を行った。								

からつブランド・ふるさと寄附推進課

事業名	唐津産品販路		執行率(%)							
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.6		
(円)	13, 493, 000	0	0	80, 298	13, 573, 298	13, 573, 298	対予算現額	100.0		
目的	生産者団体や関係事業者等で構成する協議会等との連携により唐津産品の魅力を発信し、訴求力を高めることで販売促進・販路拡大につなげるもの。									
	唐津産品魅力発信事業(旬八青果店赤坂店での販売促進) 7,172,000円									
事業内容	唐津玄海地区	唐津玄海地区農畜産物ブランド確立協議会ほか3団体への負担金 5,								
及び実績	事務費ほか					5	30, 298円			
				販売やプレゼン						
				ったが、令和5年						
成果等	額6,370十円 と 促進につなが		及い仕人観か増	創加したことで 値	自都圏における	唐准産品の認知	川度问上及い則	反元		
及びを	, c. c	0	(温) て再油金	農水産物の販売	促進為賑敗壯士	-17 宏与した				
连风反	行俚励哦云~	♡貝!!!並又田で	- 旭して启伊座)	長小座 <b>初</b> ▽飛九	ルピールが近次と	いに可子した。				

事業名	唐津焼産業振	興事業費					執行率(%)			
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	42. 7		
(円)	2, 064, 000	0	0	△ 460, 108	1, 603, 892	881, 778	対予算現額	55. 0		
目的	伝統的工芸品である唐津焼の伝統技術の継承と唐津焼産業を活性化させるため、各種協議会と連携を強化 し、唐津焼の魅力発信並びに販路拡大を推進するもの。									
事業内容及び実績	唐津焼マップ掲載情報更新、窯元ホームページ保守管理502,458円肥前窯業圏活性化推進協議会ほか2団体への負担金370,000円事務費9,320円									
成果等 及び 達成度	唐津焼マップの掲載情報更新及び窯元ホームページの保守管理により、唐津焼に関する情報を整理して周知することができた。また、肥前窯業圏活性化推進協議会と連携し、「肥前やきもの圏」をPRするパンフレットの制作や「肥前やきもの圏ドライブスタンプラリー」を実施し、唐津焼の認知度向上及び販路拡大に寄与した。唐津焼産業振興事業補助金については、東京ドームで開催される「テーブルウェア・フェスティバル」出展補助を予定していたが、開催時期が例年より前倒しとなり出展作品制作に係るスケジュール調整ができず、他の同規模イベントへの出展も検討されたが、該当するイベントがなく出展を見送られたもの。									

## (款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費

企業立地課

事業名	企業誘致推進	執行率(%	<b>%</b> )								
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 7			
(円)	6, 083, 000	0	0	0	6, 083, 000	6, 005, 683	対予算現額	98. 7			
目的	市内への企業の立地を促進し、雇用の創出及び地域経済の活性化を図るため、誘致活動を実施するもの。										
事業内容及び実績	企業訪問件 IT関連企業誘	企業訪問等による情報収集・発信、フォローアップ活動 2,251,128円 企業訪問件数76件、電話・来庁等25件、Web会議16件、現地視察来訪9件 IT関連企業誘致推進業務 3,316,940円 フォームマーケティング4,001社、Web面談11社(うち現地視察ツアー参加3社)									
	事務費ほか						437,615円				
	当年度内に、立地協定2件を締結することができ、平成17年以降の累計は44件となり、目標値(第2次総合 計画 令和6年度時点)である43件を達成することができた。										
成果等	いきや食品 アンテナ(树			設に係る立地協 係る進出協定締				8人)			
及び 達成度	アンテナ(株) 3月26日 事業所新設に係る進出協定締結(投資予定100万円、雇用予定6人) 新産業集積エリア唐津の分譲に向けて、(株)佐賀鉄工所と協議を重ねた結果、令和6年度において進出が 決定した。										
	IT関連企業の誘致に向けて、上記IT関連企業誘致推進業務とは別に28社の企業への訪問やWeb面談等を行い、5社の現地視察を受け入れ、アンテナ(株)の進出に結び付いた。										

(款) 商	工費(項)商		企業立	立地調				
事業名	企業立地促進	補助金					執行率(%	<b>%</b> )
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	63. 5
(円)	92, 919, 000	0	△ 23, 426, 000	△ 2, 187, 807	67, 305, 193	59, 012, 644	対予算現額	87. 7
目的	本市に立地し	文付するもの。						
	唐津市企業立	地促進特区指定	区指定に係る奨励に関する条例に基づく奨励		べく奨励措置	14, 780, 796円		
	企業	名 交色	付金額(円)	袝	甫助金内訳 (円)	)		
	(株)マノ	レタイ	14, 717, 000	雇用奨励金(対象人数16人)		8,000,000		
	(1/K) (7	P 9 4	緑地等整備補助金		6, 717, 000			
	本州印刷	削(株)	63,796 水道料金補助金(1年目) 63,7		63, 796			
	唐津市企業立企業		利に基づく奨励措置 交付金額(円) 補助金		甫助金内訳(円)	44, 231, 848円		
	(株)ブ/					285, 166	-	
事業内容 及び実績				立地奨励金(1		805, 400		
	4	. Nic (Inl.)		雇用奨励金(対		4, 000, 000		
	山口精機工	L業(株)	37, 938, 582	設備費補助金		32, 053, 782		
				建物賃料補助金		1, 079, 400		
	(有)ノ	レズ	397, 700	立地奨励金(1年目)		397, 700		
				立地奨励金(1	年目)	1, 354, 900	]	
	(同)プラ <i>ン</i> リサイ		3, 854, 900	雇用奨励金(対	対象人数3人)	1, 500, 000	]	
				利子補給金(1	年目)	1, 000, 000		
	天生水產	産(株)	1, 755, 500	立地奨励金(1	年目)	1, 755, 500		
- 公田 公		用及び投資の多			、安定した企業		<b>]</b>  に向けて支援	する

成果等 及び 達成度

唐津市企業立地促進特区指定に係る奨励に関する条例に基づく奨励措置対象企業2社の投資額は、 57億1,465万円、新規地元雇用者は55人、唐津市企業立地促進条例に基づく奨励措置対象企業5社の投資額 は10億5,941万円、新規地元雇用者は47人であった。

	工員 (以) 同	工具 (日/四	工术派开兵				正术-	
事業名	コスメティッ	執行率(%	6)					
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83. 7
(円)	43, 259, 000	0	△ 7, 278, 000	237, 995	36, 218, 995	36, 218, 995	対予算現額	100.0
目的	産学官連携組	_,, , , , , , ,	<b>立地</b>					
事業内容及び実績	JCCへの運営負担金 14,000,000円 地産素材活用商品の販路開拓支援、産学連携によるコスメ環境整備、輸出支援による国際取引拡大等認定した立地企業へのコスメティック産業集積促進補助金 19,049,000円 R2年度認定事業者 2社 本州印刷(株) 15,450,000円、(有)ルズ 3,599,000円 事務費ほか 3,169,995円							
成果等及び達成度	事務費ほか 3,169,995円  JCCへの運営支援を行い、コスメティック構想の円滑な遂行を図ることができた。JCCや関係自治体と連携した大手化粧品製造企業の原料開発プロジェクトでは、耕作放棄地等を活用したハーブの栽培が始まり、地元農家の協力のもと順調に栽培面積を拡大し、農家の収益と地域の活性化につなげている。また、認定した立地企業2社に対し、補助対象期間内の設備投資や雇用実績に応じて補助金を交付し、雇用創出及び経済の活性化を図った。これまでのコスメ関連の企業誘致数は、目標値(第2次総合計画 令和6年度時点)の10件に対し、計8件で80.0%の達成度、また立地企業による市内雇用者数は、目標値(令和6年度時点)の64人に対し、計61人となり95.3%の達成度となった。							り、 雇 令和

商工振興課

事業名	中小企業等活	性化支援事業権	前助金				執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95. 6	
(円)	35, 000, 000 0 0 35, 000, 000 33, 459						対予算現額	95. 6	
目的	中小企業者の	経営基盤強化や	P経営の革新、1	創業及び事業組	1合等の活動強化	との取組みに対	し補助するも	の。	
事業内容及び実績	DX枠(補助 創業支援分 一般創業( 一般創業空 移住創業空	通常枠(補助率1/3、限度額1,000千円) 16件 11,647, DX枠(補助率1/2、限度額1,500千円) 13件 9,371,							
成果等 及び 達成度	件の採択で13 主な内訳とし	7%の達成度と て経営力強化分	なった。 )で29件採択し、	、生産性の向上	l合等活動強化す や経営基盤の強 lによる地域商業	単化に寄与した	ほか、創業支	援分	

事業名	プレミアム付	プレミアム付商品券発行事業費							
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 5	
(円)	200, 006, 000	0	△ 3, 233, 000	0	196, 773, 000	194, 998, 373	対予算現額	99. 1	
目的		物価高騰対策として、市内の消費喚起を図るとともに、地域経済のデジタル化を促進するため、プレミアム付商品券を発行するもの。							
事業内容及び実績	事務費ほか 商品券発行 発行総額 1セット 内訳 <sup>3</sup>	概要 i6億円(プレミ 当たり額面5,00 発行額 電子 5億円(1 紙 1億円(1	2,061,593 アム率25%を含 0円(共通券2,5	が。) 500円、専用券2 決済金額 499, 453, 570円	, 500円)を4, 00 利用率 99. 89% 99. 63%				
成果等 及び 達成度				35%が利用され 商品券の発行に					

## (款) 商工費 (項) 商工費 (目) 観光費

観光文化課

事業名	観光地域づく	り事業費					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	対当初予算額	99. 9						
(円)	58, 370, 000	0	0	0	58, 370, 000	58, 328, 352	対予算現額	99. 9	
目的		周遊促進と滞在時間の延長につなげるため、地域資源の活用事業及び集客拠点の形成事業を通して観光客の受入体制等の充実を図るもの。							
事業内容及び実績	地域資源を活用した観光商品づくり 8,880,000円 体験型民泊事業への補助 民泊 4,528人(前年比161%)、体験プログラム 3,009人(前年比127%) 観光イベントへの助成 集客拠点形成事業 唐津うわば観光マップ増刷、九州オルレ整備ほか 610,174円 観光案内所運営事業 48,838,178円 唐津駅総合観光案内所、鎮西町観光案内所、名護屋城跡観光案内所、呼子観光案内所の運営 延べ利用者数 38,630人(前年比121%)							74円	
成果等 及び 達成度	増加する観光客からの問い合わせに対して、Webや電話対応以外にも対面によるスムーズな対応ができるよう市内4箇所に観光案内所を設置し、受入環境の充実につなげたことで、宿泊客数45万泊の回復の下支えに寄与した。また、体験型民泊や体験プログラムの受入数についても前年比で増加しており、滞在時間の延長に寄与するとともに、コロナ禍前の状態へ回復しつつある。引き続き、現在の受入体制を維持し、国内外からの宿泊客数の増加と滞在時間の延長につなげるための取組みを進めていく必要がある。								

事業名	観光市場開拓	事業費					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	当初予算額 増額補正額 減額補正額 流充用額 予算現額 決算額							
(円)	5, 972, 000	0	0	1, 821, 720	7, 793, 720	6, 901, 888	対予算現額	88. 6	
目的	国内外からの	誘客を図るため	)、商談会等を	通して旅行商品	の造成を促すも	· の。			
事業内容及び実績	国内市場開拓事業 6,651,584円 佐賀県観光素材説明会、2024年度上期下期九州観光素材相談会への参加 佐賀さいこう!応援団交流会における市町ブース出展 GPS位置情報システム導入によるデータ分析、プレゼン用タブレット通信回線利用料ほか 国外市場開拓事業 250,304円 九州インバウンド観光説明会・商談会への参加 2023 VISIT JAPAN韓国市場商談会への参加 観光動態調査 令和5年確定値 市内宿泊数449,200泊(うち訪日外国人宿泊数29,555泊)								
成果等 及び 達成度	宿泊観光客の誘客につなげるため、九州観光機構及び佐賀県観光連盟と連携を図りながら、国内外の旅行会社向けの観光説明会や商談会へ9回参加した。旅行会社86社と商談を行った結果、27プランの旅行商品造成につながり、唐津市観光地経営戦略プランに掲げる令和5年目標値45万泊の99.8%の達成に寄与した。一方で、訪日外国人向けの誘客対策が十分でないことが課題であり、今後、アジアのみならず、欧米豪からの誘客も見据えた取組みを進めていくことが必要である。								

(款) 商	工費(項)商	i工費 (目)観	光費 <del></del>				観光	文化課
事業名	メディア活用	推進費					執行率(%	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	86. 0
(円)	79, 982, 000	0	△ 7,000,000	△ 3, 179, 950	69, 802, 050	68, 792, 677	対予算現額	98.6
目的	し、唐津の認	知度向上と人の	流れの創出に	ンに取り組むとつなげるもの。	ともに、唐津ツ	ーリズムコミ	ッションを推	進
事業内容績	タ 唐 YouTub 都	福岡 マル かソ かソ で かと で かと で かと で で かと で で で で で で で で で で で で で	プリ作 動施期期 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	(総発行部数99. O本)、FBS CM等	催 、来場者数700名 19日、来場者数 4,220部) 等(41回)、サラ Ver広告(1本、 回) 天場者数100名、 を誘致	名 1,309名 ガテレビCM(1 総再生回数10 満足度93%)	28, 340, 0 本×170回)	77円
成果等 及び 達成度	り組み、動画 食店にファン や紙媒体など 題も交えながい、市内宿がった。今後 一方で、メデ とを確認する	広告の総再生数が来訪するなどの各種媒体で19 ら、唐津への認 308泊の創出に 、映画が公開さ ィアを通して、 定量的なデータ	なが延べ100万匹 、唐津へ訪れ 9件の情報発信 客につなげる つなげるなど、 れた際の話題 話題性や拡散 の収集と分析	め、情報発信力で超えるなど、る動機付けを海路では、を行い、を信報を開係をできる。 制作関係を対して、 といり はいい で 要にない という はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい は	情報の拡散につった。また、九中展望塔リニュた。ロケ・取材のも高い評価を受かれたものの、本ていない状況で	つなげるととも 州内を中心に ーアルオープ 等の助成では 受けており、2 待できる。 事業が来訪の	oに、撮影した テレビCM、ラ ンなどの新た 、12件に助成 本の映画化に 決め手となっ	た飲 ジ な を つ た た こ こ

事業名	祭り振興費						執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	103.3		
(円)	27, 549, 000	0	0	1, 235, 952	28, 784, 952	28, 450, 278	対予算現額	98.8		
目的		市外からの集客が見込める祭りを実施する各種団体に対して補助を行うもの。また、観光客向けの受入体制を整備し、誘客促進と関係交流人口の拡大につなげるもの。								
事業内容	祭りに対する。 唐津くんち。 観光客受入体	、浜崎祇園祭、	相知くんち、行	徳須恵祇園祭、	呼子大綱引		10, 917, 0 17, 533, 2			
及び実績		観覧スペース設置、安全対策・警備業務、清掃業務、臨時案内所開設、臨時駐車場開設、仮設トイレ設置、クリーニング等								
成果等 及び 達成度	ながった。ま 寄与し、来場	た、臨時案内所 者数は唐津くん 、(前年比133%	行や警備配置な。 いち410,000人(	各種団体に補助 ど、観光客の受 (前年比114%) 園祭200人(前年	入体制を整備し、浜崎祇園祭2	たことで観光 8,000人(前年	客の満足度向 比112%)、木	上に相知		

## (款) 商工費 (項) 商工費 (目) 観光費

観光文化課

事業名	(一社) 唐津	観光協会補助金					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
(円)	16, 476, 000	0	0	0	16, 476, 000	16, 476, 000	対予算現額	100.0
目的	(一社) 唐津観光協会が実施する市の補完的事業及び観光関連団体(事業者)等との連携強化を図るための組織運営に対し補助するもの。							
事業内容及び実績	<ul> <li>観光地魅力アップ事業</li> <li>見帰りの滝を美しくする事業</li> <li>呼子町並み賑わいづくり整備</li> <li>高津窯元ツーリズムほか</li> <li>名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク</li> <li>商談会等販促物品作製費</li> <li>村田英雄記念館管理運営事業</li> <li>事業人件費</li> <li>事務局管理費</li> <li>7,909,000円</li> </ul>							
成果等 及び 達成度	観光客の受入にも取り組ま	体制の充実につ れたことにより	かながった。また	竟の充実に寄与 た、観光協会で 加盟する310人 つながった。	は地域ごとの鬱	見光資源を活用	した集客促進	事業

(款)商	工費 (項)商	i工費 (目)観	光費				肥前名護原	屋城室
事業名	肥前名護屋城	活用推進費					執行率(%	<b>%</b> )
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	87. 2
(円)	28, 886, 000	0	0	0	28, 886, 000	25, 198, 817	対予算現額	87. 2
目的				文化・観光資源の		用し、関連す	る地域の歴史	・文
事業内容及び実績	名古屋城春 会場 プロ 戦国LOVE W お城 会 T EXPO20 会イベまラ名 現地 に カ 名 護 理 を で ま ラ 名 達	聘 1武将隊 まつり (名古屋 まつり (名古屋 者数 延べ25,77 ンとはないでは、 ない情報発信 はないではないででででできる。 はないででできる。 はないでででできる。 はないででできる。 はないででできる。 はないでできる。 は、できる。 とっと。 は、できる。 とっと。 は、できる。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	E) PRブース出展 9人 うちブー 面掲載(発行部 出展 期間 ブー 37人 出展 うち期間 38人 うち 期間 ブー 間 令和5年6月 間 名護屋城 第 に 前名護屋城 令和	月29日~7月30日 <b>ヌ 期間 令和5</b> 年 ス来訪者数 延 数30,000部)、 和5年8月11日~ ス来訪者数 延 令和5年12月16 ス来訪者数 延 3日~6月4日 延 3日~6月4日 5年9月30日~余 6年3月23日 来	年4月29日~5月 べ1,615人 Web記事掲載( -8月13日 べ2,048人 日~12月17日 べ2,752人 か者数2,550人 29日~7月30日 1和6年1月31日	1日 (PV獲得数2,24 参加者数164 参加者数144 <i>J</i>	22, 493, 4 人	860円
成果等 及び 達成度	目標値5万人を 県と共同で出 の増加につな を行ったほか 周知する別催に 度より1,000 機運醸成に くりも念頭に	を上回る61,150 展し、延べ25,9 がった。加えて 、名古屋市が唐 モーションに取 合わせ、唐津の 多い5,800人の 与した。今後は 置きながら、は	人 (122.3%) と 075人の来場者へ 、名古屋城春 3	かりの地等へのとなった。また、名護屋城の魅まつりに古屋城では、「といった」といる物を中心とは、といるなど、名等のかといるなど、名等のからなど、名等のからなど、名等のからなど、名等のから、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、名が、	、大阪と横浜で力を発信したこ出展を行い、近一スを出事を出り、であるの相互連歩を関いたマンに観光を開いた。では、平常ののでは、平常ののでは、大阪と横浜を開いた。	開催された城 とで、認知 にべ25,719人 など、名 さ、大 に は に は に と で 、 だ と で 、 た こ ら 、 た ら 、 た う に う た う 、 た う 、 た う 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、	郭イベントへの向上と交流来場との回名では、第3回のでは、地についいのでは、地になった。	佐人発り量前域み賀口信を城年のづ

(454) [11]	岡上賞       (日) 観光 (日) 観光 (日)									
事業名	宿泊促進事業	泊促進事業費								
予算額	当初予算額	対当初予算額	92.0							
(円)	63, 810, 000	63, 810, 000 0 0 63, 810, 000 58, 707, 233								
目的	宿泊予約サイ もの。	宿泊予約サイトでの電子クーポン発行や旅行会社等への助成による旅行商品造成を促し、宿泊促進を図る もの。								

クーポン額面	発行枚数	延べ宿泊数	流通額 (宿泊費)
1,500円(1名以上かつ1万円以上の予約の場合)	4,914枚	10,967泊	142, 948, 541円
3,000円(2名以上かつ2万円以上の予約の場合)	4,995枚	13,876泊	234, 105, 703円
合計 (15,000泊分)	9,909枚	24,843泊	377, 054, 244円

### 事業内容 及び実績

旅行商品の造成等促進事業 (実施期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

17,871,233円

募集型・受注型企画商品を造成した旅行会社の送客実績に応じた助成

助成概要	商品数	助成額	延べ宿泊数	宿泊換算額
送客1人当たり1,500円 かつ交通費の半額(上限15万円) 1企画商品上限30万円 (7,200泊分)	86商品	12,774,233円	5,746泊	73, 094, 866円

### スポーツ・文化合宿等の助成

助成概要	件数	助成額	延べ宿泊数	宿泊換算額
1人当たり1,500円 1申請上限30万円(3,000泊分)	57件	4,767,000円	3,337泊	42, 449, 977円

諸経費 6,160,000円

### 成果等 及び 達成度

電子クーポン9,909枚を発行し、目標とする15,000泊の約1.6倍となる24,843泊の宿泊促進が図られ、事業 費の約11倍となる宿泊費の創出につながった。

また、旅行会社等への助成により、目標とする旅行商品60プランの約1.4倍となる86プランが造成された ほか、合宿等の助成を57件利用されるなど、9,083泊の市内宿泊の創出につながった。

電子クーポン発行事業と旅行商品の造成促進事業の成果として、事業目標とする25,200泊の約1.3倍とな る33,926泊の市内宿泊が図られたとともに、本市の特設サイトの開設や旅行商品が掲載されたパンフレッ トなどの掲出によって、旅行志向者へ旅先として選んでもらうための情報発信効果も得られた。

結果として、唐津市観光地経営戦略プランに掲げる令和5年目標値45万泊の99.8%の達成に寄与した。

観光文化施設課

事業名	快適な滞在環	境整備費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96. 6
(円)	13, 915, 000	0	0	0	13, 915, 000	13, 448, 600	対予算現額	96. 6
目的	観光客の受入	環境を整備し、	利便性を向上	させることで、	誘客促進につな	<b>さ</b> げるもの。		
事業内容及び実績	旧高取邸景	支障木伐採業務 観支障木等剪定 丘公園景観支障	業務	10, 010, 000円 138, 600円 3, 300, 000円				
成果等 及び 達成度	観光地におい全することが		ていた支障木	等を伐採・剪定	することで、番	光客に喜ばれ	る美しい景観	を保

### (款) 商工費 (項) 商工費 (目) 観光施設管理費

旧高取邸土蔵保存修理事業費 (継続費初年度分)

事業名

観光文化施設課

執行率 (%)

予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	67. 4
(円)	5, 324, 000	0	0	0	5, 324, 000	3, 586, 000	対予算現額	67. 4
目的	国の重要文化	財に指定された	:「旧高取邸住宅	乞」内にある土	蔵の保存整理を	≥行うもの。		
事業内容及び実績	総事業費(継 令和5年度実施 旧高取邸土	続費設定額) 拖事業(継続費 蔵保存修理工事			り、床及び建貞	具補修		
成果等 及び 達成度		L事は概ね順調!	年継続事業とし こ進捗し、令和					

## 8 土 木 費

#### (1) 道路橋りょう費

道路整備では、国の補助事業である社会資本整備総合交付金等を財源に、道路の改良・舗装補修や法面対策及び橋りょうの調査設計や補修を実施した。

また、通学路合同点検の結果に基づき、通学路の安全確保のための対策事業を実施した。

さらに、市民生活に密着した道路等の整備として、市道の街路樹剪定や草刈り、側溝の清掃をはじめ、 地元が実施する防犯灯の設置等に対する補助金を交付するなど生活基盤の整備を図った。

交通安全対策では、交通安全のより一層の推進を図るため、交通安全思想の啓発と高揚に努めるとともに、交通安全対策特別交付金事業として、反射鏡、防護柵及びその他交通安全施設の整備を行い事故等の未然防止に努めた。

#### (2) 河川費

河川の水閘門の操作管理等を地元に委託し適切な運転に努めたほか、排水ポンプ場の管理点検を実施するとともに、排水路の不良箇所の整備を行った。

排水路整備事業では、崩壊の恐れのある護岸の改修工事を行うとともに、河川断面を確保することにより、住民生活の安定を図った。

河川維持費については、河川内に堆積している土砂及び草木等の除去を行い、流下能力を良好な状態に することにより、住民生活の安定を図った。

また、急傾斜地崩壊防止事業では、崩壊の危険がある箇所で工事を施工し災害の防止を図り、隣接する住民生活の安全確保に努めた。

#### (3) 港湾費

港湾の振興と活性化を図るため、佐賀県唐津港利用促進協議会と連携して、クルーズ船の受入れを行うとともに、船舶代理店や外国船社等に対するポートセールスを実施した。さらには、国や佐賀県との連絡調整や情報交換等を行い、唐津港及び呼子港の整備促進を図った。

市民参加によるみなとまちづくりや「みなとオアシス」を中心とした港の賑わいづくりを推進するため、 海辺の資源を活用した賑わいづくりを担う団体への支援を行った。

利用者の安全確保と利便性向上を図るため、唐津港、呼子港、星賀港及び仮屋港の港湾施設並びに呼子台場みなとプラザの維持管理を行った。

また、唐津みなと交流センターや臨港駐車場 (呼子) については、サービス向上と効率的な施設運営を 図るため、指定管理者による管理運営を行った。

### (4) 都市計画費

公園管理費では、5か年の継続費を設定し、石垣修復等を行ってきた唐津城石垣再築整備Ⅱ期(2工区) 事業について、令和5年度(継続費5年度分)の上段広場の園路整備、上段四阿の復旧建築工事、石垣の 一部修復・復元工事等をもって完了した。

市内292箇所の児童公園、児童遊園及び都市緑地等の安全で快適な利用を図るため、公園施設の更新、 既存公園の維持管理などを行った。玄海国定公園(鏡山・七ツ釜)は、県からの委託を受けて維持管理を 行った。

緑花推進費では、「街に緑を窓辺に花を」をキャッチフレーズに緑豊かで快適な花いっぱいのまちづくりのため、緑花を推進した。

松浦河畔公園の有効活用について、実現の可能性や事業化に向けての課題等を把握するため、民間事業者からアイディアや提案を聴取するサウンディング調査を実施し、エリア毎の整備方針等を定めた松浦河畔公園再整備基本計画に反映した。

### (5) 住宅費

市営住宅の管理については、随時、施設改善・補修等を行い、適正な維持管理に努めた。

また、老朽化が著しい危険な住宅の解体工事等を行い、住環境の改善と安全性の確保に努めた。

住宅・建築物耐震診断事業では、申請者による診断業者の選定が不要となる耐震診断派遣事業を実施し、 申請者の負担を軽減することで、より一層の耐震化促進を図った。

また、住宅移転事業では、災害危険区域内にある住宅を安全な場所に移転する者に対し補助を実施し、住民の生命の安全確保に努めた。

#### (6) 都市下水路費

生活排水の滞水解消及び雨水排水による浸水防止等、生活環境の改善を図るため、公共下水道事業認可 区域内外における雨水幹線及び都市下水路の浚渫を行った。

道路河川管理課

事業名	道路照明管理	費					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	49. 2	
(円)	115, 926, 000	0	△ 58,000,000	0	57, 926, 000	57, 092, 436	対予算現額	98. 6	
目的			さ守るため、道路	格照明灯の維持な	管理やLED化、	各地区が設置す	一る防犯灯に対	付す	
事業内容及び実績	道路照明灯取替工事 (160基) 11,241,380円 街路灯ペナント取付部修繕工事 1,269,290円 防犯灯設置補助金 (83基) 2,986,762円 電気料 34,464,584円 道路照明灯修繕等 7,130,420円								
成果等 及び 達成度	照明灯の適切な維持管理により、周囲の安全性を確保した。また、既存照明灯のLED化を進め、消費電力の低減等、長期的な視点でコストの抑制を図った。 令和5年度においては160基の照明灯をLED化したことで、9,196基のうち5,383基が整備完了となり、達成度は58.5%となった。								

## (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

事業名	虹の松原宇木	線道路改良費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 4
(円)	2, 357, 000	0	0	0	2, 357, 000	2, 318, 710	対予算現額	98. 4
目的	劣化・破損し	、また、転落防	ち止柵は腐食が	で、鏡山小学校 著しく高さも不 更新し転落防止	足しており、想	<b>歩行者の安全な</b>	通行に支障を	きた
事業内容及び実績	事業内容	和元年度から令 事 L=34.0		全体計画延長 2,316,600 2,110		n		
成果等 及び 達成度		_, ,		を及び歩道舗装 <i>0</i> 住民の通行や児	,			

## (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

事業名	東町和多田線	道路改良費、同	引(繰越明許分)				執行率(%	6)
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	78. 6
予算額	41, 000, 000	0	0	0	41, 000, 000	32, 230, 000	対予算現額	78. 6
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	06.6
	8, 388, 000	_	_	_	8, 388, 000	8, 104, 800		90. 0
目的	歩車道の段差	が大きく歩道内	7乗入れ箇所の	勾配が急である	して指定されて ため、通行に支 、児童等歩行者	障をきたして	いる状況であ	
	事業年度 平 事業内容(現 道路改良工	年度分)	介和8年度まで L=81.0m	全体計画延長 32,230,000	E L=1,000.0	)m		
事業内容 及び実績	事業内容(繰		2 — 01. VIII	02, 200, 000	1 3			
	既設側溝蓋	改良工事 I	L = 73.0  m	8, 016, 800	円			
	事務費			88, 000	円			
成果等 及び 達成度	全体計画延長	1,000.0mのう	ち、約300.0m	の整備が完了し	死設側溝蓋改良を た。なお、国の 8,400,000円を	補正予算によ	る内示後、地	

## (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

事業名	千々賀石志線	道路改良費、同	引 (繰越明許分)	)			執行率(%	6)	
	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	21.9	
予算額	88, 355, 000	8, 667, 000	0	0	97, 022, 000	21, 231, 100	対予算現額	21. 9	
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	95. 6	
	2, 129, 000	_	_	_	2, 129, 000	2, 035, 000	N 保险 1 异银	95. 0	
目的	辺には石志工路交差点では	業団地の誘致企	業が立ち並ん 通行に支障をきる	ターチェンジへ でいるため大型 たしている状況 の。	車両の交通量が	ぶ多く、市道石	志大杉線との	三差	
事業内容及び実績	事業年度       令和3年度から令和6年度まで       全体計画延長       L=400.0m         事業内容(現年度分)       道路改良工事       L=201.4m       21,231,100円         事業内容(繰越明許分)       21,231,100円								
	道路改良工	事 L=12.0	0m	2, 035, 000	円				
成果等 及び 達成度	のうち、付け	替え予定の歩道	道は延長369.0m	路改良を実施し までの整備が完 間を要するため	三了した。 なお	、国の補正予算	草により内示る	を受	

事業名	湊浜四号線道	路改良費、同	(繰越明許分)				執行率(%	6)		
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 5		
予算額	20, 500, 000	0	0	0	20, 500, 000	18, 966, 200	対予算現額	92. 5		
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00.0		
	8, 077, 000	_	_	_	8, 077, 000	8, 067, 677	刈 脒 越 丁 异 領	99. 9		
目的	るが、幅員は	狭隘で車両の離	合や緊急車両の	された密集市街: の通行に支障を こ防災力強化を	きたしている状					
事業内容及び実績	事業內容(現 道路改良工 路面標示業 事業內容(繰 道路改良工 用地取得費	改良を行い地域住民等の安全性の確保並びに防災力強化を図るもの。  事業年度 令和3年度から令和5年度まで 全体計画延長 L=74.2m  事業内容 (現年度分)								
成果等 及び 達成度		和5年度は用地取得・物件移転補償及び延長74.2mの道路拡幅改良を実施し、本路線の整備が完了した。 路線の整備が完了したことにより、周辺地の防災機能を確保することができた。								

# (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

							1	
事業名	石原線道路改	良費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	增額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99. 4
(円)	45, 900, 000	0	0	0	45, 900, 000	45, 618, 879	対予算現額	99. 4
目的	割を担ってい	るが、幅員は独	<b>突隘で車両の離</b>	合や緊急車両の	生活道路であり通行に支障をき確保並びに防災	たしている状	況である。	の役
事業内容及び実績	事業内容	A = 386.	3m <sup>2</sup>	全体計画延野 1,894,979 43,722,500 1,400	円	n		
成果等 及び 達成度				での整備が完了	了している。 拖し、事業の進	捗を図った。		

道路河川管理課

事業名	天徳の丘公園	2 号線道路改良	ł費、同(繰越F	明許分)			執行率(%	6)	
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	56.8	
予算額	17, 737, 000	0	△ 7, 237, 000	0	10, 500, 000	10, 066, 490	対予算現額	95. 9	
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00 6	
	7, 144, 000	_	_	_	7, 144, 000	7, 044, 260		90.0	
目的	校から市道相	知中央線までの	区間は歩道が	か相知小中学校 未整備であり車 安全を確保し周	道幅員は狭隘で	であるため、歩			
事業内容及び実績	事業年度       平成23年度から令和7年度まで       全体計画延長       L=128.0m         事業内容(現年度分)       10,005,600円         事務費       60,890円         事業内容(繰越明許分)       4,552,000円         家屋調査業務、区画線設置業務       2,420,000円         事務費       72,260円								
成果等 及び 達成度	令和5年度は踏切前後について延長55.9mの道路改良及び家屋調査を実施し、事業の進捗を図った。 全体計画延長128.0mのうち、延長61.0mまでの整備が完了した。								

## (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

事業名	吹上線道路改	良費、同(繰起	遂明許分)				執行率(%	6)		
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	130. 2		
予算額	9, 885, 000	0	0	2, 986, 263	12, 871, 263	12, 871, 263	対予算現額	100.0		
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0		
	15, 615, 000	_	_	_	15, 615, 000	15, 610, 144		100.0		
目的	れているが、	幅員が狭隘で車	<b>運両の離合もま</b>	まならず、自動	活道路であり、 車と歩行者の通 生徒等歩行者の	5行が混在し危	険な状況であ			
事業内容及び実績	事業内容(現 道路改良工 事業内容(繰	事業年度       平成28年度から令和5年度まで       全体計画延長       L=350.0m         事業内容(現年度分)       道路改良工事       L=25.0m       10,887,800円       物件移転補償費       N=1件       1,983,463円         事業内容(繰越明許分)       道路改良工事       L=80.0m       15,253,700円       用地復元測量業務       220,000円								
成果等 及び 達成度	令和5年度は電	<b>這柱移転等補償</b>	及び延長105.01	mの道路改良工	務費 事を実施し、本 学路としての多		,			

道路河川管理課

事業名	野井原後川線	道路改良費					執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99. 6		
(円)	10, 410, 000	0	0	0	10, 410, 000	10, 366, 528	対予算現額	99. 6		
目的	さまざまな転	本路線は、七山滝川交差点から野井原地区を結ぶ七山小中学校に隣接した通学路であるが、法面には大小さまざまな転石が点在しており、落石等の危険が生じている状況である。そのため撤去可能な転石は除去し、併せて落石防止等の法面保護等の対策を行うことによって、児童等歩行者の安全確保を図るもの。								
事業内容及び実績	事業年度 令 事業内容 法面対策工 用地取得費 事務費		0 m	10, 296, 0 21, 5	L=80.0m 000円 528円 000円					
成果等 及び 達成度					実施し、本路線					

# (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

道路河川管理課

事業名	橋りょう長寿	命化事業費					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	63. 1	
(円)	320, 420, 000	0	0	0	320, 420, 000	202, 049, 158	対予算現額	63. 1	
目的	市道橋梁を常時良好な状態に保つために、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへの円滑な政策転換を図り、その費用の縮減を図りつつ地域の道路網の安全性・信頼性の確保を図るもの。								
事業内容及び実績	補修工事 27橋 192,089,700円 橋梁定期点検 43橋、設計業務等 2橋 5,170,000円 事務費 4,789,458円								
成果等 及び 達成度	補修工事を行 た維持管理用 べ、劣化が進 令和5年度は1	うことで、橋察 の平準化を図る 行している橋梁 7橋の修繕が完	なを延命させ、 ことができた。 なを確認するこ 了し、現在まで	修工事を行うこ 当面の架替費用 。今回2巡目とな とができ、今後 を235橋の修繕が の協議や迂回路	を軽減し、将来 よる定期点検に の対応を検討す 完了した。総合	<ul><li>※的に必要となっいても、前回</li><li>一る資料を収集</li><li>↑計画における</li></ul>	る架替工事を 回5年前の状況 することでき 目標値(250 <del>1</del>	·含め に比 た。 (高)	

数を要したため、117,065,000円を令和6年度に繰り越した。

出	胶油	1111	管理課
10	IDH ( P		

事業名	道路舗装改良	道路舗装改良費 執行率(%)									
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	58. 6			
(円)	151, 250, 000	対予算現額	88. 7								
目的	舗装個別施設計画に基づき、老朽化した道路の舗装補修を実施することにより、地域住民の安全性の向上を図るもの。										
事業内容及び実績	唐津駅前 渕上~五	事業内容 道路舗装補修工事(16箇所) L=1,887.0m 88,695,200円 唐津駅前東新興町線、枝去木名場越線、長の坪六反田線、黒須田線、七ツ釜線、小崎〜砂子線、 渕上〜五反田線、鵜殿岩屋線、徳須恵・上平野線、駄竹・入野線、瓜ヶ坂・新木場線、鎮西中央線、 高野菖蒲線、坊山小友線、殿ノ浦西海岸線、野井原〜後川線									
成果等 及び 達成度	きた。 なお、令和5年	舗装個別施設計画に基づく舗装補修工事を計画的に実施し、安全で快適な路面性状の回復を図ることができた。 なお、令和5年7月豪雨による被害が甚大で施工業者選定等に不測の日数を要したため、11,304,000円を令和6年度に繰り越した。									

### (款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

(水) 上.	小貫 (頃)垣	1. 始備りより賃	(日) 坦鉛利司	以以及其			<b>坦</b> 始 例 川 1	日生的					
事業名	こどもを守る	どもを守る通学路づくり事業費 執行率(%)											
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83.					
(円)	10, 625, 000	0	△ 1,625,000	0	9, 000, 000	8, 917, 482	対予算現額	99.					
	唐津市通学路	交通安全プログ	グラムに基づき	実施した合同点	検により明らか	いとなった要対	策箇所につい	て、					
目 的	カラー塗装標	示や路肩保護・	・歩道整備を実	施し、通学路に	おける児童等類	を行者の安全性	を確保するも	$\mathcal{O}_{\circ}$					
	事業内容												
	道路改良工	事等		4, 6	68, 400円								
	路肩工事(陣の元線) L=60.0m												
	改良工事(徳須恵岸山線) L=14.5m												
事業内容	路面標示業	務等		3, 9	43,500円								
及び実績	外側線標	示(西ノ門二ク	タ子線、沖鶴一	号線、高倉線、	新木場高串線)	L = 2,228.	3m						
	カラー塗	装標示(唐津縣	沢旭が丘線、陣	の元線、坊山小	友線)	$A = 97 \mathrm{m}^2$							
	用地取得費	A = 7.5	$3\mathrm{m}^2$	1	46,082円								
	物件移転補	i償費 N=1件		1	59, 300円								
	事務費				200円								
	通学路におけ	通学路における要対策箇所にカラー塗装の標示や路肩保護・歩道整備を実施し、児童等歩行者の安全性を											
成果等 及び	確保すること	ができた。											
達成度	対策が必要な	9箇所のうち7億	箇所の事業が完	了した。残り2億	箇所についても	引き続き事業の	)進捗を図る。						
	i e												

## (款) 土木費 (項) 河川費 (目) 河川改良費

事業名	排水路整備費	排水路整備費、同(繰越明許分) 執行率(%)										
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	26. 2				
予算額	97, 500, 000	0	0	0	97, 500, 000	25, 586, 700	対予算現額	26. 2				
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00.7				
	37, 933, 000	_	_	_	37, 933, 000	35, 164, 970		92. 1				
目 的	排水不良の河川及び排水路を整備することにより、流下能力不足による浸水被害を軽減し、市民生活の安全性の確保を図るもの。											
事業内容及び実績	事業内容(現年度分)         排水路整備工事(5河川) 護岸 L=70.9m       25,586,700円         中里川、一ノ坂川、小山田川、松尾川、榎ノ元川         事業内容(繰越明許分)         排水路整備工事(5河川) 護岸 L=183.9m       35,164,970円         中里川、小山田川、恵木川、樽門川、木浦川											
成果等 及び 達成度	被害の防止をなお、令和5年	図った。 =7月豪雨等の景	少響で河川が増える。		画的に進め、近 生じたことによ こ繰り越した。							

## (款) 土木費 (項) 河川費 (目) 河川改良費

道路河川管理課

事業名	河川維持費	可川維持費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	50. 7				
(円)	22, 449, 000	0	0	0	22, 449, 000	11, 384, 013	対予算現額	50. 7				
目的	河川及び排水もの。	路の流下能力を	良好な状態に約	維持するため、	施設保持及び補	修を実施し、	災害の防止を	·図る				
事業内容及び実績	護岸整備・浚渫工事ほか 7,719,800円 浚渫箇所 中里川、中尾川 伐採業務 990,000円 排水ポンプ場電気工作物保安管理業務 554,400円 排水ポンプ場操作管理業務 102,938円 ポンプ場管理費(電気・水道料ほか) 2,016,875円											
成果等 及び 達成度	排水不良の河川等の機能を増大させることにより、災害の防止を図り、地域住民の安全を確保した。 緊急浚渫推進事業債を活用した河川の浚渫を進めており、令和5年度は2箇所で浚渫工事を行った。 なお、令和5年7月豪雨等の影響で上流からの土砂や流木が堆積したことにより、浚渫区域の決定及び測量 設計に不測の日数を要したため、2箇所分(千東川、野井原川)の工事費10,112,000円を令和6年度に繰り 越した。											

## (款) 土木費 (項) 河川費 (目) 河川改良費

		名[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [										
事業名	急傾斜地崩壊	急傾斜地崩壊防止事業費、同(繰越明許分) 執行率 (%) 執行率 (%)										
	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	15. 2				
予算額	66, 600, 000	160, 200, 000	△ 18, 000, 000	0	208, 800, 000	34, 405, 800	対予算現額	16. 5				
(円)	繰越予算額	対繰越予算額 98.1										
	8, 000, 000	77休巡 7 弃顿	30.1									
目的		急傾斜地の崩壊による災害から未然に人命を守るため、危険度が高く災害に直結する恐れのある箇所について崩壊防止工事・復旧工事を実施するもの。										
事業内容及び実績	事業内容(現年度分) 急傾斜地崩壊防止・復旧工事(5箇所) 34,405,800円 和多田1区1地区(和多田海士町)、東山田地区(浜玉町東山田)、坊中5地区(相知町牟田部) 向工地区(鎮西町馬渡島)、堂原9地区(七山滝川) 事業内容(繰越明許分) 急傾斜地崩壊防止・復旧工事(1箇所) 7,850,700円 黒崎2地区(浦)											
成果等 及び 達成度	いても工事が なお、令和5 <sup>4</sup>	完了し、災害時	字の地域住民の がと大で、	の工事が完了し 安全確保に寄与 、復旧工事が地 り越した。	した。							

## (款) 土木費 (項) 港湾費 (目) 港湾振興費

みなと振興課

事業名	みなとまちづ	くり推進費					執行率(%	%)		
予算額	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	70. 1		
(円)	2, 044, 000	5, 698, 000	0	△ 1,595,000	6, 147, 000	5, 424, 927	対予算現額	88. 3		
目的		人・物・文化の交流拠点となる唐津港、呼子港、星賀港、仮屋港の整備促進を図るもの。また、市民協働のみなとまちづくりを推進し、地域の活性化を図るもの。								
事業内容及び実績			担金(4団体) り懇話会開催 豊費 区)公有水面埋		6 2 ·作成業務 4,2		料を作成した	·o		
成果等 及び 達成度	国や佐賀県との連絡調整及び情報交換等を行うとともに、港湾の整備及び振興に関する国への要望活動等を行う会議等に参加し、国や県が実施する唐津港及び呼子港の整備促進を図った。また、みなとまちづくり懇話会では、県が実施する港湾整備事業についての検討を行うなど、市民協働のみなとまちづくりを推進し、地域の活性化を図った。そのほか、県と連携し呼子港先方地区の公有水面埋立免許変更に必要となる資料の作成を行い、手続きに必要な準備作業を完了した。									

### (款) 土木費 (項) 港湾費 (目) 港湾振興費

事業名	唐津港寄港誘致促進費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	94. 6			
(円)	2, 798, 000	4, 676, 000	0	△ 229, 260	7, 244, 740	7, 068, 450	対予算現額	97. 6			
目的	,,,,,,	唐津港の振興と活性化を図るため、佐賀県唐津港利用促進協議会と連携して、観光・物流基地として保有する機能等を活かした誘致活動を図り、唐津港への寄港船舶数の増加へつなげるもの。									
事業内容及び実績	実施内容クルーズ関係者情報交換の会議出席、ツアー提案のポートセールス 佐賀県唐津港利用促進協議会負担金(会費、客船入港促進対策費)304,450円 6,676,000円 48,000円 										
成果等 及び 達成度	コロナ禍で中断していたクルーズ船寄港が再開、佐賀県唐津港利用促進協議会と連携して対応した。 成果 唐津港の船舶利用状況 延べ938隻(前年比111%) 寄港クルーズ船の乗船者数 延べ4,658人(乗客数2,499人、乗組員2,159人) クルーズ船寄港回数 13回(内訳 外国船13回、初入港船の歓迎5回) 唐津壱岐フェリー車両数/旅客数 154,596台(前年比117%)/114,446人(前年比122%)										

## (款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 都市計画総務費

都市計画課

事業名	景観まちづく	景観まちづくり推進費 当初予算額 増額補正額 減額補正額 流充用額 予算現額 決算額 :										
予算額	当初予算額	決算額	対当初予算額	98. 4								
(円)	30, 962, 000	0	0	0	30, 962, 000	30, 479, 270	対予算現額	98. 4				
目的				山通りにおける 重要な施設につ				への				
	景観まちづく	景観まちづくり推進事業補助金(4件) 3,006,000円										
	「22世紀に残	22世紀に残す佐賀県遺産」支援事業費補助金(1件) 388,000円										
	景観まちづく	<b>と観まちづくり専門家会議の開催等</b> 137,470円										
事業内容 及び実績	景観計画に基	づく美装化工事										
	市道千代田	町二ノ門線道路	改良工事				990,000円					
	市道千代田	町二ノ門線舗装	改良工事				1,298,000円					
	市道埋門海	水浴場線舗装改	(良工事				24, 659, 800円					
成果等 及び 達成度	景観計画重点区域内で行う住宅などの修景工事や笹垣の維持のために、4件の助成を行い、唐津の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを推進した。(H29~R5実績28件、総合計画における達成度88%)また、佐賀県が認定した佐賀県遺産である旧藤田家住宅については、修理に要する経費の助成を行い、文化的価値の保存に寄与することができた。 景観重要道路の美装化工事については、令和4年度の0.27kmに引き続き、令和5年度は0.16kmを施工し、水道工事復旧に伴う全体延長0.55kmのうち78%が完了した。											

事業名	唐津都市計画	新津都市計画見直し事業費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	78. 7				
(円)	25, 280, 000	0	△ 4,700,000	△ 166,000	20, 414, 000	19, 900, 550	対予算現額	97. 5				
目的			万都市計画マスク こ向けたまちづく		新し、併せて立すもの。	土地適正化計画	を策定するこ	とに				
事業内容及び実績	唐津市都市計画マスタープラン更新及び立地適正化計画策定業務 19,635,000円 都市計画マスタープラン(地域別まちづくり構想の更新、実現方策の検討) 立地適正化計画(まちづくりの方針・誘導方針、居住誘導区域、都市機能誘導区域、誘導施策、 防災指針の検討) 庁内策定部会、策定委員会の開催 事務費ほか 265,550円											
成果等 及び 達成度	令和6年度内の都市計画マスタープランの更新及び立地適正化計画の策定、公表に向けて、令和5年度は、外部委員で構成する策定委員会や、市民参加の地域別ワークショップ等を開催しながら、両計画の素案を作成した。なお、令和6年度は素案をもとに、住民説明会やパブリックコメントなどの手続きを経て、計画案をとりまとめ、都市計画審議会への諮問・答申を行う予定である。											

### (款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 都市計画総務費

都市計画課

事業名	市道明神線無電柱化事業費 執行率(%)									
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	50. 4		
(円)	169, 046, 000	0	△ 30, 000, 000	0	139, 046, 000	85, 125, 429	対予算現額	61. 2		
目的	防災面の向上 もの。	、快適な空間形	/成、城内地区(	の良好な景観形	成等を図るため	5、市道明神線	の無電柱化を	行う		
事業内容及び実績	事業年度       令和元年度から令和6年度まで         事業内容       無電柱化(共同溝埋設) L=280.0m、連系設備等工事費用負担金、引込設備補償         実績       電線共同溝設置工事ほか9件       78,448,700円         用地取得及び残地補償費       3,534,484円         電線類移設等の補償金       2,445,410円         復元測量業務       264,000円         事務費ほか       432,835円									
成果等 及び 達成度	令和4年度までの120.0mの電線共同溝設置工事に引き続き、令和5年度は280.0mの工事を施工し、全体延長400.0mの共同溝本体の埋設を完了した。また、舗装復旧工事、地上機用地の取得及び一部電線類移設の補償工事を実施し、市道明神線の無電柱化を進捗した。なお、電力・通信事業者が実施する委託及び補償工事について、令和5年7月豪雨災害の影響により、事業者が応急対応工事や復旧工事への対応が必要となったことから、当工事への着手が遅れたため、47,937,000円を令和6年度に繰り越した。									

事業名	都市公園施設	長寿命化事業費	骨 (繰越明許分)	)			執行率(%	%)			
予算額	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	99. 9			
(円)	44, 100, 000	_	_	_	44, 100, 000	44, 067, 100		99. 9			
目的			て、安全性の確保 特管理や更新を2		イクルコストの	縮減を図るた	め長寿命化計	画に			
事業内容及び実績	事業年度       令和2年度から令和6年度まで         事業内容       43,567,300円         公園遊具等更新工事       43,567,300円         鏡児童公園、松浦河畔公園、東の浜海浜公園、ひばりが丘公園       492,800円         本浦河畔公園芝生広場四阿設計業務       492,800円         事務費       7,000円										
成果等 及び 達成度	都市公園施設長寿命化計画に基づき、令和5年度は4箇所の公園において遊具等を更新し、全体計画31箇所のうち87%にあたる27箇所の公園施設の長寿命化が完了した。令和6年度は、4箇所の公園施設の長寿命化を行い、完了となる。なお、令和7年度から実施する新たな計画を令和6年度中に策定する予定である。										

# (款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 公園管理費

都市計画課

事業名	唐津城石垣再	築整備Ⅱ期(2	2工区)事業費	(継続費5年度	分)、同(逓次	て繰越分)	執行率(%	6)				
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99. 5				
予算額	93, 549, 000	0	0	0	93, 549, 000	93, 127, 271	対予算現額	99. 5				
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	00.0				
	47, 780, 713		_	_	47, 780, 713	47, 731, 503		99. 9				
目的	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	がはらみや欠落を将来に継承す		危惧すべき状況	になっているた	こめ、年次計画	により石垣修	復等				
	総事業費 67 (継続費5年	和元年度から令 4,970,061円( 度分及び逓次線 備工事(R4~R5)	継続費設定額	(継続費設定) 675,441千円、	執行率99.9%)	90, 673,	000円					
事業内容 及び実績	上段広場園路等整備工事 15,266,900円											
及 () 天順	上段四阿復旧建築工事 8,217,000円											
	西の浜仮置場撤去工事ほか4件 4,214,100円											
	石垣再築整	備工事施工監理	里業務ほか3件			17, 358,	000円					
	事務費ほか 5,129,774円											
成果等 及び 達成度	唐津城の石垣を修復することにより、史跡としての保全が図られると共に、来訪者の安全が確保された。 また、令和5年度をもって、平成20年度より16年間実施してきた当事業が完了した。 石垣のみならず、広場、櫓等の復旧整備も合わせて行ったことで、唐津城全体を保全し、将来への継承に つなげることができた。											

都市計画課

	工作 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (										
事業名	松浦河畔公園	再整備事業費、	同(繰越明許	分)			執行率(%	6)			
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.8			
予算額	8, 833, 000	0	0	0	8, 833, 000	8, 812, 920	対予算現額	99.8			
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	<b>补绳地</b> 柔篇類	07.5			
	9, 929, 000	_	_		9, 929, 000	9, 680, 000	対繰越予算額	97.5			
目的	松浦河畔公園の再整備計画を策定し、利用率の高い総合公園を目指すことで、地域の魅力を高めるもの。										
事業内容 及び実績	事業内容(現年度分)         民間活力導入可能性調査等業務       8,800,000円         業務期間 令和5年6月4日から令和6年3月15日まで         サウンディング事業者 アウトドア関連4者、飲食関連4者、ニュースポーツ関連3者、その他8者事務費         事務費       12,920円         事業内容(繰越明許分)         基本計画策定業務       9,680,000円										
成果等 及び 達成度	サウンディング調査において、合計19者の意見聴取を行い、事業化に向けての課題等を把握することで、 各エリアの整備・運営方針等を定め、公園に新たな機能を追加し、魅力を高めるための再整備基本計画を 策定することができた。なお、今後は基本計画や調査結果をもとに、ニュースポーツゾーンにおいて社会 実験や基本設計、公募資料の作成等を行い、市民協働や公民連携による利用率の高い総合公園を目指す。										

# (款) 土木費 (項) 住宅費 (目) 住宅管理費

建築住宅課

事業名	住宅・建築物	住宅・建築物耐震診断事業費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	増額補正額	対当初予算額	137. 0								
(円)	730, 000	0	0	270, 000	1,000,000	1, 000, 000	対予算現額	100.0				
目的		宅倒壊等の被害 助金を交付する		な住宅の整備を	促進するため、	耐震診断を行	うための登録	:建築				
	木造住宅耐震	診断派遣事業										
	対象者	昭和56年5月:	31日以前に建築	された木造戸類	<b>建て住宅の所有</b>	者						
	事業内容	事業内容 対象住宅へ耐震診断士(登録建築士)を派遣し、耐震診断を実施										
事業内容 及び実績												
	住宅耐震診断	等事業費補助金	<u>:</u>									
	補助対象 昭和56年5月31日以前に建築された非木造戸建て住宅の耐震診断に要する経費 事業内容 補助対象経費の3分の2以内の額とし、1戸当たり90,000円を限度として補助金を交付											
	実績 R3年度以降、実績なし											
成果等 及び 達成度	・ 面がない住宅においては、図面作成から診断結果説明まで受けることで、耐震性の確認ができ、需要が増											

# 9 消 防 費

#### (1) 常備消防費

市民の生命・身体及び財産を各種災害から守るため、常備消防として職員の教育及び訓練はもとより、 防火対象物施設への火災予防指導や市民の救命率向上のためのAED(自動体外式除細動器)使用を含め た普通救命講習会等を開催した。

消火活動及びその他災害活動については、令和5年度火災発生件数は35件、損害額は53,455千円であり、その他災害件数は136件であった。

また、浜玉町で大雨による土砂災害が発生し、県内応援協定に基づき4消防本部の応援のほか、警察、 自衛隊、消防団及び民間の協力団体等から応援を受け大規模な捜索活動を実施した。

これらの火災及び各種災害に対処するため、日常的な訓練のほか、消防学校での建物火災消火訓練施設 (AFT) を活用した訓練や土砂災害対応訓練等を実施し、災害対応技術の向上を図った。

救急活動については、令和5年度の救急出動件数は7,156件で前年度比189件の増となった。

救急救命士の資質維持のため、病院実習や指導救命士による計画的な訓練を実施するとともに、市民を対象としたAED講習を含む普通救命講習等を実施し、応急手当の普及啓発に努めた。令和5年度の実績は、普通救命講習等188回、受講者数4,644人であった。

また、平成30年度から整備を進めている自動心肺蘇生器については、6台目、7台目を北部分署及び中部分署に配備し、すべての救急車に配備が完了した。心肺停止事例は263件でその内5件の心拍再開に成功し、市民の救命率向上に大きく貢献した。

救助活動では、近年、複雑・多様化する災害現場の対応として、日頃の訓練による救助資機材の取扱いの習熟、技術の向上を図ることにより負傷者を安全に救出救助するとともに適切な応急処置を行い、生命及び身体の保護に努めた。また、浜玉町で発生した土砂災害を想定した土砂災害対応訓練及び他機関からの応援に対応するため受援訓練を実施し、今後の課題や対策の検討を行った。

予防行政については、防火対象物656件、危険物施設48件に対し立入検査等を行い、火災発生危険 箇所の排除及び改修を指導し、消防用設備等及び防火管理の不備の是正を図った。

その中でも、重大違反の防火対象物には行政指導を視野に入れ違反是正を進め、10件のうち5件が改善され、火災予防に努めた。

住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理については、広報や住宅防火診断、避難訓練及び防火講話等において普及啓発を図るとともに、市内の主要な道路の歩道橋及び大手ロセンタービルに住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理についての横断幕及び懸垂幕を掲揚することで、設置率の向上と維持管理の広報に努めた。また、火災予防運動の一環行事として、令和5年度全国統一防火標語に合わせた、小学生による自由な発想でイメージした火災予防ポスター制作の依頼、募集を行い、最優秀賞の1点をポスター化することで市民の防災に対する意識向上と消防行政への理解を深めてもらうよう努めた。

消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備のほか、聴覚及び言語障がい者からの119番通報にもより迅速に対応できるNet119緊急通報システムを適切に維持管理を行うことで、119番通報の受信から現場活動の終息までを円滑に対応し、安定的な消防救急活動に寄与した。

また、ドローン機器の適正な管理を行い、浜玉町で発生した土砂災害においても、ドローンを活用した効果的な情報収集を実現し、円滑な消防活動に寄与した。

### (2) 非常備消防費、消防施設費

消防ポンプ格納庫を建設したほか、老朽化した小型動力ポンプ及び小型動力ポンプ積載車等の更新、消防施設の補修並びに消防団員の安全対策装備の充実を図った。

### (3) 防災諸費

災害応急対策費では、令和5年7月災害時の初動期の活動、災害応急対策を迅速に行い、人命救助や被 災箇所の復旧、避難所運営などの円滑な活動に寄与した。

地域防災力向上促進事業費では、地域防災リーダーフォローアップ事業等を継続し、意見の共有を図るなど、急務となっている防災意識の高い社会づくりに寄与した。

また、共助の中心的役割を担う自主防災組織の育成等につなげることができた。

### (4) 常備消防施設費

高規格救急自動車2台を、安全性の確保及び機能維持のため更新した。

また、消防本部本署庁舎改修事業として、感染症対策に係る建築、電気設備、機械設備の各工事及び工 事監理業務を令和6年度までの継続事業として実施した。

### 令和5年度の消防統計

火災統計 (単位 件、千円)

区 分	発 生 件 数	損 害 額	1件当たりの損害額
建物	12	52, 833	4, 403
林野	2	39	20
車 両	5	273	55
船舶	1	93	93
その他	15	217	15
合 計	35	53, 455	

救急統計 (単位 件、人)

出動	件数	救急	件数	搬送人員		
年間 1日当たり		年間	1日当たり	年間	1日当たり	
7, 156	19. 6	6, 456	17. 7	6, 473	17.7	

救急事故種別統計 (単位 件、人)

	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院 搬送	その他	合計
出動 件数	27	5	20	364	52	36	1,041	21	62	4, 301	1, 168	59	7, 156
搬送 人員	2	0	9	324	50	35	977	14	41	3, 857	1, 163	1	6, 473

救助統計 (単位 件)

ı		火	.災	交通	水難	風水害	機械	建物	ガス	爆発	その他	合計
ı		建物	建物以外	文地	/1、美性	等自然	1茂1双	建物	酸欠等	漆光	事故	日刊
	出動件数	0	0	9	16	0	5	1	0	0	10	41

その他の災害統計

(単位 件)

	ガス 漏えい	油 漏えい	調査	即時 通報	その他 警戒	合計
出動件数	2	11	0	59	64	136

事業名	災害活動対策	災害活動対策費 執行率(%)										
予算額	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	99. 0				
(円)	19, 507, 000	5, 917, 000	0	174, 300	25, 598, 300	25, 158, 695	対予算現額	98. 3				
目 的		消防活動資器材		雙するために、2 安全かつ効果的								
	協定に基づく	応援要請に係る	負担金	5,917,000円								
	期間	令和5年7	7月10日~7月14	日 (5日間)								
	人員	延べ293	人									
	従事内容	令和5年7	7月豪雨災害には	おける行方不明	者捜索							
	出動機関	佐賀広域	消防局、伊万島	里・有田消防本語	部、鳥栖・三養	基地区消防事	務組合消防本	部、				
		杵藤地区	広域市町村圏約	組合消防本部								
	災害活動に関	する経費		7, 468, 928円								
事業内容	高圧ガス容	器再検査、酸素	ボンベ充填等									
及び実績	医薬材料費			5,542,955円								
	救急車内で	行う医療行為資	器材等									
	救急業務に関する経費 1,008,700円											
	救急救命士の病院実習経費等											
	備品購入費 3, 360, 929円 3, 360, 929円											
	現場用AED整備等											
	出席負担金ほか 1,860,183円 1,860,1850,1850,1850,1850,1850,1850,1850,185											
	原子力発電所所在消防連絡会総会経費等											
	令和5年7月豪雨災害では、佐賀県常備消防相互応援協定に基づき応援要請を行い、県内の各消防本部が所											
	有する特殊資機材を持ち寄り、単独では捜索困難であった大規模な災害現場において、連携して行方不明											
成果等	者捜索を行い、早期発見につながった。											
及び 達成度	   救急件数の増加や大規模自然災害が多発するなかで、今後も必要な消防活動資器材の整備を図り、県内消											
	防本部をはじめとした関係機関との連携を密に行い、市民の安全・安心に寄与していきたい。											
	DATER COSC OF BUINDED CARE DATE OF A CONTROL OF STATE OF											

当初子算額	事業名	当时	付防施設・設備整備費										
83,385,000   53,038,000   △ 1,935,000   △ 3,113,116   131,374,884   115,086,465   対子算理額   接続明許分   増額補正額   減額補正額   減充用額   子算現額   大算額   対縁起子算額   対縁起子算額   1   対象力ポンプ格剥庫建設費 (競木町広瀬)   12,549,900円   格納庫解体・建設費はか (肥前町高串)   32,952,700円   小型動力ポンプ購入費   21,021,000円   日知日中岐佐下・幸の元、七山専門・藤川・柳瀬   1   対象力ポンプ積載車購入費   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	争業名			\ \ der   - A der	No. 1. PR dee		N.I. felic store						
(代) 繰越明許分 増組補正額 減額補正額 減額補正額 次 万月銀額 大算額 39,738,000 — 39,738,000 39,725,000 対線超子算額 10 市民の安全・安心なくらしを守る地域防災の要である消防施設や設備を整備するもの。			補正予算額						84.				
39,738,000   39,725,000   39,725,000   対線越予算額   10   11   11   11   12   12   12   13   14   15   14   15   14   15   16   15   15   16   16   16   16					, ,			対予算現額	87.				
市民の安全・安心なくらしを守る地域防災の要である消防施設や設備を整備するもの。	(円)	繰越明許分	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額		対繰越予算額	100.				
消防ポンプ格納庫建設費 (厳木町広瀬) 12,549,900円 格納庫解除・建設費ほか (肥前町高車) 32,952,700円 小型動力ポンプ購入費 21,021,000円 8台 (浦、平田矢作、神集島、浜玉町砂子、浜玉町座主・戸房・草場、厳木町浦川内、相知町伊岐佐下・幸の元、七山樽門・藤川・柳瀬) 小型動力ポンプ稿裁車購入費 15,710,884円 2台 (呼子町受宕町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金 30,801,581円 令和5年度施工分 改良工事 13基 (唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基 (唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 破廃工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ボンブ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫建設費 (清越期許分) 39,725,000円 格納庫建設費 (唐房) 14,793,000円		39, 738, 000	_			39, 738, 000	39, 725, 000						
地質調査業務・格納庫建設費 (厳木町広瀬) 12,549,900円 格納庫解体・建設費ほか (肥前町高車) 32,952,700円 小型動力ポンプ購入費 21,021,000円 8台 (浦、半田矢作、神集島、浜玉町砂子、浜玉町座主・戸房・草楊、厳木町浦川内、相知町伊岐佐下・幸の元、七山博門・藤川・柳瀬) 小型動力ポンプ積載車購入費 15,710,884円 2台 (呼子町愛宕町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金 30,801,581円 令和5年度施工分 改良工事 13基 (唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基 (唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料整額 3基 (唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 改良工事 12基 (唐津1基、浜玉2基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 を終計工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 指別量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円	目 的	市民の安全・	安心なくらしを	守る地域防災	の要である消防	施設や設備を整	を備するもの。						
格納庫解体・建設費ほか(肥前町高串) 32,952,700円 小型動力ポンプ購入費 21,021,000円 8台(浦、半田矢作、神集島、浜玉町砂子、浜玉町座主・戸房・草場、厳木町浦川内、相知町伊岐佐下・幸の元、七山樽門・藤川・柳瀬) 小型動力ポンプ積載車購入費 15,710,884円 2台(呼子町愛岩町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金 30,801,581円 令和5年度施工分 改良工事 13基(唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基(唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基(北波多) 1,111,000円 改良工事 12基(唐津1基、浜玉2基) 10,839,400円 修繕工事 3基(唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町町田) 消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費(店房) 24,932,000円		消防ポンプ格	納庫建設費					45, 502, 600円	I				
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		地質調査業	務・格納庫建設	と費 (厳木町広	頼)	12, 549,	900円						
8台(浦、半田矢作、神集島、浜玉町砂子、浜玉町座主・戸房・草場、厳木町浦川内、相知町伊岐佐下・幸の元、七山樽門・藤川・柳瀬) ・・型動力ポンプ積載車購入費 15,710,884円 2台(呼子町愛宕町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金 30,801,581円 令和5年度施工分 改良工事 13基(唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基(唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基(北波多) 1,111,000円 改良工事 12基(唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基(唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事(内町) 14,793,000円 格納庫建設費(唐房) 24,932,000円		格納庫解体	<ul><li>建設費ほか</li></ul>	(肥前町高串)		32, 952,	700円						
相知町伊岐佐下・幸の元、七山樽門・藤川・柳瀬) 小型動力ポンプ積載車購入費 2台 (呼子町愛宕町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金 令和5年度施工分 改良工事 13基 (唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基 (唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円		小型動力ポン	プ購入費					21,021,000円					
小型動力ポンプ積載車購入費 2台(呼子町愛宕町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金		8台(浦、肖	半田矢作、神集	島、浜玉町砂子	一、浜玉町座主・	戸房・草場、鳥	厳木町浦川内、						
2台(呼子町愛宕町、呼子町片島) 消火栓新設等負担金 30,801,581円 令和5年度施工分 改良工事 13基(唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基(唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基(北波多) 1,111,000円 改良工事 12基(唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基(唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 開地測量・取得ほか(浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事(内町) 14,793,000円 格納庫建設費(唐房) 24,932,000円		相知問	丁伊岐佐下・幸	の元、七山樽門	・藤川・柳瀬)								
消火栓新設等負担金 30,801,581円 令和5年度施工分 改良工事 13基(唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基(唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基(北波多) 1,111,000円 改良工事 12基(唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基(唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町野田)消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事(内町) 14,793,000円 格納庫建設費(唐房) 24,932,000円		小型動力ポン	プ積載車購入費	Ť				15, 710, 884円					
令和5年度施工分 改良工事 13基 (唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基 (唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町野田)消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費(唐房) 24,932,000円		2台(呼子町	丁愛宕町、呼子	町片島)									
改良工事 13基 (唐津10基、浜玉1基、呼子2基) 12,449,800円 修繕工事 4基 (唐津3基、呼子1基) 1,999,800円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円		消火栓新設等	負担金					30, 801, 581円					
<ul> <li>(を繕工事 4基 (唐津3基、呼子1基)</li> <li>加圧ポンプ所更新 1基 (唐津)</li> <li>加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津)</li> <li>184,181円</li> <li>令和4年度施工分</li> <li>新設工事 1基 (北波多)</li> <li>改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基)</li> <li>(修繕工事 3基 (唐津11基、浜玉2基)</li> <li>(加圧ポンプ所更新 1基 (唐津12基)</li> <li>(原津13基)</li> <li>(原津13基)</li> <li>(原津13基)</li> <li>(原津13基)</li> <li>(月、100円)</li> <li>(原津13年)</li> <li>(日本12年)</li> <li>(日本13年)</li> <li>(日本14年)</li> <li>(日本14年)</li></ul>		令和5年度加	<b></b>										
加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 550,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 184,181円 令和4年度施工分 新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		改良工事	13基(唐津1	0基、浜玉1基、	呼子2基)	12, 449,	800円						
加圧ポンプ所電気料差額 3基 (唐津) 184, 181円 令和4年度施工分 1, 111,000円 1, 111,000円 改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町野田)消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 4,793,000円 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		修繕工事	4基(唐津3基	長、呼子1基)		1, 999,	800円						
令和4年度施工分 新設工事 1基(北波多) 1,111,000円 改良工事 12基(唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基(唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基(唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか(浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事(内町) 14,793,000円 格納庫建設費(唐房) 24,932,000円		加圧ポン	プ所更新 1基	(唐津)		550,	000円						
新設工事 1基 (北波多) 1,111,000円 改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		加圧ポン	プ所電気料差額	3基 (唐津)		184,	181円						
改良工事 12基 (唐津11基、浜玉1基) 10,839,400円 修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		令和4年度加											
修繕工事 3基 (唐津1基、浜玉2基) 1,309,000円 加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		新設工事	1基(北波多)	)	1, 111,	000円							
加圧ポンプ所更新 1基 (唐津) 2,358,400円 防火水槽工事費 2,050,400円 用地測量・取得ほか (浜玉町野田) 消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		改良工事	12基(唐津1	1基、浜玉1基)	10, 839,	400円							
防火水槽工事費2,050,400円用地測量・取得ほか(浜玉町野田)消防ポンプ格納庫建設費(繰越明許分)39,725,000円格納庫移転に伴う改修工事(内町)14,793,000円格納庫建設費(唐房)24,932,000円地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		修繕工事	3基(唐津1基	长、浜玉2基)	1, 309,	000円							
用地測量・取得ほか (浜玉町野田)39,725,000円消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分)39,725,000円格納庫移転に伴う改修工事 (内町)14,793,000円格納庫建設費 (唐房)24,932,000円地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		加圧ポン	プ所更新 1基	(唐津)	2, 358,	400円							
消防ポンプ格納庫建設費 (繰越明許分) 39,725,000円 格納庫移転に伴う改修工事 (内町) 14,793,000円 格納庫建設費 (唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		防火水槽工事	費				2,050,400円						
格納庫移転に伴う改修工事(内町) 14,793,000円 格納庫建設費(唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		用地測量·	取得ほか(浜田	医町野田)									
格納庫建設費(唐房) 24,932,000円 地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		消防ポンプ格	納庫建設費(網	越明許分)				39, 725, 000円					
地域防災の要である消防施設や設備を整備することにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な		格納庫移転	に伴う改修工事	耳 (内町)		14, 793,	000円						
		格納庫建設	費(唐房)			24, 932,	000円						
防体制の構築に寄与した。 なお、消防ポンプ格納庫建設費においては、肥前町高串の格納庫建設について、7月豪雨災害の対応													
	成果等 及び	先したことにより新格納庫の竣工時期か当初計画よりも遅れたため、既存格納庫の解体工事2箇所のうち   1箇所、3,575,000円を令和6年度に繰り越した。防火水槽工事費においては、鏡山添地区防火水槽設置工											
	達成度				だ内の着手が困難								

## (款)消防費 (項)消防費 (目)防災諸費

事業名	地域防災力向	上促進事業費					執行率(%	6)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	41.6		
(円)	3, 201, 000	0	0	0	3, 201, 000	1, 331, 982	対予算現額	41.6		
目的			り、自治会等に との支援を行う		織の設置促進及	なび防災リーダ	ーフォローア	゙ップ		
事業内容及び実績										
成果等 及び 達成度	第2次総合計画における目標値(令和6年度)及び達成度 自主防災組織設置数 目標値85組織に対し、令和5年度設置数が1組織で全体数80組織(達成度94.1%) 地域防災リーダー数 目標値150人に対し、令和5年度の受講者が11人で全体数112人(達成度74.6%) 既設組織の防災意識の高まりにより、防災訓練への補助件数は4件で、前年度よりも2件増加したが、執行 率は50%を下回った。自主防災組織や自治会との意見交換会、アンケート調査等を実施しており、引き続き制度活用の促進を図りたい。									

# (款)消防費 (項)消防費 (目)常備消防施設費

消防総務課

事業名	消防本部本署	庁舎改修事業費	<b>设</b> (継続費初年)	度分)			執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	15. 4
(円)	86, 259, 000	0	0	0	86, 259, 000	13, 271, 500	対予算現額	15. 4
目的	地域防災拠点もの。	としての機能を	*維持するため	、消防庁舎の愿	<b>染症対策及び業</b>	<b>終環境改善の</b>	ための改修を	行う
事業内容及び実績	総事業費(継 令和5年度実施 庁舎感染症		275,033千円		2, 787, 500円 484, 000円			
成果等 及び 達成度	令和5、6年度 工事を完了し		っる庁舎感染症	対策工事を実施	近し、本署庁舎⊄	)2、3階トイレ	、浴室及び洗	:面室

# 10 教育費

### (1) 教育総務費、小・中学校費

「生きる力に満ちた人をはぐくむ」という唐津市教育の基本理念を達成するため、児童生徒の社会の形成者として必要な基本的資質を養うとともに、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指して、各種施策を実施し、学校教育の充実・向上を図った。

まず、児童生徒の学力向上及びその基盤となる心を育成するため、学校・家庭・地域社会が連携し、地域の特色や人材を活かしながら児童生徒を支援する「いきいき学ぶからつっ子」育成事業に取り組み、自然環境や伝統文化への体験活動の実施、キャリア教育の推進等を行った。また、「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実を目指す授業改善の取組みについて学校間で共有し、公開授業や授業研究会を通して授業力の向上に努めた。

市内全小中学校の全ての通常学級や特別支援学級において、一人一人の個性や能力に応じた授業を実施するため、電子黒板や学習用パソコン等のICT機器を活用した教育を推進し、これからの国際社会で必須となる情報活用能力や表現力の向上を目指した取組みを行った。また、1人1台タブレット端末を活用し、インターネットでの調べ学習やデジタルドリルを使っての復習、学級閉鎖等による欠席者及び不登校児童生徒へのオンライン授業や健康状態の確認など、授業、授業外における多様な活用を実践した。

感染症対策等事業においては、学校保健特別対策事業補助金を活用し、換気対策物品を整備し、感染症流行下においても各学校が感染症の影響を最小限に抑えつつ学校教育活動を継続できる環境づくりを行った。また、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、スクール・サポート・スタッフを配置し学校教育活動の充実を図った。

いじめ等問題行動の未然防止や早期発見・早期対策及び被害の最小化、再発防止を図るための支援体制を構築するため、全小中学校でいじめ防止対策委員会を開催するとともに、いじめ等問題対策指導員を4校に配置した(指導員1人による巡回)。また、市内全小学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談の充実を図るとともに、適応指導教室スマイルにおいて、不登校児童生徒の学校復帰へ向けた適応指導を実施した。フッ素応用むし歯予防事業では、児童及び生徒を対象に歯質強化に極めて有効なフッ化物洗口を実施し、歯科保健水準の向上を図った。

次に、外国語によるコミュニケーション能力を高め、国際化時代に対応する人材の育成を図るために外国語指導助手を配置したほか、複式学級を支援するため補助教員を配置した。また、学校生活において食事・排泄などの介助や学習活動上の安全確保を必要とする児童生徒がいる学校に生活支援員81人及び看護師3人を配置した。中学校においては、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、10校に補習等のための指導員を配置し、放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶ楽しさを味わわせ、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図った。人権・同和教育においては、教職員の研修を実施し、指導の充実を図った。

また、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費などの援助を行い、児童生徒の教育の円滑な実施に努めた。

学校等の施設の整備については、児童数の増加等に伴う教室不足に対応するため実施してきた浜崎小学校増築事業が、令和5年度の建築工事をもって完了した。鏡中学校長寿命化改良事業においては、グラウンドに仮設校舎を建設し学校機能の移転を完了させ、次年度からの長寿命化改良工事に向け事業の推進を図った。さらに、小中学校特別教室空調設備整備事業では、中学校17校及び小学校5校(小中併設校)を対象に、基本設計を行うとともに次年度の設置工事に向け理科室・音楽室の実施設計を行った。

#### (2) 社会教育費

各公民館において、生涯学習及び社会教育活動の振興を図るため、家庭教育、青少年教育及び成人教育等の各種講座を実施し、生涯学習の向上に努めた。

青少年の健全育成については、放課後子ども教室推進事業を実施し、主に公民館を拠点として勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組んだほか、たくましいからつっ子育成事業では、体験学習、郷土学習や野外活動などの教室等を開催した。

青少年支援センターでは、祝日と年末年始を除き毎日開所し、臨床心理士、精神科医などの専門家による専門相談を実施するなど相談・支援の充実を図るとともに、青少年非行防止のための街頭補導を実施し、子ども達の健全育成を図った。

さらに、人権・同和教育の推進については、同和教育集会所の円滑な運営をはじめ、人権ふれあいセンターや公民館、企業などを中心に啓発活動を行い、市民の人権意識の向上に努めた。

このほか、社会教育施設整備については、令和4年11月に移転した旧西唐津公民館及び令和5年1月に廃止した旧勤労青少年ホーム並びに令和4年3月に廃止した旧厳木公民館支館の解体工事を行い、施設の維持管理費の削減を図った。その他の社会教育施設については、随時老朽・破損箇所の補修及び設備の改修を行うことで利用環境の充実を図った。

また、公民館類似施設整備補助金として、増改築15件、緊急修繕等8件に対する補助を行った。

近代図書館においては、利用者のニーズに沿った図書等の収集や資料の整備保存、インターネットでの図書の検索・予約サービス及びネットワークを利用した各市民センター管内の公民館図書室等での貸出や返却を実施するとともに、季節やその時々の話題をテーマにした展示や暮らしに役立つ各種コーナーを充実させた。また、家庭における読書活動の推進として、ブックスタート事業、絵本とこんにちは事業を実施した。将来的な拠点づくりとして「七つの島deおはなし会」や「絵本マルシェin肥前いろは祭り」等に司書を派遣するサービスを行った。美術ホールで開催された「はしもとみお彫刻展」の関連イベントとして、ブックトークや「どうぶつかくれんぼ」等のイベントを行った。

図書配送センターでは、広域的な図書サービスのさらなる充実を図り、学校での調べ学習や朝読書の充実を図るための学習支援セット(Kintoもあブック)の貸出を行った。

美術ホールでは、特別展「はしもとみお彫刻展」、学校等と連携した展覧会、所蔵品展、他課主管の展覧会など12回の展覧会を開催した。特に7月から9月にかけて開催した「はしもとみお彫刻展」には全国から11,083人の来場者があり、近代図書館開館以来初の1万人を超える集客となった。

1階ロビー等では、「近図プチこれくしょん」2回、「近図ぎゃらりぃ」1回を開催し、年間を通して 美術作品に親しむ機会を提供するとともに、出前講座や多様な展覧会関連イベントなど教育普及事業の充 実にも努めた。また、ホームページ上での動画による所蔵品紹介や展覧会紹介動画の作成・館内放映等も 引き続き行った。

相知図書館においては、利用者のニーズに沿った図書の収集を行った。また、相知図書館だよりの発行やテーマ展示などを行い利用の促進を図った。

文化財事業については、2か年事業として唐津くんち4番曳山「源義経の兜」の総塗替え修理に対して 曳山保存修理補助金を交付したほか、指定文化財の維持管理業務を36件、清掃等管理業務を13件実施 した。

また、伝統芸能等の保存団体に対し16件の補助を行い、地区に残る民俗芸能の保持に努めた。

さらに、古文書及び古唐津等の寄贈・寄託資料の整理作業を継続して行った。

埋蔵文化財調査では、宅地開発行為等に伴う市内遺跡の確認調査や調査報告書の作成を行い、宇木汲田 遺跡の概報作成を行った。このほか岸山川河川保全に伴う調査報告書の作成及び町田川河川改修に伴う調 査で出土した資料の整理作業を行った。

国史跡肥前陶器窯跡では、飯洞甕上窯跡及び同下窯跡の保存整備のため、下窯跡第5焼成室隔壁の補強 を目的とした保存処理並びに飯洞甕上・下窯跡の展示基本設計を実施した。 文化事業においては、市民の芸術文化の振興を図るため、市内各地区の文化団体が市民文化祭を実施し、 演奏会、バレエなど日頃の練習成果の発表や華道、盆栽、書道、絵画、写真等の作品展示を行ったほか、 世界最高峰のピアノを誰でも弾ける機会としてスタインウェイピアノリレーコンサートを、広く市民の方 に本市の伝統芸能に触れる機会の創出として唐津市伝統文化芸能祭を開催した。

和文化継承事業として歴史・文化講座では、旧大島邸において門松づくり教室を開催し、また、市内の小学校2校において、日本の伝統芸能で世界無形文化遺産にも選定されている「能楽」のワークショップを開催した。

また、補助金を交付した公益財団法人唐津市文化事業団が末盧館で稲作発祥祭、相知交流文化センターでサライピアノコンサート、市内小学校において芸術文化ワークショップを実施し、文化の振興及び普及啓発に努めた。

## (3) 保健体育費

スポーツ環境の充実とスポーツ交流の推進を図るため、相知天徳の丘運動公園社会体育館及び管理棟屋根ほか改修工事をはじめ、鎮西スポーツセンターテニスコート人工芝改修工事や各体育施設の補修、整備を年次的に実施し、スポーツを通じて、健康の保持と体力の増進を図り、明るく豊かで生きがいのある生活を営むため、生涯スポーツの推進、競技スポーツの強化、プロスポーツチームとの交流を実施した。

生涯スポーツの推進については、スポーツ推進委員連絡協議会によりスポレク祭を実施し、軽スポーツの普及に努めた。

競技スポーツの強化については、九州大会規模以上の大会への出場に対し奨励金を交付した。

主要なスポーツイベントとしては、市民体育祭が厳木地区を除き雨天等のため中止となった。市民種目別スポーツ大会、市民球技大会、10マイルロードレース大会、虹の松原カップ小学生クラブ駅伝競走については、予定どおり開催した。

プロスポーツとの交流については、ソフトバンクホークス、サガン鳥栖及び佐賀バルーナーズの観戦応援バスツアーを実施したほか、レオブラックスサガの3 x 3 バスケイベントを実施した。鳴戸部屋に対しては激励品の贈呈を行った。

令和6年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)に向けては、 リハーサル大会を開催し、大会運営の流れや本番会場の状況確認を行い、運営ノウハウの蓄積や課題の整理を行った。また、横断幕などの装飾や各種イベントにおける啓発グッズの配布により、本大会に向けた PRや機運醸成を図った。

学校給食費の適正な管理と保護者の負担の公平性を確保するため、これまで学校で行っていた給食費の 徴収・管理を市が行う「学校給食費の公会計化」を令和6年度から実施するための給食費管理システムを 導入した。

西部地区においては、「唐津市学校給食センター整備基本計画」に基づき、3給食センター(肥前、鎮西、呼子)及び自校方式の給食室を集約した西部学校給食センターが完成し、令和5年9月から学校給食の提供を開始したことで、市内全域において完全給食が実施できた。

# (款)教育費 (項)教育総務費 (目)事務局費

事業名	特別支援教育	費					執行率(%	%)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96. 7	
(円)	178, 504, 000	0	△ 5,879,000	0	172, 625, 000	172, 543, 791	対予算現額	100.0	
目的	特別支援教育を必要とする児童生徒に対し、障がいの状況に即応した支援を行い、適正な教育を実施するもの。								
事業内容及び実績	障がいのある 生活支援員 医療的ケア バス旅行引 特別支援教 特別支援学	生活支援員や看護師の配置による障がいのある児童生徒へのきめ細やかな指導等 章がいのある児童生徒の交流会、学習会を行っている唐津地区特別支援教育研究会への補助 生活支援員の配置に係る費用(小学校73人、中学校8人) 165,521,952円 医療的ケア看護職員の配置に係る費用(看護師3人、小学校配置) 6,334,703円 バス旅行引率等 272,978円 特別支援教育事業補助金 241,243円 特別支援学校在学児童生徒帰省費補助金 14,826円 通級教室消耗品、備品 158,089円							
成果等 及び 達成度	活支援員を11 員が増えてき	人、医療的ケ7 たこともあり、	で行う看護師特別支援教育	和4年度から101 を1人増員して西 を必要とする児 や教育環境の充	記置した。あわ 童生徒に対し、	せて、経験年数 より細やかな	女が長い生活!	支援	

# (款)教育費 (項)教育総務費 (目)事務局費

学校支援課

事業名	「いきいき学	ぶからつっ子」	育成事業費				執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 0
(円)	10, 021, 000	0	0	0	10, 021, 000	9, 817, 720	対予算現額	98. 0
目的		地域が連携し、 豊かな心で自ら				キャリア教育	の促進に向け	た取
事業内容 及び実績		いきいき学ぶか 校28校、中学校	- ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	に補助金を交付 17,720円	ţ		
成果等 及び 達成度	験活動やキャンフルエンザ 取組み後のアを持つことの 自ら意欲的に 令和5年度全国 ありますか」 を活かした体	新型コロナウリア教育等を展の影響を受けた ンケートからに 大切さなどを見 学ぼうとする児 国学力・学習状 の問いでは、世 験活動や地域を 、将来の唐津の	展開することがこ学校があっただ。 多くの人とは、多くの人とは、 多で の人とは は で で いる を 登 生 徒 の 育成 は 沢調査における	できた。しかしため、執行率が関わりながら様ま子が見られたこつながっていて地域や社会をた児童生徒の割の事業への取組	、令和5年度も 100%に達しな 々な体験活動を 。事業を実施する。 をよくするため 合が、本市は全	新型コロナウィかった。 ご通じて、認め いることで、学 に何をすべきか 全国を上回って	ルス感染症* られる喜び、 ぶ楽しさを知 かを考えること おり、地域の	やイ自信しり、

# (款)教育費 (項)教育総務費 (目)事務局費

事業名	スクール・サ	スクール・サポート・スタッフ配置事業費 執行率(%)									
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100. 2			
(円)	15, 324, 000	0	0	240, 374	15, 564, 374	15, 362, 130	対予算現額	98. 7			
目的	働き方改革のの。	働き方改革の一環として教員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを配置するもの。									
事業内容及び実績	業務内容 文書印刷・配布、来客・電話対応、給食業務補助、掲示物整理、学校行事等の準備補助、データ入力作業、宿題・テスト等採点補助、校内環境整備ほか教員の専門性を必要としない業務 実績(17校21人配置) 報酬 14,358,456円、社会保険料 240,374円、費用弁償 763,300円 外町小、長松小、西唐津小、佐志小、鏡山小、久里小、鬼塚小、成和小、大志小、浜崎小、相知小、北波多小、第一中、第五中、鏡中、鬼塚中、浜玉中配置基準 児童生徒数210人以上の学校。500人以上の大規模校(長松小、鏡山小、浜崎小、第一中)には2人										
成果等 及び 達成度	ロナウイルス	感染症の位置で	づけが5類に移行	ルス感染症対象 「したことに伴い より一層注力で	い、教員が行う	業務の支援が主	,				

# (款)教育費 (項)教育総務費 (目)事務局費

学校支援課

事業名	学力向上推進	事業費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	89.8
(円)	8, 891, 000	0	0	0	8, 891, 000	7, 981, 070	対予算現額	89.8
目 的		別最適な学びと 上を図るもの。	協働的な学び」	の推進により	、全市統一的な	は授業改善に取	り組むことで	児童
事業内容及び実績	先進校視察( 外国語教育指 外国語教育指 市内すべて	会の実施(講師 市教委職員2人 導力向上研修会 導力育成業務委 の小学5年生及 語テスト(GTEG	の旅費 高知市 の実施(講師が 託 び6年生を対象し	旅費) こ外国語4技能	233, 00 103, 30 2, 40 7, 642, 25 (「聞く」「読	60円 60円 50円	「話す」) を測	則る
成果等 及び 達成度	助言を受け、 テストの結果 したことによ しかしながら 市の小学校の	公開授業や授業 を基に洗い出さ り、児童生徒の 、令和5年度全 国語が0.02ポイ	研究会を通じれた課題を解え 対 英語力向上に「 国学力・学習状 ント、算数が(	て研鑽に努めた 快するための効 向けた取組みを 況調査(小6、 ).01ポイント、	而を招聘し、授 。また、外国記 果的な指導方法 学校間で共有す 中3対象)の結: 中学校の国語か 開し、子ども主	野教育において まについて検討 ることができ 果では、全国を 30.11ポイント	は、スコア型 する研修会を た。 ≥1とした場合 、数学が0.25	英語保、オイ

事業名	小学校特別教	室空調設備整備	事業費				執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95. 3	
(円)	1, 828, 000	0	0	0	1, 828, 000	1, 742, 774	対予算現額	95. 3	
目的	唐津市小中学校特別教室(理科室・音楽室)空調設備整備計画に基づき、特別教室のうち理科室及び音楽室に空調設備を整備するもの。								
事業内容及び実績									
成果等 及び 達成度		計業務を実施す		、令和6年度に	実施する併設小	学校5校の空調	設備設置工事	に向	

## (款)教育費 (項)小学校費 (目)学校建設費

教育総務課

事業名	浜崎小学校増築	2.					執行率(%	6)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92. 3	
(円)	521, 117, 000	0	△ 32,000,000	0	489, 117, 000	480, 871, 761	対予算現額	98. 3	
目的	児童数及び特別支援学級数の増加による教室数不足に対応するため、将来的な統廃合も見据え、教室棟を 増築するもの。								
事業内容及び実績	建築工事電気設備工事機械設備工事地盤改良工事下駄箱設置工事工事工事工事工事工事工事工事,對於設備工事工事工事工事,對於設備工事工事工事,對於政策工事,對於政策工作。	まほか ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	53,000,000円 31,020,000円 36,630,000円 36,269,200円 3,408,900円 8,690,000円 1,314,120円 539,541円						
成果等 及び 達成度	当初の事業計画どおり浜崎小学校増築事業が完了したことにより、児童数の増加に伴い不足する普通教室 3教室、特別支援学級数の増加への対応として3教室及び将来的な統廃合を見据えた2教室の合計8教室の増 設により、良好で快適な学習環境の整備を図ることができた。								

事業名	中学校特別教	室空調設備整備	<b>事業費</b>				執行率(%	%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95. 1		
(円)	12, 681, 000	0	0	0	12, 681, 000	12, 062, 226	対予算現額	95. 1		
目的		唐津市小中学校特別教室(理科室・音楽室)空調設備整備計画に基づき、特別教室のうち理科室及び音楽 室に空調設備を整備するもの。								
事業内容及び実績		市立の中学校17 里科室及び音楽			本・実施設計業	務 12, 062, 22	6円			
成果等 及び 達成度		計業務を実施すを図ることがで		、令和6年度に第	実施する中学校	17校の空調設備	請設置工事に「	句け		

# (款)教育費 (項)中学校費 (目)学校建設費

教育総務課

		A 11 . F 1 1 . 111 . 11		1				
事業名	鏡中学校長寿	命化改良事業費	<b>骨(継続費初年</b> 月	<b>要分)</b>			執行率(%	<u>(</u> 6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	81. 3
(円)	530, 440, 000	0	0	0	530, 440, 000	431, 012, 270	対予算現額	81.3
目的		及び増築工事を	そ朽化が著しく、 こ行うもの。ま7					
事業内容 及び実績		継続費設定) 度分) 仮設校舎) 事ほか	和8年度まで(約3,737,936千円 407,000,000 5,135,460 5,768,070	)円 仮設校名 )円 PC教室(	き引越業務 也機器移設業務 まか	ほか 3,875	, 300円 , 840円 , 600円	
成果等 及び 達成度			令和5年度中の					長寿

# (款)教育費 (項)社会教育費 (目)公民館費

事業名	公民館類似施	設整備補助金					執行率(%	%)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 2	
(円)	20, 236, 000	0	0	0	20, 236, 000	19, 673, 000	対予算現額	97. 2	
目的	地元で管理、	地元で管理、運営等を行っている公民館類似施設の改修等に対し補助するもの。							
事業内容及び実績	増改築 15 下久里公 公民館、 民館、柳 緊急を要し 山本荘苑	件 19,078,000 民館、山添公月 天徳閣、岸山公 頼公民館 た施設修繕、備	0円(補助率 3 民館、西新興町 公民館、千草野公 情品の購入 8件	た施設修繕及び 8/5、限度額 2 集会所、後川内 公民館、仁田野 - 595,000円( 民館、町田1丁	, 100千円) 公民館、八永公 尾公民館、八床 補助率 1/3、「	、民館、横田下 公民館、狩川 限度額 200千	山付公民館、 公民館、西木 円)	浦公	
成果等 及び 達成度	与することがまた、緊急を	できた。 要した雨漏り値		事等に補助する えなどの施設修 とができた。					

# (款)教育費 (項)社会教育費 (目)公民館費

生涯学習文化財課

事業名	公民館エレベ	ーター設置事業	費				執行率(%	%)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	72. 1
(円)	4, 536, 000	0	0	0	4, 536, 000	3, 270, 100	対予算現額	72. 1
目的	公民館のバリ	アフリー化を進	色めるため、エ	レベーターの設	置を行うもの。			
事業内容及び実績	実施施設 成和公民館 事業内容 実施設計業 アスベスト 建築確認検	務 含有分析調査	2, 882, 000円 375, 100円 13, 000円	J				
成果等 及び 達成度		設置に係る実施 進捗を図ること		な調査等を行う	ことにより、今	3和6年度に実施	を 重する設置工具	事に

生涯学習文化財課

事業名	東唐津公民館	長寿命化改良事	<b>菲業費</b>				執行率(%	%)		
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	102.0		
(円)	4, 985, 000	0	0	99, 200	5, 084, 200	5, 084, 200	対予算現額	100.0		
目的		築後39年が経過し、老朽化が著しい東唐津公民館の長寿命化改良工事を行うとともに、施設のバリアフ 一化を進めるため、エレベーターの設置を行うもの。								
事業内容及び実績	アスベスト含 ダイオキシン 長寿命化改良	類等分析調査	- レベーター設	置に伴う施工手	法調査	1,672,000円 497,200円 2,915,000円				
成果等 及び 達成度					F度に実施する。 事に向けて事業					

# (款)教育費 (項)社会教育費 (目)公民館費

生涯学習文化財課

事業名	外町公民館移	外町公民館移転改築事業費 執行率(%)							
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用	額	予算現額	決算額	対当初予算額	68. 1
(円)	20, 921, 000	0	0	△ 99	9, 200	20, 821, 800	14, 237, 300	対予算現額	68. 4
目的	建築後47年が経過し、老朽化が著しい外町公民館の移転改築を行うもの。								
事業内容及び実績	アスベスト含有分析調査       3,630,000円         社会体育館解体設計       2,310,000円         敷地測量       3,300,000円         地質調査       4,997,300円								
成果等 及び 達成度	社会体育館の跡地に新しい公民館を建設するに当たり、社会体育館解体工事設計業務や敷地測量業務等を実施し、事業の進捗を図った。 令和6年度は、社会体育館解体及び解体に伴う各種業務並びに新公民館建設に向けた基本設計等を実施、 令和9年度中に新公民館が完成、移転の予定である。その後、現在の建物を解体し駐車場整備を行うため、 全ての整備が完了するのは令和11年度の予定である。								

近代図書館

事業名	近代図書館施	設等整備費					執行率(%)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	72.6
(円)	47, 685, 000	0	△ 9,000,000	△ 3,851,670	34, 833, 330	34, 624, 700	対予算現額	99. 4
目的	建築後30年が経過した近代図書館の老朽箇所を改修するもの。							
事業内容及び実績	駐車場外灯取 非常用発電機	整備		31, 900, 00 1, 276, 00 1, 290, 30 158, 40	0円 0円			
成果等 及び 達成度	美術ホールアスベスト含有分析調査 158,400円 経年劣化及び供給部品の生産終了に伴うエレベーター改修等により、より安全で快適な管理を行えるようになった。					安全で快適な	図書館運営・	施設

# (款)教育費 (項)社会教育費 (目)文化振興費

生涯学習文化財課

事業名	歴史遺産保存	整備事業費、同	引 (繰越明許分)	)			執行率(%	%)
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	4. 1
予算額	69, 169, 000	0	0	0	69, 169, 000	2, 808, 013	対予算現額	4. 1
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	2, 035, 000	_			2, 035, 000	2, 035, 000	刈 溁 越 丁 异 領	100.0
目的		史跡・建築物等、重要な歴史遺産に関して、調査・保存・整備を行い、歴史・文化の香る唐津を創出し、 郷土愛の育成、文化的生活の向上に寄与するもの。						
事業内容及び実績	事業内容(現年度分) 飯洞甕上・下窯跡展示基本設計業務 2,530,000円 肥前陶器窯跡保存検討委員会開催費、鵜殿石仏群現地指導費ほか 278,013円 事業内容(繰越明許分) 飯洞甕下窯跡第5焼成室隔壁等補強業務 2,035,000円							
成果等 及び 達成度	今回の補強を目的とした保存処理では、かつての窯の形態を最も想起しやすい重要部分の補強作業を実施し、露出展示に耐え得る十分な強度を得ることができた。また、隣り合う飯洞甕上・下窯跡の展示に係る設計では、具体性の高い基本設計を作成することができた。 飯洞甕下窯跡の覆屋建設に関しては、文化庁の補助事業での実施を計画していたが、第5次申請(令和6年2月交付決定)で採択されたことから、令和6年度に63,560,000円を繰り越した。					係る		

生涯学習文化財課

事業名	歷史民俗資料	歴史民俗資料館保存整備事業費 執行率(%)							
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98. 5	
(円)	19, 826, 000	0	0	0	19, 826, 000	19, 533, 850	対予算現額	98. 5	
目的	老朽化により平成15年度から休館中の歴史民俗資料館(旧三菱合資会社唐津支店本館)の修理を行い、現 地での保存及び活用を図るもの。								
事業内容及び実績	建物本体に旧三菱合資会旧三菱合資会	旧三菱合資会社唐津支店本館保存整備支援業務 8,800,000円 建物本体に関する図面・写真・文献等の史資料の調査・分析、活用方針の検討 旧三菱合資会社唐津支店本館保存整備事業耐震補強案作成業務 9,900,000円 旧三菱合資会社唐津支店本館保存整備委員会に要する費用 828,020円 委員報償費及び旅費 消耗品費 5,830円							
成果等 及び 達成度	建物本体に関する図面、文献、写真等の史資料を収集し、修理及び部材の変遷等の調査、整理を行った。 また、基本設計に先立ち、壁の内部構造や小屋裏など建物内部の調査を行い、構造診断の解析モデルを更 新して耐震補強案を作成する必要が生じたため、基本設計を令和6年度へ計画変更し、修理専門部会で耐 震補強案について検討、協議した。保存整備委員会では、公開活用にあたって必要な設備等について整理 検討を行い、令和6年度以降の保存修理と活用の基本方針を確認することができた。								

## (款)教育費 (項)保健体育費 (目)保健体育総務費

スポーツ振興課

事業名	各種競技大会	各種競技大会等出場奨励費 執行率(%)							
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	50. 7	
(円)	10, 500, 000	0	△ 5,000,000	0	5, 500, 000	5, 321, 000	対予算現額	96. 7	
目的		市民のスポーツ及び文化における向上心を育み、スポーツと文化の振興を図るため、スポーツ及び文化芸 術大会に出場する者等に対して奨励金を交付するもの。							
事業内容及び実績	奨励金単価(1人当たり)     九州大会 5,000円、西日本大会 8,000円、全国大会 10,000円、国際大会 30,000円 交付実績     830人 5,321,000円(令和4年度 681人 4,380,000円) 内訳     九州大会 575人 2,875,000円、西日本大会 52人 416,000円 全国大会 203人 2,030,000円、国際大会 0人								
成果等 及び 達成度	奨励金を交付することで、上位大会への出場を目指す選手の意欲や競技力の向上に貢献した。 これまでは九州大会以上の大会で開催地を基準に交付していたものを、上位大会への出場を奨励するもの として、大会規模の基準により奨励金を交付した。 交付実績としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、中止していた各種競技大会が再開した ことで、交付対象者が149人増加した(前年度比22%増)。								

事業名	プロスポーツ	プロスポーツ交流事業費 執行率(%)							
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.4	
(円)	1, 890, 000	対予算現額	100.0						
目的		総合交流宣言を締結しているプロスポーツ5団体と連携し、スポーツ振興、相互発展、地域活性化及び青 少年の健全育成を目的としたスポーツ交流事業を実施するもの。							
事業内容及び実績	福岡ソフトバンクホークス総合交流事業負担金(観戦応援バスツアー) 100,000円 サガン鳥栖総合交流事業負担金(観戦応援バスツアー) 30,000円 レオブラックスサガ3x3BASKETBALL ゲームイベント 1,000,000円 鳴戸部屋応援事業(激励品贈呈) 108,000円 佐賀県プロバスケットボール振興協議会負担金 220,000円 佐賀バルーナーズ総合交流事業負担金(観戦応援バスツアー) 440,000円								
成果等 及び 達成度	観戦応援バスツアーでは、福岡ソフトバンクホークスに359人、サガン鳥栖に110人、佐賀バルーナーズに71人の参加があり、実際にプロスポーツに触れ合う機会を提供することでスポーツ振興に寄与した。鳴戸部屋との関係が強化され、公開稽古や少年相撲大会などの交流事業につながり、地域活性化や青少年の健全育成に貢献した。 レオブラックスサガとの間ではイオン唐津において3x3イベントを実施することで、競技を通した市民との交流機会を創出するとともに、チームの認知度向上を図った。								

# (款)教育費 (項)保健体育費 (目)保健体育総務費

国スポ・全障スポ総務課

事業名	国民スポーツ	大会・全国障害	<b>手者スポーツ大</b>	会開催準備費			執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83. 1
(円)	603, 761, 000	0	△ 99, 238, 000	0	504, 523, 000	501, 606, 356	対予算現額	99. 4
目的				/大会・全国障害		会(SAGA2024)	に向け、リク	`\-
事業内容及び実績	会計年度任用職員報酬等人件費 64,558,466円 庁用車維持管理費、消耗品費 1,244,144円 唐津市派遣職員給与等負担金(玄海町より1名派遣) 6,486,746円 SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会負担金 429,317,000円 主な内訳 リハーサル大会運営費 388,734,195円 横断幕及びノベルティグッズ作製等 12,261,432円 かごしま国体視察、国体事業報告会出席ほか旅費 6,547,084円 輸送計画等策定業務 5,022,169円							
成果等 及び 達成度	唐津市で開催される正式競技のリハーサル大会を開催することにより、大会運営の流れや本番会場の状況確認を行い、本大会を万全の状態で迎えるため、運営ノウハウの蓄積や課題の整理を行った。また、かごしま国体の視察を行い、観覧者の入場制限がないコロナ禍前と同様の大規模な競技会の運営に関する実務を学んだ。そのほか、イベントにおける啓発グッズの配布等の大会PRや機運醸成を図った。						営に	

事業名	体育施設整備	費(市民センタ	'一地域振興分	を除く)			執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	93. 1
(円)	410, 229, 000	0	△ 12, 137, 000	163, 130	398, 255, 130	381, 994, 954	対予算現額	95. 9
目的			利用者の利便性なび競技力向上を	生の向上及びよ を図るもの。	り良いスポーツ	/環境づくりを	進め、市民の	健康
事業内容及び実績	松浦河畔公 相知天徳の 鎮西スポー その他の体育 北波多中学	園駐車場他整備 丘運動公園社会 ツセンター体育 施設 校屋外運動場で 動公園テニスニ	等工事 法体育館他改修等	事	競技会場 28,084,100円 150,290,800円 72,440,500円 33,000,000円 30,734,000円 67,445,554円			
成果等 及び 達成度	社会体育施設の維持補修及び改修を行ったことにより、市民がスポーツに親しむ環境が整備され、スポーツの振興並びに施設利用者の利便性が向上した。また、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)競技会場の整備については概ね完了しが、資材調達の遅れにより鎮西スポーツセンターの園路灯他改修工事12,870,000円を令和6年度へ繰り起した。					した		

## (款)教育費 (項)保健体育費 (目)文化体育館費

スポーツ振興課

事業名	唐津市文化体	唐津市文化体育館整備費 執行率(%)						
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	78. 0
(円)	38, 031, 000     0     \( \triangle 5, 350, 000 \)     0     32, 681, 000     29, 672, 526							90.8
目的	唐津市文化体の。	唐津市文化体育館の老朽化が進んでいることから、利用者の利便性を向上させるために改修整備を行うも の。						
<b>声</b> 类	2 11=11 14 11	技場暗幕取替業 技場床改修工事			5, 280, 000円 12, 595, 000円			
事業内容及び実績	文化体育館屋その他施設改	外階段手摺他塗 修工事ほか	送装改修工事		4, 950, 000円 6, 847, 526円			
成果等 及び 達成度	本市の主要な体育・文化施設である唐津市文化体育館の改修整備を行い、市民がスポーツに親しむ環境が整備され、スポーツの振興並びに施設利用者の利便性が向上した。また、今回の改修工事をもって、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)を受け入れる環境が整った。							

## (款)教育費 (項)保健体育費 (目)給食センター費

事業名	学校給食管理	費					執行率(%	6)
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	66. 7
(円)	13, 117, 000	0	△ 1,886,000	0	11, 231, 000	8, 746, 281	対予算現額	77. 9
目的		緊急用の保存食購入のほか、学校給食を安全かつ円滑に実施するため、衛生管理等を行うもの。また、学 校給食費の公会計化へ向けたシステム導入等を行うもの。						
事業内容及び実績	給食費管理システムの導入 3,300,000円 緊急用保存食の購入(西部学校給食センター配食校(23校)及び自校方式学校(9校)分) 1,966,032円 ノロウイルス等検査手数料ほか 3,480,249円							
成果等 及び 達成度	令和6年度からの学校給食費の公会計化に向け、給食費管理システムの導入や条例整備等を行ったことにより、教員の業務負担軽減のほか、給食費負担の公平性の確保や適正な管理のための準備を行うことができた。また、給食の提供ができない場合の緊急用保存食を購入したほか、学校給食従事者への定期的な細菌検査を実施することで、安全・安心な学校給食の提供を行うことができた。							

# (款)教育費 (項)保健体育費 (目)給食センター費

教育総務課

事業名	西部学校給食	センター(仮称	(、) 整備事業費	(継続費2年度	分)、同(逓約	欠繰越分)	執行率(%	6)
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97. 2
予算額	2, 234, 720, 000	0	0	0	2, 234, 720, 000	2, 171, 396, 370	対予算現額	97. 2
(円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	86 5
	229, 117, 698	_	_	_	229, 117, 698	198, 165, 000	N 床	80. 5
目的	老朽化した肥るもの。	前、鎮西、呼子	の各給食セン	ター及び自校給	食施設を統合し	)、新たに給食	センターを整	備す
				継続費設定) 〔 3, 099, 444千	円、執行率96.	9%)		
	建築工事		29, 160, 500円	外構工事		66, 676, 500	円	
	電気設備工事		06, 900, 000円	光ケーブル	レ敷設工事ほか	3, 529, 900	円	
事業内容 及び実績	厨房機器設	備工事 55	50,000,000円	工事監理	業務	4, 554, 000	円	
	給排水衛生	設備工事 34	46,720,000円	消防設備設置業務ほか		3, 055, 470	円	
	空調換気設	備工事 36	80,800,000円					
	(逓次繰越分)	)						
	空調換気設	備工事	90, 200, 000円	給排水衛生	<b>上設備工事</b>	86, 680, 000	円	
	外構工事		15,840,000円	建設監理美	<b>業務</b>	5, 445, 000	円	
成果等 及び 達成度								

# 11 災害復旧費

令和5年7月豪雨等により被災した農地・農業用施設、林業施設及び土木施設等の復旧事業を実施し、 その機能回復に努めた。

# 災害復旧費の主な事業内容

事 業 名	決 算 額	事 業 内 容
令 和 5 年 災 害 農地・農業用施設復旧費	円 287, 870, 059	農業用施設災害復旧事業 施設21箇所
令 和 5 年 災 害 農地・農業用施設復旧費 (令和3年発生災)	46, 234, 100	農地・農業用施設災害復旧事業 農地10箇所、施設11箇所
令 和 4 年 災 害 農地・農業用施設復旧費 (繰 越 明 許 分)	75, 150, 374	農地・農業用施設災害復旧事業 農地17箇所、施設10箇所
令 和 4 年 災 害 農地・農業用施設復旧費 (令和3年発生災) (繰 越 明 許 分)	105, 543, 000	農業用施設災害復旧事業 施設8箇所
令 和 3 年 災 害 農地・農業用施設復旧費 ( 事 故 繰 越 分 )	54, 860, 600	農地・農業用施設災害復旧事業 農地3箇所、施設5箇所
令 和 5 年 災 害林 業 施 設 復 旧 費	221, 905, 545	林業施設災害復旧事業 林道420箇所
令 和 3 年 災 害 林 業 施 設 復 旧 費 ( 事 故 繰 越 分 )	19, 589, 900	林業施設災害復旧事業 林道1箇所
令 和 5 年 災 害漁 港 施 設 復 旧 費	1, 760, 000	漁港施設災害復旧事業 漁港1箇所
令 和 5 年 災 害土 木 施 設 復 旧 費	748, 589, 344	道路災害復旧事業 道路33箇所
令 和 4 年 災 害 土 木 施 設 復 旧 費 ( 繰 越 明 許 分 )	191, 784, 841	河川・道路災害復旧事業 河川7箇所、道路50箇所
令 和 4 年 災 害 土 木 施 設 復 旧 費 (平成 3 0 年発生災) ( 繰 越 明 許 分)	154, 282, 700	道路災害復旧事業 市道新木場・高串線(地すべり)
令 和 3 年 災 害 土 木 施 設 復 旧 費 ( 事 故 繰 越 分 )	50, 734, 900	道路災害復旧事業 道路2箇所
令 和 5 年 災 害公 園 施 設 復 旧 費	4, 807, 000	公園施設復旧事業 公園1箇所(尾の上公園)

	事	業	名		決	算	額	事	業	内	容
		5 年 設 復		害費		1, 60	円 6, 000	観光施設復旧事業 猪堀の滝遊歩道災 <sup>2</sup>	害復旧測量詞	設計委託	
し尿	処理	1 年 !施設 明 許	復旧			2, 80	5, 000	し尿処理施設災害復 資源化室シャッタ <sup>、</sup>	旧事業 一復旧工事]	1箇所	
公立		1 年 施設 明 許	復旧			7, 15	0,000	公立学校施設復旧事 東唐津小学校屋上	業 防水復旧工 <sup>및</sup>	事1箇所	
社会	教育	1 年 <sup>*</sup> 施設 明 許	復旧			4, 06	7, 800	社会教育施設復旧事 高島公民館屋根及	業 び軒樋災害	復旧工事1箇所	
文	化 貝	3 年 才 復 繰 越	旧	害費)	1	6, 69	0, 000	文化財復旧事業 特別史跡名護屋城	跡並陣跡法。	面災害復旧工事	<b>郢</b> 1箇所
防ジ	和 <i>4</i>	設 復	旧	害費)		7, 15	0,000	防災施設復旧事業 向島ヘリポート災	害復旧工事」	1箇所	

# 12 公 債 費

公債費では、通常の市債償還のほか、円滑な資金調達のため一時借入を実施した。

# 公債費の主な事業内容

	事	業	名	決	算	額	事	業	内	容
公		債	費	8, 23	1, 38	円 6, 333	定期市債償還元金 一時借入金利子	・利子		8, 231, 252, 976円 133, 357円

# 13 予備費(市民センター地域振興分)

(款) 予備費 (項) 予備費 (目) 予備費

行政改革課

事業名	予備費(市民	ピセンター地域	或振興分)	)					執行率(%	(o)	
予算額	当初予算額	増額補正額	減額補	i 正額 デ	充用額	予算現額	決算物	預 対当	初予算額	81. 9	
(円)	14, 400, 000	(	)	0	0	14, 400, 00	00 11, 786	5,609 対う	算現額	81. 9	
目的		E活や活動に額できるよう予算					ターにおい	て、緊急性	と必要性	から	
	【普通財産管市有地の危		(款) 総務	<b>5費</b> (項)	総務管理	費(目)	財産管理費		(単位	円)	
	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計		
	93, 500	0	0	495, 000	0	0	0	0	588	3, 500	
	(1件)	(0件)	(0件)	(1件)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	(	(2件)	
	【観光施設等 観光施設の	管理費】 ( 修繕、照明等	<ul><li>(款) 商工</li><li>取替工事</li></ul>		商工費 定及び伐採		施設管理費	•	(単位	円)	
	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計		
	1, 095, 600	1, 722, 919	0	0	984, 500	301, 400	1, 455, 300	1, 402, 500	6, 962	2, 219	
	(5件)	(7件)	(0件)	(0件)	(2件)	(2件)	(3件)	(7件)	(2	26件)	
事業内容	【道路維持改良費】 (款)土木費 (項)道路橋りょう費 (目)道路橋りょう維持 市道の草刈、水路浚渫、側溝清掃及び反射鏡補修									円)	
みび実績	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計		
	0	0	0	99, 000	742, 500	858, 000	0	0	1, 699	), 500	
	(0件)	(0件)	(0件)	(1件)	(3件)	(2件)	(0件)	(0件)	(	(6件)	
	【体育施設整備費】 (款)教育費 (項)保健体育費 (目)体育施設費 体育施設の修繕、支障木等伐採等 (単位 円)										
	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計		
	176, 000	0	624, 690	1, 069, 200	71, 500	595, 000	0	0	2, 536	5, 390	
	(1件)	(0件)	(5件)	(4件)	(1件)	(3件)	(0件)	(0件)	(1	14件)	
	《合計		1						(単位	円)	
	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計		
	1, 365, 100				1, 798, 500		1, 455, 300	1, 402, 500	11, 786		
	(7件)	(7件)	(5件)	(6件)	(6件)	(7件)	(3件)	(7件)		18件)	
	※ 予算執行	については、	予備費が	ら各款事	業に充用し	て、市民セ	ンター各課	において気	<b>ミ施</b>		
成果等 及び 達成度	光施設、体育	食となった箇所 育施設においこ )、地域住民の	ては器具	修繕や敷地	内の支障木	犬採等を下	方民センタ <b>ー</b>	ーにおいて	迅速に対		

# Ⅳ 特 別 会 計

# 1 国民健康保険

令和5年度国民健康保険特別会計の決算状況は、歳入15,355,032,964円、歳出14,915,099,458円で、歳 入歳出差引額は、439,933,506円となり、同額を翌年度へ繰り越した。

### 歳入

総収入額のうち、国保税が2,644,311,317円で17.22%、国県支出金が総額10,992,542,000円で71.59%、 繰入金が1,448,482,359円で9.43%、令和4年度からの繰越金が242,254,367円で1.58%であった。

### 歳出

総支出額のうち、保険給付費が10,470,302,409円で70.20%を占め、事業費納付金が3,819,955,821円で25.61%、保健事業に係る費用が102,288,437円で0.69%であった。

## 国民健康保険特別会計決算状況

事業名	決算額	費 目	源 金 額
	П	国民健康保険税	2, 644, 311, 317
		一部負担金	0
		使用料及び手数料	1, 174, 400
		国庫支出金	386, 000
	14 015 000 450	県支出金	10, 992, 156, 000
国民健康保険	14, 915, 099, 458	財産収入	27, 744
		繰入金	1, 448, 482, 359
		繰越金	242, 254, 367
	諸収入		26, 240, 777
		승 計	15, 355, 032, 964

翌年度繰越額 439,933,506 円

## 国民健康保険税の収入状況

## 一般被保険者国民健康保険税

	区 分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現	医療給付	1,883,385,766 円	1,806,097,857 円	0 円	77, 287, 909 円	95. 90 %
年課	後期高齢	576, 063, 634	552, 806, 383	0	23, 257, 251	95. 96
税	介護納付	211, 723, 700	200, 982, 424	0	10, 741, 276	94. 93
滞	医療給付	192, 338, 238	58, 747, 998	15, 301, 037	118, 289, 203	30. 54
納繰	後期高齢	54, 130, 275	16, 905, 087	4, 111, 943	33, 113, 245	31. 23
越	介護納付	29, 119, 441	8, 771, 568	2, 399, 875	17, 947, 998	30. 12

## 退職被保険者等国民健康保険税

	区 分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現	医療給付	o <sup>円</sup>	0 円	0 円	o <sup>円</sup>	_ %
年課	後期高齢	0	0	0	0	_
税	介護納付	0	0	0	0	_
1滞	医療給付	496, 386	0	69, 432	426, 954	0.00
納繰越	後期高齢	135, 293	0	19, 525	115, 768	0.00
越	介護納付	138, 270	0	23, 360	114, 910	0.00

<sup>※</sup>上表「国民健康保険税の収入状況」の収入済額には、還付未済額を含む。

#### 保健事業の状況

### 特定健康診査

健診受診率向上のためにナッジ理論に基づいた受診勧奨対象者の抽出を行い、勧奨通知の発送、電話 や訪問による受診勧奨を実施した。また、個別健診受診率向上のため、医療機関と連携した受診勧奨を 実施した。特に、健診のリピーター率の向上が重要であるため、健診受診後の保健指導を丁寧に行い、 継続受診の必要性を伝える。

年 度	対象者(A)	受診者(B)	受診率 (B/A)	目標値 国(市町国保)
令和4年度	18, 119 人	6, 254 人	34. 5 <sup>%</sup>	60. 0 <sup>%</sup>
令和5年度	17, 181	6, 372	37. 1	60. 0

### 特定保健指導

メタボリックシンドローム該当者等を対象にした特定保健指導を効果的に実施するため、対象者台帳を作成し、保健指導の進捗管理を行った。また、健診結果がより改善できるよう、保健指導技術研修会を実施した。今後も、PDCAサイクルに基づいた事業の評価を行い、好事例の横展開や事業内容の改善を行う。

年 度	対象者(A)	受診者(B)	受診率(B/A)	目標値 国(市町国保)
令和4年度	599 人	452 人	75.5 <sup>%</sup>	60.0 %
令和5年度	587	305	52. 0	60. 0

<sup>※</sup>令和5年度分については、令和6年8月末速報値を使用

### (参考)

### 国民健康保険の状況

年度 区分	令和4年度	令和5年度
国保世帯数	世帯 16, 145	世帯 15,629
被保険者数	人 26, 435	人 25, 103
一人当たり保険給付費	円 401, 468	円 413, 894
一人当たり医療費	円 472, 848	円 483, 972

<sup>※</sup>上表は、保険年金課国民健康保険事業状況報告書(事業年報)の数値による。

# 2 後期高齢者医療

令和5年度後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入1,862,390,295円、歳出1,856,795,000円で、 歳入歳出差引額は5,595,295円となり、同額を翌年度へ繰り越した。

### 歳入

総収入額のうち、後期高齢者医療保険料が1,278,381,959円で68.64%、使用料及び手数料が247,900円で0.01%、一般会計からの繰入金が572,567,598円で30.74%、令和4年度からの繰越金が7,813,737円で0.42%、諸収入が3,379,101円で0.18%であった。

### 歳出

総支出額のうち、後期高齢者医療事務費が 9,557,718円で0.51%、徴収事務費等が5,058,457円で 0.27%、広域連合納付金が1,838,347,610円で99.01%、保健事業費が2,483,815円で0.13%、諸支出金が 1,347,400円で0.07%であった。

### 後期高齢者医療特別会計決算状況

	事	業	名	ě	<b>中</b> 算	額	費	財目	源 金 額
	後期高齢者医療			円			1,278,381,959 円		
					使用料及び	手数料	247, 900		
22		₩	1 050 705	705 000	繰入金		572, 567, 598		
1友	刔 向	1 图中	在 区;	式	1, 856, 795, 000	繰越金		7, 813, 737	
			諸収入 合 計		3, 379, 101				
					合	計	1, 862, 390, 295		

翌年度繰越額 5,595,295 円

※各市町が令和5年度の出納整理期間に収納した令和5年度の保険料は、令和6年度に繰り越し、令和6年度保険料負担金(過年度分)として、広域連合へ各市町から納付する。

### 後期高齢者医療保険料の収入状況

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
特別徴収 現年度分保険料	773, 514, 200 <sup>円</sup>	774, 494, 200 <sup>円</sup>	0 円	△ 980,000 円	100. 13 %
普通徴収 現年度分保険料	505, 247, 400	499, 679, 195	0	5, 568, 205	98. 90
現年度分合計	1, 278, 761, 600	1, 274, 173, 395	0	4, 588, 205	99. 64
普通徴収 過年度分保険料	8, 019, 190	4, 208, 564	487, 043	3, 323, 583	52. 48

<sup>※</sup>上表「後期高齢者医療保険料の収入状況」の収入済額には、還付未済額を含む。

### 保健事業の状況

### 健康診査

健診受診率向上のために、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取組の一環として、市内の 各公民館等で実施している通いの場での健康教育や家庭訪問において、健診の受診勧奨及び保健指導を実 施した。

後期高齢者の健診については、個別医療機関での受診となるため、医師会等にも引き続き協力を依頼し 受診率の向上に努める。

年 度	対象者(A)	受診者(B)	受診率(B/A)	目標値 (広域連合)
令和4年度	12,678 人	2,808 人	22.1 %	26. 2 <sup>%</sup>
令和5年度	13, 134	3, 055	23. 3	33. 0

# 3 介護保険

令和5年度介護保険特別会計の決算状況は、歳入13,642,852,546円、歳出13,480,813,195円で、歳入歳出差引額は、162,039,351円となり、同額を翌年度に繰り越した。

総務費では、居宅要支援者の介護予防サービス計画の作成、介護保険料の賦課徴収、介護認定の調査及び審査等を行った。

保険給付費は、11,932,405,356円となった。

介護予防・日常生活支援総合事業費では、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、高齢者を地域で支え合う体制づくりを推進した。

包括的支援事業・任意事業費では、総合相談事業、要介護高齢者配食サービス事業等により、高齢者が住み慣れた地域で心身の健康を保持しながら安心して暮らすことができるよう必要な援助を行った。

### 介護保険特別会計決算状況

事 業 名	決 算 額	費 目	源 金 額
	P	保険料	2,610,402,147
		使用料及び手数料	1, 128, 700
		国庫支出金	3, 211, 111, 445
		支払基金交付金	3, 336, 511, 994
介護保険事	業 13, 480, 813, 195	県支出金	1, 839, 603, 575
月 暖 休 陜 ず 🤅	R 13, 400, 013, 133	財産収入	39, 559
		繰入金	2, 105, 134, 690
		繰越金	447, 633, 436
		諸収入	91, 287, 000
		合 計	13, 642, 852, 546

翌年度繰越額 162,039,351 円

## 介護保険事業の主な事業内容

	事	業	名		決	算	額		事 業 内 容
居サ	宅	ビ	介 ス	護費	3,	891,	527,	円 422	要介護認定を受けた被保険者に対し、在宅での自立した日常生活を営むことができるよう支援したもの。
施サ	設	ビ	介 ス	護費	3,	428,	262,	203	要介護認定を受けた被保険者に対し、介護保険施設での日常生活を営むことができるよう支援したもの。
地介			着 ビス		3,	025,	260,	209	要介護認定を受けた被保険者に対し、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援したもの。

事 業 名	決 算 額	事 業 内 容
訪問型サービス費	円 101, 754, 212	要支援者及び事業対象者に対して、訪問介護員等による身体介護、生活援助等の訪問型サービスを提供したもの。また、日常生活の困りごとの生活支援や通院・買物の送迎など地域住民主体による訪問型サービスの運営を支援したもの。
通所型サービス費	201, 231, 691	要支援者及び事業対象者に対して、施設に通わせ、入浴、 排せつ、食事等の日常生活上の支援及び機能訓練のサービスを提供したもの。 また、高齢者の通いの場において定期的な運動を行う住民 主体による通所型サービスの運営を支援したもの。
高齢者成年後見制 度利用支援事業費	7, 989, 042	成年後見制度を必要とする認知症高齢者等の利用促進のため、唐津市成年後見サポートセンターを設置し、相談受付や申立て支援を行ったもの。また頼れる親族がいない高齢者に対する市長申立てや継続的利用のための成年後見人等の報酬助成を行ったもの。
地域ケア会議推 進 事 業 費	1, 145, 304	介護、医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生 委員その他の関係者により構成される地域ケア会議の機能 を連動させ、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの 構築へ向け、市への施策提言を求めたもの。
在宅医療・介護連携推進事業費	5, 031, 000	医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、関係機関からの相談受付・情報共有支援や研修会開催、住民公開講座による普及啓発等、多職種連携による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制づくりを推進したもの。
生活支援体制整備事業費	34, 625, 834	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ちながら暮らしていくため、民間企業、NPO、ボランティア、地域住民などの多様な主体が連携しながら地域における高齢者支援の担い手やサービス開発を行い、高齢者の社会参加、生活支援及び介護予防の充実を推進したもの。
認 知 症 総 合支 援 事 業 費	20, 816, 571	認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、認知症サポーター養成講座を開催する等、認知症の正しい知識と認知症の人に関する正しい理解の普及に努め、共生社会の実現を目指した。また関係機関と会議を行い、早期対応のための連携を強化したもの。

# 4 観光施設

令和5年度観光施設特別会計の決算状況は、歳入235,678,666円、歳出235,678,666円で、歳入歳出額は、同額であった。

本特別会計では、本市観光事業の発展に寄与するため、玄海海中展望塔及び国民宿舎虹の松原ホテルの運営を行った。玄海海中展望塔では、来場者の増加を図るため、最新デジタル技術を活用し、展望塔内全周をスクリーンとしたプロジェクションマッピングを導入する大規模なリニューアル工事等を行った。また、虹の松原ホテルでは、ボイラー更新工事や空調機整備工事など老朽化した施設の設備維持補修を行い、宿泊者の利用環境を整えた。

なお、玄海海中展望塔については、他の観光施設と同様に市全体の観光周遊施設として運営を行うため、令和6年度から観光施設特別会計から一般会計へ移管した。

### 観光施設特別会計決算状況

	事	業	名		決	算	額			財	ì	原		
	尹	未	泊		ζ.	异		費		目	金		額	
				円			使用料及び	ぎょうしゅう アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・	数料			10, 302, 600 円		
	観光施設				財産収入					5, 999				
観		比	施	設		225	670 666	繰入金					217, 988, 681	
1年元	)	L	旭		IX.	权		235, 678, 666	繰越金					3, 086, 152
									諸収入					4, 295, 234
								合		計			235, 678, 666	

### 観光施設特別会計の主な事業内容

	事	業	名		決	算	額	事 業 内 容
海管	中	展理	望	塔費		202,	円	業務委託により施設の連営を行った。 (休館 R5.9~R6.3) 施設使用料収入 10,173,325 円 入場者数 19,595 人 また、施設のリニューアル工事等を行った。
虹管	の松	原理	ホ テ	ル費		32,	910, 223	指定管理により施設の運営を行った。 指定管理者(R5.10~R6.3)(株)VILLAGE INC 施設使用料収入 2,858,350円 宿泊者数 3,623人 また、施設の維持補修等を行った。 給湯ボイラー2号機更新工事 9,636,000円 空調機整備等工事(4件) 4,835,600円 国有林野借地料 3,884,300円 備品購入費 1,835,240円 維持管理業務委託料、施設修繕料ほか 12,719,083円
基	金	積	立	金			5, 999	国民宿舎基金積立金       3,940 円         海中展望塔運営基金積立金       2,059 円

# 5 有線テレビ事業

令和5年度有線テレビ事業特別会計の決算状況は、歳入715,325,721円、歳出669,715,213円で、歳入歳出 差引額は、45,610,508円となり、同額を翌年度に繰り越した。

有線テレビ施設等の維持管理、新規加入者宅等へのケーブル接続及びケーブル移転要請に伴う移転工事等のほか、テレビ使用料の賦課徴収事務を行った。

情報化基盤光ケーブル推進事業の実施に伴い、加入者の民間事業者への移行が進んだことにより令和5年 度末の有線テレビ加入件数は、令和4年度末と比較して3割程度減少した。

令和4年度末加入件数 19,808件、令和5年度末加入件数 13,801件(前年度比△6,007件)

### 有線テレビ事業特別会計決算状況

		事	業	名			決	算	額		財	源
-										_	費目	金額
										円	分担金及び負担金	10, 758, 690 円
	有 線 テ レ ビ							使用料及び手数料	459, 986, 848			
							財産収入	273, 777				
有		$\nu$	Ľ	事	事 業		669,	669, 715, 2	13	繰入金	133, 911, 000	
											繰越金	110, 248, 117
											諸収入	147, 289
											合 計	715, 325, 721

翌年度繰越額 45,610,508 円

## 有線テレビ事業の主な事業内容

事 業 名	決 算	額		事	業	内	容	
		円						円
			有線テレビジョ	ン運営費	1		491, 725, 213	
			(施設保守、施	1設修繕、	電柱移記	设工事ほか	7)	
有線テレビジョン運営費	669,	715, 213	有線テレビジョ	ン運営費	(繰越明	]許分)	81, 268, 000	
			(海底光ケープ	ブル製造等	<b>\$</b> )			
			有線テレビ運営	基金積立	金		96, 722, 000	